

# CVMによる効果算定手法

## 目 次

|     |                                     |    |
|-----|-------------------------------------|----|
| 第1章 | CVMによる評価手法編改定のポイント .....            | 1  |
| 第2章 | CVMの考え方 .....                       | 3  |
| 第1節 | CVMの基本的な考え方 .....                   | 3  |
| 第2節 | CVMの手順 .....                        | 5  |
| 第3章 | アンケート票作成と配布・回収 .....                | 6  |
| 第1節 | 評価の単位 .....                         | 6  |
| 第2節 | 効果項目の選定 .....                       | 7  |
| 第3節 | 受益世帯、アンケート配布対象の特定 .....             | 13 |
| 第4節 | アンケート票の作成（二段階二肢選択方式） .....          | 14 |
| 第5節 | アンケート票の作成（支払カード方式） .....            | 33 |
| 第6節 | 整備内容説明用資料 .....                     | 38 |
| 第7節 | アンケート説明会の開催 .....                   | 39 |
| 第8節 | アンケートの配布回収 .....                    | 44 |
| 第4章 | CVMの解析方法 .....                      | 45 |
| 第1節 | アンケート票の整理と集計 .....                  | 45 |
| 第2節 | 世帯当たり支払意志額の推定（二段階二肢選択方式アンケート） ..... | 47 |
| 第3節 | 世帯当たり支払意志額の推定（支払カード方式アンケート） .....   | 53 |
| 第4節 | 年効果額の算定 .....                       | 56 |
| 参考1 | プレ調査手法                              |    |
| 参考2 | 標準的なアンケート票                          |    |
| 参考3 | CVM調査票事例集                           |    |

## 第 1 章 CVMによる評価手法編改定のポイント

平成 14 年 3 月策定の「農村生活環境整備の費用便益分析マニュアル（案）」からの改定のポイントを以下に示す。

### 第 1 項 表現・文言等に関する改善

回答者が理解しやすくなるように、文字の大きさは原則 12 ポイント以上とした。  
また、文章はなるべく短く、簡易なものにした。

### 第 2 項 CVM実施方法に関する改善

一つの事業について複数の効果がある場合、受益範囲が同じであれば一括して支払意志を尋ねることとした。例えば農業集落道では、これまで、安全性向上効果と快適性向上効果を別々の WTP 設問で尋ねていたが、複数回、別々の WTP を尋ねると、個々の WTP の精度が落ちるため、一括で尋ねることとした。

### 第 3 項 アンケートのカバーレターに関する改善

調査対象者は、お互いに相談しないのが原則であるが、完全にそれを回避するのは難しく、相談された場合に、提示金額が異なることに対する混乱が生じたとの報告があるため、予め、調査票上に提示金額が異なることを明記することとした。また、本アンケートが事業計画に対する賛否のアンケートと誤解されないようアンケート結果の取り扱いのところに注意書きを記載した。

### 第 4 項 アンケートのシナリオ設定や設問に関する改善

事業の効果は、①新設整備であるか、②更新整備（単純更新）であるか、③更新整備であり、かつ機能が向上するものであるかで変わるため、それぞれの場合に応じたシナリオとするとともに、雛形をそのまま利用するのではなく、整備内容に応じたシナリオを設定することとした。また、説明会に来られない回答者のことや、回答者の負担軽減を考え、調査票にも図や絵を挿入することを推奨した。

## 第5項 提示金額、支払期間に関する改善

農村生活環境整備の費用便益分析マニュアル（案）では、シナリオ内の費用の徴収方法を、「負担」という抽象的な表現にしていたが、より現実的な負担感を回答者がもつように、「負担金を徴収する」という表現にした。また、負担感に現実味が沸かないため、回答者が現在の場所に住み続ける間は、事業の耐用年数期間中支払を続ける必要があることと、そうした場合の負担総額を記入することとした。

## 第6項 アンケートのレイアウトに関する改善

二段目の提示額がわかると、はいの場合の提示額といいえの場合の提示額を併せた支払いカードのように捉えられる可能性が高いため、一段目の提示額と二段目の提示額は別ページになるようにした。また、二段目の回答欄の取り違えを避けるために、回答箇所を分離した。

## 第7項 有効回答を確認する質問に関する改善

負担方法に対する抵抗回答で、これまで、WTP 内設問の負担方法が負担金であれば、「税金で負担すべき」との選択肢を設けていたが、これは正確には、方法は税金だけに限定されないため、より正確な表現にした。一方、辞書式回答の選択肢については、「年収の半分でも“はい”と答えるべきだと思いますか」という表現には抵抗感が大きいことが明らかとなったため、“負担額がいくら高くても、「はい」と答えるべき”という表現に変更した。

## 第2章 CVMの考え方

### 第1節 CVMの基本的な考え方

費用対効果分析では、事業実施によってもたらされる効果を貨幣単位で評価する必要がある。事業効果を貨幣単位によって評価する主な手法には、表 2-1 に示すように「直接法」「代替法」「CVM」などがある。それぞれの手法には適用条件があり、評価の対象となる効果の性質によって、適用すべき手法が異なる。

CVM は、Contingent Valuation Method の略語で、仮想市場法、仮想評価法などと訳されることが多い。市場で取引されていない財に対して、消費者が市場で商品を買うかどうか判断する状況を仮想的に再現し評価してもらうため、このように呼ばれている。

CVM では、環境や公共サービスの内容を回答者に説明し、その向上に対して支払ってもよいと考える金額（支払意志額 WTP : Willingness to Pay）、もしくは、悪化を受け入れるための必要な補償額（受入補償額 WTA : Willingness to Accept Compensation）をアンケート等によって質問し、向上や悪化に対する評価額を算出する。

CVM は、環境や公共サービスの内容を回答者に提示できれば、理論的にはあらゆる対象に適用可能である。一方で、仮想的な状況を提示したアンケート調査に基づくため、さまざまな誤差が生じる可能性が指摘されている。このため、CVM を適用する際には、回答者には、より明確、かつ、具体的な状況を提示し、評価対象の効果について誤解が生じないようにすることが重要である。

表 2-1 主な貨幣評価手法

| 手法                | 内容                                                                                                  | 適用条件                                                                                                                                                                                       |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 直接法               | 事業実施前後の生産物や需要、単価等の差額から直接効果額を求める手法<br>(ただし、周辺環境は不変なものとする)                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施前後の効果量を正確に把握できること</li> <li>・価格又はこれに相当するもの(市場財)が存在し、効果量に対して適切な単価が設定できること</li> </ul>                                                             |
| 代替法<br>(RCM)      | 事業の効果の評価を、評価対象社会資本と同様な効果を有する他の市場財で、代替して供給した場合に必要なとされる費用によって評価する方法                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と将来の需要予測を正確に把握できること</li> <li>・適切な代替物が設定されること</li> </ul>                                                                                          |
| 消費者余剰法            | 事業実施によって影響を受ける消費行動に関する需要曲線を推定し、事業実施により生じる消費者余剰の変化分を求める方法                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と将来の需要予測を正確に把握できること</li> <li>・価格又はこれに相当するもの(市場財)が存在し、効果量に対して適切な単価が設定できること</li> </ul>                                                             |
| 仮想市場法<br>(CVM)    | 環境質の変化に対する支払意志額や受入補償額をアンケートで直接尋ねて評価する手法                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価対象の範囲を明確にできること</li> <li>・環境質の変化などをアンケートの回答者に対し、適切に提示できること</li> <li>・受益者の特定が可能なこと</li> </ul>                                                      |
| ヘドニック法<br>(HPM)   | 投資の便益がすべて土地に帰着するというキャピタリゼーション仮説に基づき、住宅価格や地価のデータから、地価関数を推定し、事業実施に伴う地価上昇を推計することにより、社会資本整備による便益を評価する方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価対象プロジェクトと類似したプロジェクトが実施されてから十分に時間が経過している地点からサンプリングすること</li> <li>・同質のメンバーによって構成されている地域からサンプリングすること</li> <li>・不動産取引市場が競争的な地域からサンプリングすること</li> </ul> |
| トラベルコスト法<br>(TCM) | 対象地までの旅行費用をもとに環境価値を評価                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人行動に旅行費用が生じること</li> <li>・個人行動の把握が正確なこと</li> </ul>                                                                                                 |

## 第2節 CVMの手順

CVMでは、事業実施による効果に対する世帯当たり支払意志額を推定できる。これに受益世帯数を乗じ年効果額を算定する。

CVMによる評価の手順を図2-1に示した。具体的手法は、第3章以降で解説する。

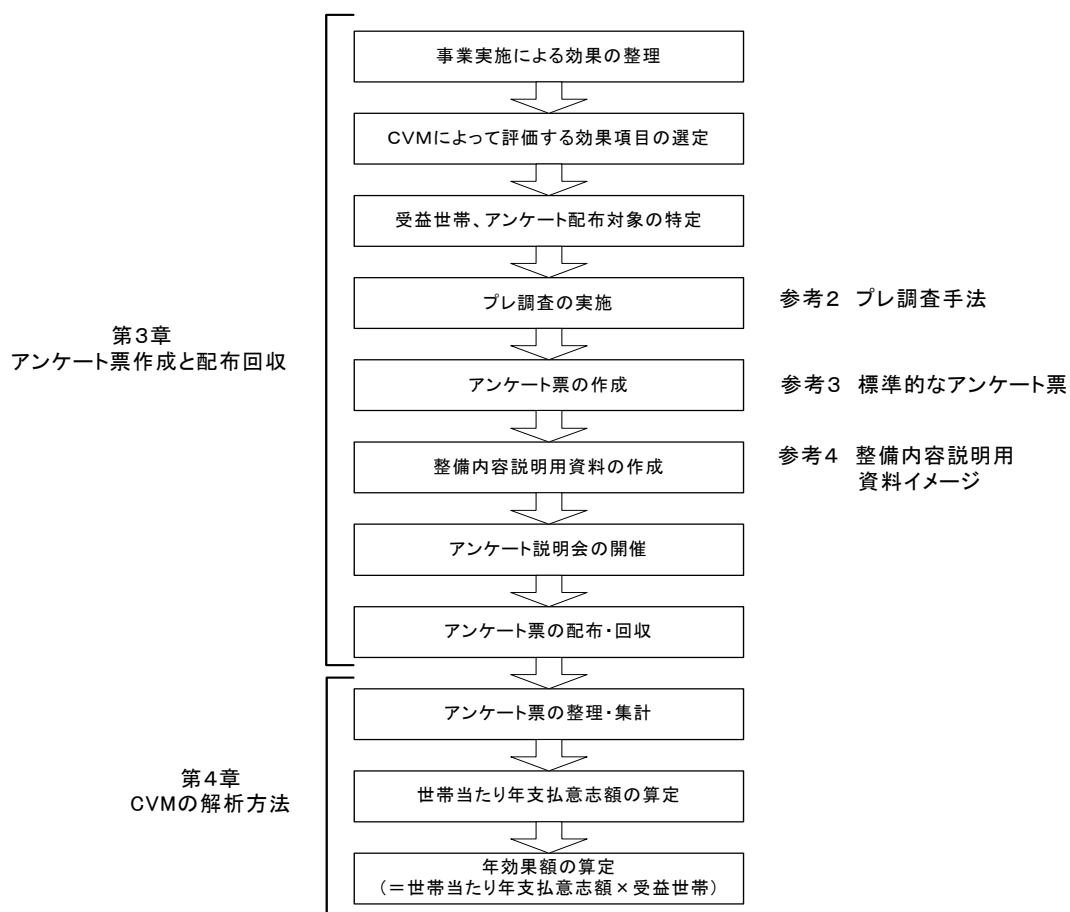


図 2-1 CVMの手順

## 第3章 アンケート票作成と配布・回収

### 第1節 評価の単位

CVM は、原則として個別の工種ごとに調査し、一戸あたり支払意志額を算定する。ただし、地域コミュニティ維持向上効果を計上する交流施設、自然環境・生態系保全施設、活性化施設及び集落農園について、受益範囲が重複している場合は複数の工種をまとめて調査する。

また、同一工種で、かつ受益範囲が同一の CVM 調査（同一のアンケート票で同一の対象者に対し実施する CVM 調査）については、複数の効果について一体的に CVM を実施する。

なお、複数の工種を一括して CVM で評価する場合、それぞれの工種の効果額は、事業費の比率で按分することとするが、自然環境・生態系保全施設と活性化施設について、活性化施設の地域伝統芸能・文化保存継承効果も併せて評価するなど、地域コミュニティ維持向上効果以外の効果も一体的に CVM で算定する場合は、複数の工種をまとめて総費用総便益比を算定する。

例えば、ある地区において、農業集落道、農業集落排水路、自然環境・生態系保全施設、活性化施設を整備し、農業集落道と農業集落排水路の受益が重複、自然環境・生態系保全施設と活性化施設の受益が重複しているとする。

このとき、CVMで把握する効果は、

- ・農業集落道：生活環境改善効果
- ・農業集落排水路：生活環境改善効果
- ・自然環境・生態系保全施設：地域コミュニティ維持向上効果、景観・環境保全効果
- ・活性化施設：地域コミュニティ維持向上効果、地域伝統芸能・文化保存継承効果

である場合、以下のようにCVMで算定する。

- ・農業集落道については単独で、生活環境改善効果を把握
- ・農業集落排水路については、農業集落道と受益が重複していても単独で、生活環境改善効果を把握
- ・自然環境・生態系保全施設及び活性化施設については、地域コミュニティ維持向上効果、景観・環境保全効果、地域伝統芸能・文化保存継承効果を一体的に、1回の質問で把握し、費用対効果算定についても、この2工種まとめて算定

## 第 2 節 効果項目の選定

### 第 1 項 適用の対象

まず、評価対象の工種の整備によって発揮される効果を整理する。整理された効果項目の中で、表 3-1 に示した効果項目に含まれるものは、CVM によって評価することができる。ただし、整備内容等により、その効果が発現するかどうかを確認した上で評価すること。例えば、農業集落排水路を開水路として整備する場合、転落防止による生活安全性向上の効果を計上することはできない。

表 3-1 工種別と評価対象効果及び対象者

| 工種             | 効果項目      | CVMの対象者（＝受益世帯）の考え方                                                                                  | 設定例および留意事項                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 農業集落道          | 生活環境改善効果  | 対象集落道を日常生活に利用すると想定される全ての世帯を上限とする。                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 集落道を日常生活に利用する世帯の例として「集落道の沿道世帯」</li> <li>➤ 通学路として利用される場合は「通学生校区の保護者世帯」</li> <li>➤ 集会施設等集落レベルでの共通施設がある場合は「その施設がある集落世帯」</li> <li>➤ 地形条件などから踏まえて「災害時に橋梁を利用して避難する集落」（※地形図、防災計画を添付）</li> </ul> |
|                | 景観・環境保全効果 |                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                   |
| 営農飲雑用水施設       | 景観・環境保全効果 | 対象の営農飲雑用水施設の整備により、景観形成の効果を享受することが想定される全ての世帯。原則として、営農飲雑用水施設が整備される集落の全ての世帯を上限とする。                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 例えば、営農飲雑用水施設が見える道路を日常的に使う世帯</li> </ul>                                                                                                                                                   |
| 農業集落排水路<br>遊水池 | 生活環境改善効果  | 対象の農業集落排水路等の整備により、各効果（生活快適性の向上、生活安全性の向上、景観形成）を享受することが想定される全ての世帯。原則として、農業集落排水路等が整備される集落の全ての世帯を上限とする。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 豪雨時における被害区域（被害区域図の添付）</li> <li>➤ 排水流域等についても具体的な図面を添付</li> </ul>                                                                                                                          |
|                | 景観・環境保全効果 |                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                   |

| 工種              | 効果項目            | CVMの対象者（＝受益世帯）の考え方                                                                | 設定例および留意事項                                                                                                                                                   |
|-----------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 交流施設基盤整備        | 地域コミュニティ維持向上効果  | 受益は集落単位で設定する。なお、類似施設、アクセス困難な地形（河川や山岳等）及び施設の利用限度を考慮して、以下の中から最も小さい受益規模を設定する。        | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 集落単位以外の設定単位として、「校区」、「旧村」といった単位での設定も可能。（※ただし、設定の根拠とした計画等の添付）</li> <li>➤ なお、利用計画等において想定する利用範囲の世帯数を上限とすること。</li> </ul> |
|                 | 景観・環境保全効果       | ①施設を気軽に利用できる範囲（おおよそ5km）内の集落（近隣市町村も含む）                                             |                                                                                                                                                              |
|                 | 地域伝統芸能・文化保存継承効果 | ②類似の既存公園までの範囲内の集落<br>③地形条件（河川、山岳等）によるアクセスの困難性を配慮した範囲内の集落<br>④施設規模からみた最大受益世帯数以内の集落 |                                                                                                                                                              |
| 用地整備            | 景観・環境保全効果等      | 整備した用地において設置される施設と一体的に費用対効果分析を行うときに、CVM調査を行うこととなるため、設置される施設により受益範囲が設定される。         |                                                                                                                                                              |
| 集落防災（防火施設）      | 生活環境改善効果        | 対象の防火施設によって防火の利益を得ると想定される全ての世帯を上限とする。                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 設置場所、ホース延長等から配慮した受益戸数（具体的根拠を明記）</li> <li>➤ 防火水槽の場合、消防水利の基準（半径140m以内）</li> </ul>                                     |
|                 | 景観・環境保全効果       |                                                                                   |                                                                                                                                                              |
| 集落防災（道路・水路安全施設） | 生活環境改善効果        | 対象の道路・水路安全施設の周辺空間を日常生活に利用すると想定される全ての世帯を上限とする。                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 通学路として利用される場合は「通学生校区の保護者世帯」</li> <li>➤ 神社等集落レベルでの共通施設がある場合は「その施設がある集落世帯」</li> </ul>                                 |
|                 | 景観・環境保全効果       |                                                                                   |                                                                                                                                                              |

| 工種            | 効果項目           | CVMの対象者（＝受益世帯）の考え方                                                               | 設定例および留意事項                                                                                           |
|---------------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 集落防災（土留工・防護柵） | 生活環境改善効果       | 対象の斜面崩壊防止施設の周辺空間を日常生活に利用すると想定される全ての世帯を上限とする。                                     | ➤ 斜面崩壊時の被害区域（具体的な図面等を添付）                                                                             |
|               | 景観・環境保全効果      |                                                                                  |                                                                                                      |
| 集落防災（防雪施設）    | 生活環境改善効果       | 対象の風雪害被害防止施設の周辺空間を日常生活に利用すると想定される全ての世帯を上限とする。                                    | ➤ 風雪害被害区域（具体的な図面等を添付）                                                                                |
|               | 景観・環境保全効果      |                                                                                  |                                                                                                      |
| 自然環境・生態系保全施設  | 生活環境改善効果       | 受益は集落単位での設定を基本とする。ただし、類似施設、アクセス困難な地形（河川や山岳等）及び施設の利用限度を考慮して、交流施設と同様の考え方を適用して設定する。 | ➤ 集落単位以外の設定単位として、「校区」、「旧村」といった単位での設定も可能。（※ただし、設定の根拠とした計画等の添付）<br>➤ なお、利用計画等において想定する利用範囲の世帯数を上限とすること。 |
|               | 地域コミュニティ維持向上効果 |                                                                                  |                                                                                                      |
|               | 景観・環境保全効果      |                                                                                  |                                                                                                      |
|               | 農業農村教育効果       |                                                                                  |                                                                                                      |
| 地域資源利活用施設     | 景観・環境保全効果      | 受益は、集落環境管理施設整備によって農作業の環境が改善される畜産農家とする。                                           | ➤ 施設計画等との整合を図ること。                                                                                    |
| 集落環境管理施設      | 農業労働環境改善効果     | 受益は、集落環境管理施設整備によって農作業の環境が改善される畜産農家とする。                                           | ➤ 施設計画等との整合を図ること。                                                                                    |
|               | 景観・環境保全効果      | 受益は、集落単位での設定を基本とする。                                                              | ➤ 集落単位以外の設定単位として、「校区」、「旧村」といった単位での設定も可能。（※ただし、設定の根拠とした計画等の添付）<br>➤ 施設そのものが景観に配慮したものである場合のみ適用すること。    |
|               | 集落環境改善効果       | 受益は、集落環境管理施設整備による集落環境（臭気、水質等）の改善に関わりを持つ全世帯であり、集落単位で設定する。                         | ➤ 施設計画等との整合を図ること。                                                                                    |

| 工種                                | 効果項目                                               | CVMの対象者（＝受益世帯）の考え方                                                                                                                                                       | 設定例および留意事項                                                                                           |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 施設補強整備<br>施設環境整備                  | 景観・環境保全効果<br>等                                     | 受益は、施設改修関連整備の対象となる施設を利用する可能性のある全ての世帯、集落単位を上限として設定する。                                                                                                                     | ➤ 具体的な利用計画等に基づいて設定すること。                                                                              |
| 活性化施設・地域農業活動<br>拠点施設<br>地域販売力強化施設 | 地域コミュニティ維持向上効果<br>景観・環境保全効果<br>地域伝統芸能・文化<br>保存継承効果 | 受益は集落単位での設定を基本とする。ただし、類似施設、アクセス困難な地形（河川や山岳等）及び施設の利用限度を考慮して、交流施設と同様の考え方を適用して設定する。なお、都市住民の利用が含まれる施設とは区別する。                                                                 | ➤ 集落単位以外の設定単位として、「校区」、「旧村」といった単位での設定も可能。（※ただし、設定の根拠とした計画等の添付）<br>➤ なお、利用計画等において想定する利用範囲の世帯数を上限とすること。 |
| 集落農園（市民農園）                        | 地域コミュニティ維持向上効果<br>景観・環境保全効果<br>農業農村教育効果            | 受益は集落単位での設定を基本とする。ただし、類似施設、アクセス困難な地形（河川や山岳等）及び施設の利用限度を考慮して、交流施設と同様の考え方を適用して設定するが、市民農園については、交流施設の①～④に加えて、⑤近傍類似農園の実績等を参考にして求める利用圏内の集落を追加して受益を設定する。なお、都市住民の利用が含まれる施設とは区別する。 | ➤ 集落単位以外の設定単位として、「校区」、「旧村」といった単位での設定も可能。（※ただし、設定の根拠とした計画等の添付）<br>➤ なお、利用計画等において想定する利用範囲の世帯数を上限とすること。 |
| 情報基盤施設                            | 生活環境改善効果<br>景観・環境保全効果                              | 受益は、同報無線を利用する集落単位での設定を基本とする。                                                                                                                                             | ➤ 集落単位以外の設定単位として、「校区」、「旧村」といった単位での設定も可能。（※ただし、設定の根拠とした計画等の添付）<br>➤ 施設計画等との整合を図ること。                   |

| 工種                                         | 効果項目            | CVMの対象者（＝受益世帯）の考え方                                                                                       | 設定例および留意事項                                                                                           |
|--------------------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 農産物処理加工施設                                  | 景観・環境保全効果等      | 受益は、対象となる施設を利用する可能性のある全ての世帯、集落単位を上限として設定する。                                                              | ➤ 具体的な利用計画等に基づいて設定すること。                                                                              |
|                                            | 地域伝統芸能・文化保存継承効果 |                                                                                                          |                                                                                                      |
| 農産物集出荷貯蔵施設<br>新規就農者等技術習得管理施設<br>高収益作物導入等施設 | 景観・環境保全効果等      | 受益は、対象となる施設を利用する可能性のある全ての世帯、集落単位を上限として設定する。                                                              | ➤ 具体的な利用計画等に基づいて設定すること。                                                                              |
| 農泊等施設                                      | 地域コミュニティ維持向上効果  | 受益は集落単位での設定を基本とする。ただし、類似施設、アクセス困難な地形（河川や山岳等）及び施設の利用限度を考慮して、交流施設と同様の考え方を適用して設定する。なお、都市住民の利用が含まれる施設とは区別する。 | ➤ 集落単位以外の設定単位として、「校区」、「旧村」といった単位での設定も可能。（※ただし、設定の根拠とした計画等の添付）<br>➤ なお、利用計画等において想定する利用範囲の世帯数を上限とすること。 |
|                                            | 景観・環境保全効果       |                                                                                                          |                                                                                                      |

### 第3節 受益世帯、アンケート配布対象の特定

#### 第1項 受益世帯の特定の考え方

表 3－1 の定義に従い、評価の対象となる効果の受益世帯を特定し、受益世帯数を把握し、施設の位置と受益世帯の範囲を図面で整理する。必要に応じて、設定例を参照のこと。

ただし、必ず具体的な設定方法の考え方について明記すること。

#### 第2項 アンケート配布世帯の特定

アンケート配布世帯は、基本的に以下の考え方によって特定する。なお、配布に当たっては、どのような場合でも、後に示す各パターンについて、全てのパターンを均等に配布すること。

- 原則として、アンケート票は受益世帯の全てに配布すること。
- ただし、交流施設など受益世帯が多く全数調査が難しい場合には、受益世帯から500世帯を無作為抽出し調査する。

## 第4節 アンケート票の作成（二段階二肢選択方式）

工種ごとに、効果の内容を提示し、支払意志額に関する設問、辞書的回答、抵抗回答を排除する設問を含むアンケート票を作成する。

特に、地区の状況、施設の整備内容等にあわせアンケート票を作成するように留意すること。地区の状況や整備内容によっては、質問項目の追加、削除をする必要がある。なお、「参考2 標準的なアンケート票」に工種別の標準的なCVMアンケート票の例を添付したが、これは参考事例であり、そのまま使用しないこと。

また、アンケート票の作成、提示金額の設定においては、プレ調査を行うことが望ましい。プレ調査の詳細については、「参考1 プレ調査手法」を参照のこと。

### 第1項 受益戸数と質問方式の選択

CVMのアンケートでは、支払意志額に関する質問にはいくつかの方式があるが、原則として、質問によるバイアスが小さく、情報を効率よく収集できる二段階二肢選択方式を採用すること。

ただし、受益戸数が少ない（CVMの配布対象戸数が50戸未満である場合）ためにCVMの解析に必要なサンプルが十分集められない場合は、二段階二肢選択方式ではなく支払カード方式を採用しても良い。支払カード方式のアンケートの作成方法は「第5節アンケート票の作成（支払カード方式）」に示した。

なお、複数の工種を一括して評価する場合、それぞれの工種の効果額は、事業費の比率で按分する。

### 第2項 提示される効果内容

「参考2 標準的なアンケート票」に示したアンケート票では、事業実施によって得られる効果として、表3-2および表3-3に示した内容を回答者に提示している。

事業の効果は、①新設整備であるか、②更新整備（単純更新）であるか、③更新整備であり、かつ機能が向上するものであるかで変わる。表3-2は、①新規設備の場合の効果例であり、表3-3は更新整備（②単純更新および③機能向上）の効果例を示している。更新整備の場合、②単純更新であれば、表3-3のうち、「現状」と「整備しなかった場合」のみを示し、整備によって「現状」が維持されることが効果とな

り、③機能向上であれば、「整備しなかった場合」と「整備した場合」の違いが効果となる。

なお、効果内容は、地区の状況、施設の整備内容によって異なるため、適切に修正すること。

表 3-2 アンケート雛形において提示した効果の内容例【新規整備】

| 工種      | 効果                    | 効果の内容例                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------|-----------------------|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         |                       | 現状                                        | 整備した場合                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 農業集落道   | 生活環境改善効果<br>景観・環境保全効果 | ・〇〇方面から△△方面に向かうには、遠回りをしなければならない状況です。      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の幅が広がり、安全に通行できます。</li> <li>・住民の避難路として利用されます。</li> <li>・火事の時、被害が広がりにくくなります。</li> <li>・救急車・消防車などが、お宅の前まですぐ来られるようになります。</li> <li>・住民交流の場が増え、レクリエーションが多くなる等の効果が期待できます。</li> <li>・ほどよい曲線や幅員・舗装の工夫など地域特性に応じた整備により、集落の温かみや歴史・文化的空間を保持することができます。</li> </ul> |
| 農業集落排水路 | 生活環境改善効果<br>景観・環境保全効果 | ・周辺に水溜まりがあり、家庭雑排水等の汚水が流れにくく、不快になることがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水溜りが減り歩きやすくなる他、悪臭や害虫が発生しにくくなります。</li> <li>・ふたをかけることで、水路への転落や交通事故の危険性が少なくなります。</li> <li>・連積石等の整備で、景観が良くなります。</li> </ul>                                                                                                                                |

| 工種                | 効果                                                  | 効果の内容例                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                   |                                                     | 現状                                                                                                                                           | 整備した場合                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 集落防災安全施設          | 生活環境改善効果<br>景観・環境保全効果                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火事の際は、隣の集落の防火水槽の水を使っているため、消火活動に時間がかかります。（防火水槽の例）</li> <li>・ 防護柵が無い場合、事故の危険性があります。（防護柵の例）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消火活動がスムーズにできることで、火災による被害を少なくすることができます。</li> <li>・ 風雪害・事故などの被害を回避し、住民の治療費や復旧のための労働の発生を回避又は減らすことができます。</li> <li>・ 農地・道路・一般家屋などへの被害を回避できる可能性が高まります。</li> <li>・ 災害による道路の通行止めや、それに伴う経費の発生を回避又は減らします。</li> <li>・ 景観が良くなります。</li> </ul> |
| 活性化施設（地域農業活動拠点施設） | 地域コミュニティ維持向上効果<br>景観・環境保全効果<br>地域伝統芸能・文化保存継承効果      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サークル活動や、伝統芸能・地域文化保全、地域の展示・催し等については、〇〇集落の施設を活用しています。（行われていない状況です）</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サークル活動等の利用がしやすくなります。</li> <li>・ 住民間の交流も増えることが期待されます。</li> <li>・ 伝統芸能・文化の保存や学習が容易になります。</li> <li>・ 地域外住民を招く場として、地域間の交流を促進します。</li> <li>・ 地域住民に対して、健康でゆとりのある生活空間を提供します。</li> <li>・ 施設の整備により、景観が良くなります。</li> </ul>                  |
| 自然環境・生態系保全施設      | 生活環境改善効果<br>地域コミュニティ維持向上効果<br>景観・環境保全効果<br>農業農村教育効果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備対象施設（排水路など）は、コンクリート三面張りとなっています。</li> </ul>                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観が維持、形成され、憩いの場、やすらぎの場として利用できます。</li> <li>・ 生物の多様性、生態系が保全、復元され、自然と親しむレクリエーション機会が提供されます。</li> <li>・ また、従来の水路が改修され、転落の危険が無くなります。</li> </ul>                                                                                        |

| 工種     | 効果                                      | 効果の内容例                               |                                                                                                                                                                                                                                |
|--------|-----------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        |                                         | 現状                                   | 整備した場合                                                                                                                                                                                                                         |
| 集落農園   | 地域コミュニティ維持向上効果<br>景観・環境保全効果<br>農業農村教育効果 | ・〇〇（たとえば、「耕作放棄地」）となっています。            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーナー同士の交流やイベントなどを通じて、地域住民の語り合いの場となることにより、地域社会の活性化が期待できます。</li> <li>・農作業を通じ、地域住民の健康に役立ちます。</li> <li>・農作業を通じて、食や農業に関する子供たちの教育に役立ちます。</li> <li>・耕作放棄地が市民農園に変わることにより、景観が良くなります。</li> </ul> |
| 情報基盤施設 | 生活環境改善効果<br>景観・環境保全効果                   | ・災害に関する情報は、市町村の広報車が巡回してお知らせしている状況です。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風、地震、土砂崩れなどの災害に関する情報が適切に提供されることで、適切に避難ができるようになります。</li> <li>・また、避難することで災害の被害が減り、被災時にかかる費用（けがの治療費や家財・自動車の修繕費など）も減ります。</li> </ul>                                                       |

表 3-3 アンケート雛形において提示した効果の内容例【更新整備】

| 工種    | 効果                    | 効果の内容例                                                                                                         |                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       |                       | 現状                                                                                                             | 整備しなかった場合                                                                                                                 | 整備した場合                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 農業集落道 | 生活環境改善効果<br>景観・環境保全効果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・路面に凹凸があり、大雨のときにはぬかるみができます。</li> <li>・道路幅が狭く、脱輪等の事故の危険があります。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装がはがれ、路面の凹凸がひどくなるほか、法面の崩れにより通れる幅が狭くなり、脱輪等の危険性も増え、非常に通りにくくなることが考えられます。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・路面の凸凹が無くなり、砂ぼこりやぬかるみが減りまえます。</li> <li>・道路の幅が広がり、安全に通行できます。</li> <li>・住民の避難路として利用されます。</li> <li>・火事の時、被害が広がりにくくなります。</li> <li>・救急車・消防車などが、お宅の前まですぐ来られるようになります。</li> <li>・住民交流の場が増え、レクリエーションが多くなる等の効果が期待できます。</li> <li>・ほどよい曲線や幅員・舗装の工夫など地域特性に応じた整備により、集落の温かみや歴史・文化的空間を保持することができます。</li> </ul> |

| 工種       | 効果                    | 効果の内容例                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|          |                       | 現状                                                                                                                                   | 整備しなかった場合                                                                                                                                                                                                               | 整備した場合                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 農業集落排水路  | 生活環境改善効果<br>景観・環境保全効果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺に水溜まりがあり、家庭雑排水等の汚水が流れにくく、不快になることがあります。</li> </ul>                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水溜りが増え、家庭雑排水等が流れにくく、不快感が増します。</li> <li>・水路の蓋の陥没などにより、水路への転落や交通事故の危険性が増大します。</li> <li>・親水機能が低下するとともに、良い景観が損なわれます。</li> </ul>                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水溜りが減り歩きやすくなります。</li> <li>・悪臭や害虫が発生しにくくなります。</li> <li>・水路にふたをすることで、水路の隣の道路が広くなり、通行しやすくなるほか、水路への転落や交通事故の危険性が少なくなります。</li> <li>・連積石等の整備で、景観が良くなります。</li> </ul>                                                                                  |
| 集落防災安全施設 | 生活環境改善効果<br>景観・環境保全効果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・風雪害・火災・事故などによる被害や、農地・道路・一般家屋などへの被害を回避・抑制しています。</li> <li>・災害による道路の通行止めを回避・抑制しています。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・風雪害・火災・事故などによる被害が増え、それに伴う住民の治療費や復旧のための労働も増えます。</li> <li>・農地・道路・一般家屋などへの被害から復旧する経費が増えます。</li> <li>・災害による道路の通行止めが起りやすくなり、迂回することが増えます。</li> <li>・施設の老朽化により、良い景観が損なわれます。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・消火活動がスムーズにできることで、火災による被害を少なくすることができます。</li> <li>・風雪害・事故などの被害を回避し、住民の治療費や復旧のための労働の発生を回避又は減らすことができます。</li> <li>・農地・道路・一般家屋などへの被害を回避できる可能性が高まります。</li> <li>・災害による道路の通行止めや、それに伴う経費の発生を回避又は減らします。</li> <li>・施設の整備により、景観が維持されます（良くなります）。</li> </ul> |

| 工種                | 効果                                                  | 効果の内容例                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------------|-----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                   |                                                     | 現状                                                                                                                                         | 整備しなかった場合                                                                                                                                                                                                           | 整備した場合                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 活性化施設（地域農業活動拠点施設） | 地域コミュニティ維持向上効果<br>景観・環境保全効果<br>地域伝統芸能・文化保存継承効果      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サークル活動や、伝統芸能・地域文化保全、地域の展示・催し等の場や、地域外住民を招く場として利用されています。</li> <li>・付帯する緑地は健康やゆとりを提供しています。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設が利用できなくなり、住民の連帯意識や、伝統芸能・文化の保存、学習機会の維持が難しくなります。</li> <li>・地域外住民を招く場が失われ、地域間の交流が少なくなります。</li> <li>・緑地整備が不十分になり、健康やゆとりを提供されなくなります。</li> <li>・施設の老朽化により、景観が損なわれます。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サークル活動等の利用がしやすくなります。</li> <li>・住民間の交流が増えることが期待されます。</li> <li>・伝統芸能・文化の保存や学習が容易になります。</li> <li>・地域外住民を招く場として、地域間の交流を促進します。</li> <li>・地域住民に対して、健康でゆとりのある生活空間を提供します。</li> <li>・施設の整備により、景観が維持されます（良くなります）。</li> </ul> |
| 自然環境・生態系保全施設      | 生活環境改善効果<br>地域コミュニティ維持向上効果<br>景観・環境保全効果<br>農業農村教育効果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・憩いの場、やすらぎの場として利用されています。</li> <li>・生物の多様性、農村の生態系が保全されています。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化により、景観が損なわれます。</li> <li>・生物の多様性、農村の生態系が失われていきます。</li> <li>・水路の蓋の陥没などにより、水路への転落や交通事故の危険性が増大します。</li> </ul>                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観が維持、形成され、憩いの場、やすらぎの場として利用できます。</li> <li>・生物の多様性、生態系が保全、復元され、自然と親しむレクリエーション機会が提供されます。</li> <li>・また、従来の水路が改修され、転落の危険が無くなります。</li> </ul>                                                                            |

| 工種     | 効果                                           | 効果の内容例                                                                                                                                  |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                   |
|--------|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        |                                              | 現状                                                                                                                                      | 整備しなかった場合                                                                                                                                                 | 整備した場合                                                                                                                                                                                            |
| 集落農園   | 地域コミュニティ<br>維持・向上効果<br>景観・環境保全効果<br>農業農村教育効果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーナー同士の交流やイベントなどを通じて、地域の活性化に貢献しています。</li> <li>・農作業を通じて、健康増進や食や農業に関する子供たちの教育に役立っています。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落農園内の施設の老朽化により、農園として続けられなくなるかもしれません。</li> <li>・そうすると、オーナー同士の交流やイベント等が無くなるかもしれません。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流やイベント、農作業を通じた健康増進・教育を継続することができます。</li> <li>・農園の区画が増えることにより、新たにオーナーが増えます。また、交流が広がります。</li> <li>・耕作放棄地となっている部分を新たに整備するため、景観が良くなります。</li> </ul>            |
| 情報基盤施設 | 生活環境改善効果<br>景観・環境保全効果                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風、地震、土砂崩れなどの災害に関する情報が適切に提供されることで、適切に避難ができます。</li> </ul>                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の同報無線の施設が老朽化して使えなくなることが考えられます。</li> <li>・その場合、災害情報のお知らせは市町村の広報車などで行うため、情報の伝達が遅れ、災害による被害が大きくなるかもしれません</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、災害の情報を速やかに提供できるので、適切に避難ができます。</li> <li>・このことにより、災害の被害を少なく押さえることができます。</li> <li>・また、新たに〇〇地域にも導入するため、〇〇地域の住民においても適切な避難ができ、災害被害を減らせることができます。</li> </ul> |

### 第3項 二段階二肢選択方式の質問の作成

二段階二肢選択方式の設問例を図 3-1 に示した。以下、問 1 に相当する質問を「一段階目の質問」、問 2、問 3 に相当する質問を「二段階目の質問」、一段階目の質問で提示される金額を初期提示額と呼ぶ。

この設問例では、「負担金を徴収する計画」としているが、金額の支払い方法は「負担金」に限らず、「負担」などのあいまいな表現でなければ、「基金への寄付」「税金」などの設定でもよい。アンケートの回答者がより現実的な負担感を与えるような支払い手段を判断して設定すること。また、月額や年額の提示額のみでは、負担総額（＝支払い意志総額）があいまいになるため、必ず、負担する期間とその期間内に支払う総額を記載すること。なお、負担する期間は、事業の耐用年数を基本とするが、負担に対する抵抗感を取り除くため、「現在の住所にお住まいの間は」という限定をし、移転などの予定がある場合は、それまでの期間を想定できるようにする。ただし、世帯としての回答であるため、世帯主が子孫に移行したとしても支払は続くという想定である。

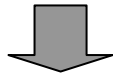
また、住民が費用負担をするという論拠を明確にすることが重要である。例えば、「参考 2 標準的なアンケート票」では、「財政事情が厳しいため」という理由を示している。

さらなる注意点として、この質問は、仮想であるため、そのことを事前に示す必要があるが、「仮」という文字にルビを振るなど、あまり強調しすぎると、支払い意志の強さや真剣さに個人差が生じ、実際よりも平均 WTP が高くなることが懸念されるので注意すること。

## 問 1

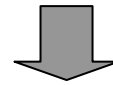
あなたの世帯は、負担金を徴収する計画に賛成し、この金額（年間5千円）を負担してもよいと思われますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとし、あなたの世帯の負担総額は20万円となります。

1. はい



問 2 にお進み下さい

2. いいえ



問 3 にお進み下さい

問 1 で、はいと  
答えた方にお  
たずねします。

## 問 2

では、先ほどより高い年間1万円でも、負担してよいと思われますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. はい

2. いいえ

問 1 で、いいえ  
と答えた方にお  
たずねします。

## 問 3

では、先ほどより安い年間2千円では、負担してもよいと思われますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. はい

2. いいえ

図 3－1 二段階二肢選択方式の設問例

#### 第4項 提示金額の設定

二段階二肢選択方式の質問を含むアンケートでは、提示金額を変えた数種類のアンケート票を作成し、それぞれ異なる対象者へ無作為に配布する。農村生活環境整備の費用対効果分析のCVMにおいては、各質問の金額設定が異なる五種類のアンケート票を作成し、均等の枚数無作為に配布する。例えば、100世帯の地区が対象とすると、一種類のアンケート票につき20部、合計100部配布を無作為に配布すること。

各種類のアンケート票の提示金額は、プレ調査を行い、設定することが望ましい。プレ調査の詳細については、「参考1 プレ調査手法」を参照のこと。

表3-4に、これまでのCVM調査結果に基づき、標準的な提示金額を示した。プレ調査を実施しない場合は、この金額を提示金額とし、それぞれの金額を記入したアンケート票を五種類作成する。なお、「参考2 標準的なアンケート票」に例示した標準的なアンケート票は全てパターン1のものであり、アンケート票右上の番号はパターンを示している。

なお、表3-4の金額設定は、農村生活環境整備の費用便益分析マニュアル（案）での提示金額をベースに、新しい提示金額の設定を行っている。農村生活環境整備の費用便益分析マニュアル（案）の設定は、プレテストを実施した結果を基に、工種・効果別に年額ベースと月額ベースの提示額が設定されている。本マニュアル案の各工種における提示額の設定に当たっては、そのうち年額ベースの提示金額を基準とし、以下の点から見直しを行った。

- ✓ 複数の効果項目を一体的に把握することから、各効果の合計額を金額とした。
- ✓ なお、最も提示金額が低いパターン1の初期提示額については、1万円を超えない金額とした。
- ✓ 以上を踏まえ、万円単位、千円単位等のキリの良い金額を設定した。

表 3-4 パターン別提示金額（二段階二肢選択方式）

各工種における提示額の設定（上段：年額、下段の括弧書き：月額）

1) 農業集落道

| 項目                 |    | パターン1             | パターン2             | パターン3             | パターン4             | パターン5             |
|--------------------|----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 生活環境改善効果＋景観・環境保全効果 | 問3 | 1万2千円<br>(1,000円) | 2万5千円<br>(2,000円) | 5万円<br>(4,000円)   | 7万5千円<br>(6,000円) | 10万円<br>(8,000円)  |
|                    | 問4 | 2万5千円<br>(2,000円) | 5万円<br>(4,000円)   | 7万5千円<br>(6,000円) | 10万円<br>(8,000円)  | 15万円<br>(12,000円) |
|                    | 問5 | 5千円<br>(400円)     | 1万2千円<br>(1,000円) | 2万5千円<br>(2,000円) | 5万円<br>(4,000円)   | 7万5千円<br>(6,000円) |

| 項目         |    | パターン1           | パターン2           | パターン3           | パターン4           | パターン5             |
|------------|----|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|
| 生活環境改善効果のみ | 問3 | 1万円<br>(800円)   | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,000円) | 6万円<br>(5,000円) | 8万円<br>(6,500円)   |
|            | 問4 | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,000円) | 6万円<br>(5,000円) | 8万円<br>(6,500円) | 12万円<br>(10,000円) |
|            | 問5 | 4千円<br>(300円)   | 1万円<br>(800円)   | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,000円) | 6万円<br>(5,000円)   |

## 2) 農業集落排水路

| 項目                 |    | パターン1             | パターン2             | パターン3             | パターン4             | パターン5             |
|--------------------|----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 生活環境改善効果＋景観・環境保全効果 | 問3 | 1万8千円<br>(1,500円) | 3万5千円<br>(3,000円) | 7万円<br>(6,000円)   | 10万円<br>(8,000円)  | 14万円<br>(12,000円) |
|                    | 問4 | 3万5千円<br>(3,000円) | 7万円<br>(6,000円)   | 10万円<br>(8,000円)  | 14万円<br>(12,000円) | 20万円<br>(16,000円) |
|                    | 問5 | 8千円<br>(700円)     | 1万8千円<br>(1,500円) | 3万5千円<br>(3,000円) | 7万円<br>(6,000円)   | 10万円<br>(8,000円)  |

| 項目         |    | パターン1             | パターン2             | パターン3           | パターン4             | パターン5             |
|------------|----|-------------------|-------------------|-----------------|-------------------|-------------------|
| 生活環境改善効果のみ | 問3 | 1万5千円<br>(1,200円) | 3万円<br>(2,500円)   | 6万円<br>(5,000円) | 9万円<br>(7,500円)   | 12万円<br>(10,000円) |
|            | 問4 | 3万円<br>(2,500円)   | 6万円<br>(5,000円)   | 9万円<br>(7,500円) | 12万円<br>(10,000円) | 18万円<br>(15,000円) |
|            | 問5 | 7千円<br>(600円)     | 1万5千円<br>(1,200円) | 3万円<br>(2,500円) | 6万円<br>(5,000円)   | 9万円<br>(7,500円)   |

## 3) 集落防災安全施設

| 項目                 |    | パターン1             | パターン2             | パターン3             | パターン4             | パターン5             |
|--------------------|----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 生活環境改善効果＋景観・環境保全効果 | 問3 | 1万2千円<br>(1,000円) | 2万5千円<br>(2,000円) | 5万円<br>(4,000円)   | 7万5千円<br>(6,000円) | 10万円<br>(8,000円)  |
|                    | 問4 | 2万5千円<br>(2,000円) | 5万円<br>(4,000円)   | 7万5千円<br>(6,000円) | 10万円<br>(8,000円)  | 15万円<br>(12,000円) |
|                    | 問5 | 6千円<br>(500円)     | 1万2千円<br>(1,000円) | 2万5千円<br>(2,000円) | 5万円<br>(4,000円)   | 7万5千円<br>(6,000円) |

| 項目         |    | パターン1           | パターン2           | パターン3           | パターン4           | パターン5             |
|------------|----|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|
| 生活環境改善効果のみ | 問3 | 1万円<br>(800円)   | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) | 6万円<br>(5,000円) | 8万円<br>(6,500円)   |
|            | 問4 | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) | 6万円<br>(5,000円) | 8万円<br>(6,500円) | 12万円<br>(10,000円) |
|            | 問5 | 4千円<br>(300円)   | 1万円<br>(800円)   | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) | 6万円<br>(5,000円)   |

#### 4) 自然環境・生態系保全施設

| 項目                       |    | パターン1           | パターン2             | パターン3             | パターン4             | パターン5             |
|--------------------------|----|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 景観・環境保全効果＋地域コミュニティ維持向上効果 | 問3 | 3千円<br>(250円)   | 7千円<br>(600円)     | 1万4千円<br>(1,200円) | 2万円<br>(1,600円)   | 2万8千円<br>(2,400円) |
|                          | 問4 | 7千円<br>(600円)   | 1万4千円<br>(1,200円) | 2万円<br>(1,600円)   | 2万8千円<br>(2,400円) | 4万円<br>(3,300円)   |
|                          | 問5 | 1千5百円<br>(120円) | 3千円<br>(250円)     | 7千円<br>(600円)     | 1万4千円<br>(1,200円) | 2万円<br>(1,600円)   |

| 項目          |    | パターン1         | パターン2         | パターン3             | パターン4             | パターン5             |
|-------------|----|---------------|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 景観・環境保全効果のみ | 問3 | 2千円<br>(160円) | 5千円<br>(400円) | 1万円<br>(800円)     | 1万5千円<br>(1,200円) | 2万円<br>(1,600円)   |
|             | 問4 | 5千円<br>(400円) | 1万円<br>(800円) | 1万5千円<br>(1,200円) | 2万円<br>(1,600円)   | 3万円<br>(2,500円)   |
|             | 問5 | 1千円<br>(80円)  | 2千円<br>(160円) | 5千円<br>(400円)     | 1万円<br>(800円)     | 1万5千円<br>(1,200円) |

#### 5) 活性化施設・地域農業活動拠点施設

| 項目                       |    | パターン1           | パターン2           | パターン3         | パターン4             | パターン5             |
|--------------------------|----|-----------------|-----------------|---------------|-------------------|-------------------|
| 地域コミュニティ維持向上効果＋景観・環境保全効果 | 問3 | 1千5百円<br>(120円) | 3千円<br>(250円)   | 6千円<br>(500円) | 8千円<br>(650円)     | 1万2千円<br>(1,000円) |
|                          | 問4 | 3千円<br>(250円)   | 6千円<br>(500円)   | 8千円<br>(650円) | 1万2千円<br>(1,000円) | 1万8千円<br>(1,500円) |
|                          | 問5 | 7百円<br>(60円)    | 1千5百円<br>(120円) | 3千円<br>(250円) | 6千円<br>(500円)     | 8千円<br>(650円)     |

| 項目               |    | パターン1         | パターン2         | パターン3         | パターン4         | パターン5             |
|------------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------------|
| 地域コミュニティ維持向上効果のみ | 問3 | 1千円<br>(80円)  | 2千円<br>(160円) | 4千円<br>(300円) | 6千円<br>(500円) | 8千円<br>(650円)     |
|                  | 問4 | 2千円<br>(160円) | 4千円<br>(300円) | 6千円<br>(500円) | 8千円<br>(650円) | 1万2千円<br>(1,000円) |
|                  | 問5 | 5百円<br>(40円)  | 1千円<br>(80円)  | 2千円<br>(160円) | 4千円<br>(300円) | 6千円<br>(500円)     |

## 6) 集落農園

| 項目                               |    | パターン1           | パターン2           | パターン3         | パターン4             | パターン5             |
|----------------------------------|----|-----------------|-----------------|---------------|-------------------|-------------------|
| 地域コミュニティ<br>維持向上効果＋<br>景観・環境保全効果 | 問3 | 1千5百円<br>(120円) | 3千円<br>(250円)   | 6千円<br>(500円) | 8千円<br>(650円)     | 1万2千円<br>(1,000円) |
|                                  | 問4 | 3千円<br>(250円)   | 6千円<br>(500円)   | 8千円<br>(650円) | 1万2千円<br>(1,000円) | 1万8千円<br>(1,500円) |
|                                  | 問5 | 7百円<br>(60円)    | 1千5百円<br>(120円) | 3千円<br>(250円) | 6千円<br>(500円)     | 8千円<br>(650円)     |

| 項目                   |    | パターン1         | パターン2         | パターン3         | パターン4         | パターン5             |
|----------------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------------|
| 地域コミュニティ<br>維持向上効果のみ | 問3 | 1千円<br>(80円)  | 2千円<br>(160円) | 4千円<br>(330円) | 6千円<br>(500円) | 8千円<br>(650円)     |
|                      | 問4 | 2千円<br>(160円) | 4千円<br>(330円) | 6千円<br>(500円) | 8千円<br>(650円) | 1万2千円<br>(1,000円) |
|                      | 問5 | 5百円<br>(40円)  | 1千円<br>(80円)  | 2千円<br>(160円) | 4千円<br>(330円) | 6千円<br>(500円)     |

## 7) 情報基盤施設整備（防災用同報無線）

| 項目                 |    | パターン1             | パターン2             | パターン3             | パターン4           | パターン5             |
|--------------------|----|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------|-------------------|
| 生活環境改善効果＋景観・環境保全効果 | 問3 | 7千円<br>(600円)     | 1万5千円<br>(1,200円) | 3万円<br>(2,500円)   | 6万円<br>(5,000円) | 8万円<br>(6,500円)   |
|                    | 問4 | 1万5千円<br>(1,200円) | 3万円<br>(2,500円)   | 6万円<br>(5,000円)   | 8万円<br>(6,500円) | 12万円<br>(10,000円) |
|                    | 問5 | 3千円<br>(250円)     | 7千円<br>(600円)     | 1万5千円<br>(1,200円) | 3万円<br>(2,500円) | 6万円<br>(5,000円)   |

| 項目         |    | パターン1         | パターン2           | パターン3           | パターン4           | パターン5           |
|------------|----|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 生活環境改善効果のみ | 問3 | 5千円<br>(400円) | 1万円<br>(800円)   | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) | 6万円<br>(5,000円) |
|            | 問4 | 1万円<br>(800円) | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) | 6万円<br>(5,000円) | 8万円<br>(6,500円) |
|            | 問5 | 2千円<br>(160円) | 5千円<br>(400円)   | 1万円<br>(800円)   | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) |

8) その他の工種（参考2に雛形として掲載しなかった工種のうち、主なもの）

○交流施設

| 項目                               |    | パターン1        | パターン2           | パターン3           | パターン4           | パターン5         |
|----------------------------------|----|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 地域コミュニティ維持向上<br>効果＋景観・<br>環境保全効果 | 問3 | 4百円<br>(30円) | 7百円<br>(60円)    | 1千5百円<br>(120円) | 3千円<br>(250円)   | 6千円<br>(500円) |
|                                  | 問4 | 7百円<br>(60円) | 1千5百円<br>(120円) | 3千円<br>(250円)   | 6千円<br>(500円)   | 8千円<br>(650円) |
|                                  | 問5 | 2百円<br>(15円) | 4百円<br>(30円)    | 7百円<br>(60円)    | 1千5百円<br>(120円) | 3千円<br>(250円) |

| 項目                   |    | パターン1          | パターン2          | パターン3         | パターン4         | パターン5         |
|----------------------|----|----------------|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 地域コミュニティ維持向上<br>効果のみ | 問3 | 2百5十円<br>(20円) | 5百円<br>(40円)   | 1千円<br>(80円)  | 2千円<br>(160円) | 4千円<br>(330円) |
|                      | 問4 | 5百円<br>(40円)   | 1千円<br>(80円)   | 2千円<br>(160円) | 4千円<br>(330円) | 6千円<br>(500円) |
|                      | 問5 | 1百2十円<br>(10円) | 2百5十円<br>(20円) | 5百円<br>(40円)  | 1千円<br>(80円)  | 2千円<br>(160円) |

○集落環境管理施設（畜産農家向け）

| 項目             |    | パターン1           | パターン2           | パターン3           | パターン4           | パターン5           |
|----------------|----|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 農業労働環境<br>改善効果 | 問3 | 5千円<br>(400円)   | 1万円<br>(800円)   | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) | 6万円<br>(5,000円) |
|                | 問4 | 1万円<br>(800円)   | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) | 6万円<br>(5,000円) | 8万円<br>(6,500円) |
|                | 問5 | 2千5百円<br>(200円) | 5千円<br>(400円)   | 1万円<br>(800円)   | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) |

○集落環境管理施設（周辺住民向け）

| 項目           |    | パターン1         | パターン2         | パターン3           | パターン4           | パターン5           |
|--------------|----|---------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 集落環境改善<br>効果 | 問3 | 2千円<br>(160円) | 5千円<br>(400円) | 1万円<br>(800円)   | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) |
|              | 問4 | 5千円<br>(400円) | 1万円<br>(800円) | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) | 6万円<br>(5,000円) |
|              | 問5 | 1千円<br>(80円)  | 2千円<br>(160円) | 5千円<br>(400円)   | 1万円<br>(800円)   | 2万円<br>(1,600円) |

○施設環境整備

| 項目                                 |    | パターン1         | パターン2         | パターン3           | パターン4           | パターン5           |
|------------------------------------|----|---------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 生活環境改善<br>効果（バリア<br>フリーに関する<br>効果） | 問3 | 2千円<br>(160円) | 5千円<br>(400円) | 1万円<br>(800円)   | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) |
|                                    | 問4 | 5千円<br>(400円) | 1万円<br>(800円) | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) | 6万円<br>(5,000円) |
|                                    | 問5 | 1千円<br>(80円)  | 2千円<br>(160円) | 5千円<br>(400円)   | 1万円<br>(800円)   | 2万円<br>(1,600円) |

## 第5項 辞書的回答、抵抗回答の排除

辞書的回答とは提示金額に関係なく一段階目、二段階目の質問に「はい」と答える回答であり、抵抗回答とは提示金額と関係のない理由で「いいえ」と答える回答である。正確な支払意志額を推定するためには、これらの回答を排除する必要がある。

そこで、一段階目、二段階目の質問の両方ともに「はい」と答えた回答者に対して図 3-2 に示すような質問を行い辞書的回答かどうかを判別する。この質問に対し、「はい」と答えた回答は、極端に高い金額を受諾しており、辞書的回答と考えられる。

また、一段階目、二段階目の質問の両方ともに「いいえ」と答えた回答者に対して図 3-3 に示すような質問を行い抵抗回答を判別する。この質問に対し「3.」「4.」を選択した回答者は抵抗回答と考えられる。

### 問 4

「問2」で「はい」と答えた方におたずねします。あなたはこの計画は非常に重要なので、負担額が『いくら高くても、「はい」と答えるべき』だとお考えですか。

1. はい

2. いいえ

図 3-2 辞書的回答に関する質問例

### 問 5

「いいえ」と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、負担額が高すぎる
2. 現状では特に道路の拡幅や舗装の必要がない
3. 道路の拡幅や舗装は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

図 3-3 抵抗回答に関する質問例

## 第5節 アンケート票の作成（支払カード方式）

### 第1項 質問方式の選択

受益戸数が少ない（目安として CVM の配布対象戸数が 50 戸未満）ために CVM の解析に必要なサンプルが十分集められない場合は、二段階二肢選択方式ではなく支払カード方式を採用しても良い。

### 第2項 提示される効果内容

標準的なアンケート票では、事業実施によって得られる効果として、表 3-2 に示した内容を回答者に提示している。効果内容は、地区の状況、施設の整備内容によって異なるため、適切に修正すること。

### 第3項 支払カード選択方式の質問の作成

支払カード選択方式では、金額を選択肢方式で提示する。設問例を図 3-4 に示した。

#### 問 1

あなたの世帯は、負担する金額が1年あたり最大いくらまでだったら計画に賛成しても良いと思われますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。なお、負担は40年間継続するとします。

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 5千円（月額約400円）     | 6. 10万円（月額約8,000円）  |
| 2. 1万2千円（月額1,000円）  | 7. 15万円（月額約12,000円） |
| 3. 2万5千円（月額約2,000円） | 8. 15万円より高い         |
| 4. 5万円（月額約4,000円）   | 9. 金額にかかわらず反対       |
| 5. 7万5千円（月額約6,000円） |                     |

図 3-4 支払カード方式の設問例

### 第4項 提示金額の設定

図 3-4 に示したように、支払カード方式では 7 段階の金額を提示する。支払カード方式では、この 7 段階を図 3-4 に例示した方式で提示する。

金額の設定の例として、表 3-5 で提示したとおりの 7 段階の金額を提示する。

表 3-5 提示金額の設定例（支払カード方式）

各工種における提示額の設定（上段：年額、下段の括弧書き：月額）

1) 農業集落道

| 項目                         | 選択肢1          | 選択肢2              | 選択肢3              | 選択肢4            | 選択肢5              | 選択肢6             | 選択肢7              |
|----------------------------|---------------|-------------------|-------------------|-----------------|-------------------|------------------|-------------------|
| 生活環境改善<br>効果＋景観・<br>環境保全効果 | 5千円<br>(400円) | 1万2千円<br>(1,000円) | 2万5千円<br>(2,000円) | 5万円<br>(4,000円) | 7万5千円<br>(6,000円) | 10万円<br>(8,000円) | 15万円<br>(12,000円) |
| 生活環境改善<br>効果のみ             | 4千円<br>(300円) | 1万円<br>(800円)     | 2万円<br>(1,600円)   | 4万円<br>(3,000円) | 6万円<br>(5,000円)   | 8万円<br>(6,500円)  | 12万円<br>(10,000円) |

2) 農業集落排水路

| 項目                         | 選択肢1          | 選択肢2              | 選択肢3              | 選択肢4            | 選択肢5             | 選択肢6              | 選択肢7              |
|----------------------------|---------------|-------------------|-------------------|-----------------|------------------|-------------------|-------------------|
| 生活環境改善<br>効果＋景観・<br>環境保全効果 | 8千円<br>(700円) | 1万8千円<br>(1,500円) | 3万5千円<br>(3,000円) | 7万円<br>(6,000円) | 10万円<br>(8,000円) | 14万円<br>(12,000円) | 20万円<br>(16,000円) |
| 生活環境改善<br>効果のみ             | 7千円<br>(600円) | 1万5千円<br>(1,200円) | 3万円<br>(2,500円)   | 6万円<br>(5,000円) | 9万円<br>(7,500円)  | 12万円<br>(10,000円) | 18万円<br>(15,000円) |

3) 集落防災安全施設

| 項目                         | 選択肢1          | 選択肢2              | 選択肢3              | 選択肢4            | 選択肢5              | 選択肢6             | 選択肢7              |
|----------------------------|---------------|-------------------|-------------------|-----------------|-------------------|------------------|-------------------|
| 生活環境改善<br>効果＋景観・<br>環境保全効果 | 6千円<br>(500円) | 1万2千円<br>(1,000円) | 2万5千円<br>(2,000円) | 5万円<br>(4,000円) | 7万5千円<br>(6,000円) | 10万円<br>(8,000円) | 15万円<br>(12,000円) |
| 生活環境改善<br>効果のみ             | 4千円<br>(300円) | 1万円<br>(800円)     | 2万円<br>(1,600円)   | 4万円<br>(3,000円) | 6万円<br>(5,000円)   | 8万円<br>(6,500円)  | 12万円<br>(10,000円) |

4) 自然環境・生態系保全施設

| 項目                                   | 選択肢1            | 選択肢2          | 選択肢3          | 選択肢4              | 選択肢5              | 選択肢6              | 選択肢7            |
|--------------------------------------|-----------------|---------------|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------|
| 景観・環境保<br>全効果＋地域<br>コミュニティ<br>維持向上効果 | 1千5百円<br>(120円) | 3千円<br>(250円) | 7千円<br>(600円) | 1万4千円<br>(1,200円) | 2万円<br>(1,600円)   | 2万8千円<br>(2,400円) | 4万円<br>(3,300円) |
| 景観・環境保<br>全効果のみ                      | 1千円<br>(80円)    | 2千円<br>(160円) | 5千円<br>(400円) | 1万円<br>(800円)     | 1万5千円<br>(1,200円) | 2万円<br>(1,600円)   | 3万円<br>(2,500円) |

#### 5) 活性化施設・地域農業活動拠点施設

| 項目                       | 選択肢1         | 選択肢2            | 選択肢3          | 選択肢4          | 選択肢5          | 選択肢6              | 選択肢7              |
|--------------------------|--------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|-------------------|-------------------|
| 地域コミュニティ維持向上効果＋景観・環境保全効果 | 7百円<br>(60円) | 1千5百円<br>(120円) | 3千円<br>(250円) | 6千円<br>(500円) | 8千円<br>(650円) | 1万2千円<br>(1,000円) | 1万8千円<br>(1,500円) |
| 地域コミュニティ維持向上効果のみ         | 5百円<br>(40円) | 1千円<br>(80円)    | 2千円<br>(160円) | 4千円<br>(300円) | 6千円<br>(500円) | 8千円<br>(650円)     | 1万2千円<br>(1,000円) |

#### 6) 集落農園

| 項目                       | 選択肢1         | 選択肢2            | 選択肢3          | 選択肢4          | 選択肢5          | 選択肢6              | 選択肢7              |
|--------------------------|--------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|-------------------|-------------------|
| 地域コミュニティ維持向上効果＋景観・環境保全効果 | 7百円<br>(60円) | 1千5百円<br>(120円) | 3千円<br>(250円) | 6千円<br>(500円) | 8千円<br>(650円) | 1万2千円<br>(1,000円) | 1万8千円<br>(1,500円) |
| 地域コミュニティ維持向上効果のみ         | 5百円<br>(40円) | 1千円<br>(80円)    | 2千円<br>(160円) | 4千円<br>(300円) | 6千円<br>(500円) | 8千円<br>(650円)     | 1万2千円<br>(1,000円) |

#### 7) 情報基盤施設整備（防災用同報無線）

| 項目                 | 選択肢1          | 選択肢2          | 選択肢3              | 選択肢4            | 選択肢5            | 選択肢6            | 選択肢7              |
|--------------------|---------------|---------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|
| 生活環境改善効果＋景観・環境保全効果 | 3千円<br>(250円) | 7千円<br>(600円) | 1万5千円<br>(1,200円) | 3万円<br>(2,500円) | 6万円<br>(5,000円) | 8万円<br>(6,500円) | 12万円<br>(10,000円) |
| 生活環境改善効果のみ         | 2千円<br>(160円) | 5千円<br>(400円) | 1万円<br>(800円)     | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) | 6万円<br>(5,000円) | 8万円<br>(6,500円)   |

8) その他の工種（参考2に雛形として掲載しなかった工種のうち、主なもの）

○交流施設

| 項目                       | 選択肢1           | 選択肢2           | 選択肢3         | 選択肢4            | 選択肢5          | 選択肢6          | 選択肢7          |
|--------------------------|----------------|----------------|--------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|
| 地域コミュニティ維持向上効果＋景観・環境保全効果 | 2百円<br>(15円)   | 4百円<br>(30円)   | 7百円<br>(60円) | 1千5百円<br>(120円) | 3千円<br>(250円) | 6千円<br>(500円) | 8千円<br>(650円) |
| 地域コミュニティ維持向上効果のみ         | 1百2十円<br>(10円) | 2百5十円<br>(20円) | 5百円<br>(40円) | 1千円<br>(80円)    | 2千円<br>(160円) | 4千円<br>(330円) | 6千円<br>(500円) |

○集落環境管理施設（畜産農家向け）

| 項目         | 選択肢1            | 選択肢2          | 選択肢3          | 選択肢4            | 選択肢5            | 選択肢6            | 選択肢7            |
|------------|-----------------|---------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 農業労働環境改善効果 | 2千5百円<br>(200円) | 5千円<br>(400円) | 1万円<br>(800円) | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) | 6万円<br>(5,000円) | 8万円<br>(6,500円) |

○集落環境管理施設（周辺住民向け）

| 項目       | 選択肢1         | 選択肢2          | 選択肢3          | 選択肢4          | 選択肢5            | 選択肢6            | 選択肢7            |
|----------|--------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 集落環境改善効果 | 1千円<br>(80円) | 2千円<br>(160円) | 5千円<br>(400円) | 1万円<br>(800円) | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) | 6万円<br>(5,000円) |

○施設環境整備

| 項目                     | 選択肢1         | 選択肢2          | 選択肢3          | 選択肢4          | 選択肢5            | 選択肢6            | 選択肢7            |
|------------------------|--------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 生活環境改善効果（バリアフリーに関する効果） | 1千円<br>(80円) | 2千円<br>(160円) | 5千円<br>(400円) | 1万円<br>(800円) | 2万円<br>(1,600円) | 4万円<br>(3,300円) | 6万円<br>(5,000円) |

## 第5項 辞書的回答、抵抗回答の排除

支払カード方式の場合も全く同様にして、辞書的回答、抵抗回答を排除する。

### 問 2

「問1」で「8.8万円（年額）より高い」と答えた方におたずねします。あなたは、この計画は非常に重要なので、『負担額がいくら高くても、「はい」と答えるべき』だとお考えですか。

1. はい

2. いいえ

図 3-5 辞書的回答に関する質問例（支払カード方式の場合）

### 問 3

「問1」で「9. 金額にかかわらず反対」と答えた方におたずねします。反対と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、年額5千円（問1の選択肢1の金額）は高すぎる
2. 現状では特に道路の拡幅の必要がない
3. 道路の拡幅は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. よくわからない

図 3-6 抵抗回答に関する質問例（支払カード方式の場合）

## 第6節 整備内容説明用資料

CVM アンケートに対して適切な回答をするためには、回答者が評価の対象となる工種、施設の内容、効果について十分理解している必要がある。「参考2 標準的なアンケート票」に示した標準的なアンケート票は、どの地区においても利用できるように作成されているため、実際に評価の対象となる地区、施設特有の情報については、事例集のように、標準的なアンケート票をベースに、調査票の中に絵や写真などを盛り込むか、整備内容説明用資料によって説明する必要がある。

以下に、整備内容説明用資料に含めるべき事項を示した。また、施設の整備内容等を説明する資料を作成し、アンケート説明会において活用し、アンケート票に添付して配布すること。

資料の作成に当たっては、文章表現、図表など、回答者にわかりやすいように十分留意すること。具体的には、図であれば、行政内部資料の対象校区図を転用するのではなく、回答者向けの図を作成することが望ましい。また、景観形成効果を評価する場合には、施設の現状と完成後の景観を示す写真、イラストなどを必ず添付すること。

また、事業の説明として、「事業を実施することになりました。」といった過去形で示しているものがあつたが、これでは、これから回答しようとする CVM 調査が無意味であると、回答者が捉えかねないため、そのような表現は避けることが望ましい。

### 〇〇施設の整備の紹介

#### ★〇〇施設を整備する目的は

(施設整備の背景、必要性、目的などを簡潔に記述)

#### ★整備の内容

(施設の内容、規模、位置などについて図面などを入れ簡潔に記述)

#### ★期待される効果

(その地区において施設が整備されることによる具体的な効果を簡潔に記述)

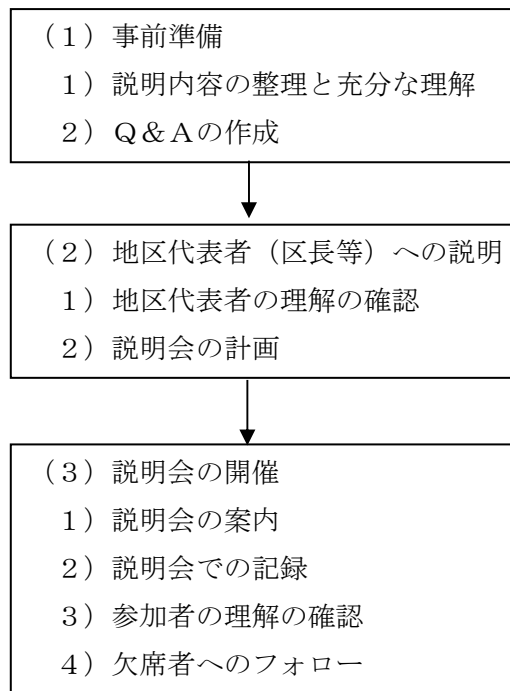
#### 資料

- ・ 〇〇施設位置図
- ・ 〇〇施設整備場所の現況 (写真など)
- ・ 〇〇施設完成予想図 (イラスト、パース図、モンタージュ写真など)
- ・ 本アンケートの活用方法 (CVM調査の考え方などの解説)

図 3-7 整備内容説明用資料の雛形の例

## 第7節 アンケート説明会の開催

アンケートに対する理解を高めるために、アンケート票を配付する前に、受益世帯（アンケート配布世帯）を対象として、説明会を開催すること。説明会の開催までの手順を下図に示す。



### (1) 事前準備

#### 1) 説明内容の整理と十分な理解

まず、説明会で説明すべき内容を整理し、充分理解しておく。説明項目としては、以下が挙げられる。各項目について、説明すべきポイントを確認し、各ポイントの説明方法（内容、順番など）を決めておく。

**表 3－6 説明会での説明項目とポイント**

| 説明項目     | ポイント                   |
|----------|------------------------|
| 事業の概要    | 事業目的・整備内容・事業の効果        |
| アンケートの内容 | CVMの手法について・アンケートの目的・内容 |
| 回答回収方法   | 回答方法・回収方法・回答期限         |

アンケートの目的・内容については、戦略的に、すなわち故意に支払意志額を高くするような説明をしてはならない（故意に支払意志額を高くすることを「戦略バイアス」という）。一度、戦略バイアスがあるCVMを行った地区では、CVMのアンケートの度に自然に戦略バイアスが生じてしまう状態になる。そのため、CVMをやり直したり、ほかのCVMを実施することが困難になるので注意すること。

また、アンケートの内容について説明すべき点を以下に示す。

**表 3-7 アンケートについて説明すべき点**

- ・ アンケートは、事業計画策定、事業実施上不可欠なものであり、原則としてすべての受益者の回答を得ることが望ましいこと。
- ・ 一部の質問について無回答であると、そのアンケート票は無効になってしまうため、できるだけすべての質問に回答してほしいということ。
- ・ 金銭の支払いなどに関係する質問は、あくまでも仮定のものであり、実際の負担金や使用料金の設定には無関係であること。
- ・ アンケートの回答は、集計して地区全体の数値のみを利用し、個々人の回答を直接利用することは決していないこと。
- ・ アンケートの中に提示されている金額は、人によって異なっており、一部のアンケート票では非常識に高い、もしくは、非常識に安い金額が提示されていると感じられる場合もあるかもしれないが、その質問に回答していただくことも意味があること。
- ・ CVM調査の考え方について簡単に解説すること。ただし、辞書的回答※1・抵抗回答※2の構造や二段階二肢選択方式※3の意味などの詳細は説明してはいけない。

※1 辞書的回答：提示金額に関係なく「はい」と答える回答（P31参照）

※2 抵抗回答：支払方法（負担金）に対する反対など、提示金額と関係のない理由で「いいえと答える回答（P31参照）

※3 二段階二肢選択方式：P20参照

## 2) Q&Aの作成

説明時に想定される回答者の疑問に対する回答をQ&Aとしてとりまとめておく。

表 3-8 Q&Aの項目例

① このアンケートをどのように使うのか

回答例：このアンケートは、農村生活環境整備の中で特に地区内の〇〇整備にどの程度の効果があるのか、お金に換算して調べることを目的にしています。アンケートの回答は集計データとして取り扱いますので、特定のお宅のご回答がそのまま外部に明らかにされるということはありません。

② 家の中で誰が回答してもいいのか

回答例：アンケートは世帯ベースでの回答として集計しますので、基本的にはご家庭のどなたが回答して頂いても構いません。もちろん、ご家族で相談して頂いても構いません。（注意：あくまで常識的な範囲でという意味。例えば、小学生のお子さんが回答する、というのは望んでいない。）

③ 隣家などと相談してもいいのか

回答例：アンケートは世帯ベースでの回答として集計しますので、隣家などとの相談は行わないようにしてください。

④ 調査結果は教えてもらえるのか

回答例：アンケート票の〇〇のところに問い合わせ先が記載してありますので、調査結果については、問い合わせ先にお尋ねください。  
(調査結果は平均額のみを伝え、個々の回答については教えないこと。)

⑤ 質問がわからない場合の問い合わせ先は

回答例：アンケート票の〇〇のところに問い合わせ先が記載してありますので、そちらにお願いします。

⑥ その施設は、全く利用しないが、回答する必要があるのか

回答例：このアンケートは利用の有無に係わらず回答して頂いて問題ありませんので、よろしくお願い致します。

なお、Q&Aについては、上記以外の設問についても、地区の実情等に応じてそれぞれ作成を行うこと。

(2) 地区代表者（区長等）への説明

1) 地区代表者の理解の確認

まず、地区代表者に対して説明し、十分な質疑を交わして、地区代表者の事業やアンケートに対する理解を確認する。

2) 説明会の計画

地区代表者とともに、説明会をどのように開催するかについて計画を練る。計画する項目と各項目の留意点を以下に示す。

**表 3－9 説明会の計画項目と留意点**

| 項目  | 留意点                                            |
|-----|------------------------------------------------|
| 日時  | ・ 回答者が集まりやすい日時にする。<br>・ 少人数であれば、事前にスケジュール調整を行う |
| 場所  | ・ 日時、参加人数に応じて、集まりやすい場所を設定する                    |
| 説明者 | ・ 各項目ごとに、回答者の理解しやすさや、親しみやすさなどを加味して、説明者を決定する    |

(3) 説明会の開催

1) 説明会の案内

説明会の案内は、回答者にもれなく通知する。通知方法は、回覧板、電話、チラシの投函、ローカル放送などの方法が考えられる。なお、回答者の数が多く、周知徹底が難しい場合は、新聞の折込チラシを入れるか、市町村の広報誌に掲載するなどの方法が考えられる。

2) 説明会での記録

説明会では、回答者の出欠をとり、参加状況を必ず記録する。また、説明会での質疑応答についても記録する。

3) 参加者の理解の確認

説明後、質疑応答時間を取り、参加者の理解を確認する。質問が出ない場合には、事前に作成したQ & Aの内容も直接伝える。

4) 欠席者へのフォロー

説明会での記録を元に、説明会への欠席者には、再説明会の開催や、別途、電話や調査票配布時等に説明を行うことで周知する。その際、説明会で記録した質疑応

答の内容も伝える。

なお、回答者への説明方法については、以下のような対応が考えられるが、原則として①もしくは②を採用することとする。①、②のいずれにするかは、方法ごとにメリット・デメリットがあるので、地区の実情に応じ望ましい手法により説明を行うこと。（①、②の補完的な手段として、やむを得ない事情により説明会に参加できなかった回答者に説明する場合に、戸別説明を採用しても構わない。）

- ① 役所が地区代表者を対象として説明し、地区代表者は、回答者を対象に説明会を開催
- ② 役所が、直接回答者を対象として説明会を開催
- ③ 役所が地区代表者を対象として説明会を開催。地区代表者は、各戸に説明、配布

**表 3－10 回答者への説明方法のメリット・デメリット**

| 説明方法              | メリット                              | デメリット                                             |
|-------------------|-----------------------------------|---------------------------------------------------|
| ①役所→地区代表者→回答者に説明会 | ・親しみやすさが増すと考えられる                  | ・事業の内容が正確に伝わらない可能性がある                             |
| ②役所→回答者に説明会       | ・事業の内容を正確に伝えることができる               | ・地区代表者に依頼するよりも、行政コストが高くなると考えられる                   |
| ③役所→地区代表者→戸別説明    | ・親しみやすさが増すと考えられる<br>・回答者の負担が軽減される | ・事業の説明が戸別に異なれば、伝わる情報にムラが出る可能性がある<br>・地区代表者の負担が大きい |

## 第8節 アンケートの配布回収

原則として、行政組織を通じ区長等によって配布・回収を行う。ただし、不可能な場合には郵送によって配布回収してもよい。郵送によって配布回収する場合でも、アンケートの趣旨等について周知徹底をし、回収率を高めるように努めること。

配布回収方法ごとのメリット・デメリットとしては、以下が想定されるため、メリット・デメリットを考慮の上、最良と思われる方法を選択することが望まれる。例えば、調査対象が少なく、回収期間が限られている場合には、回答数の確保が最も重要であるため、説明会場で回収するか訪問回収をすることが望ましい。

表 3-11 調査票回収方法のメリット・デメリット

| 調査票回収方法   | メリット                           | デメリット                                                   |
|-----------|--------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 説明会場で直接回収 | ・回収率100%となる                    | ・世帯としての回答がしにくい<br>・追従バイアス(※)などによりWTPが実際よりも高く表明される可能性がある |
| 後日訪問回収    | ・高い回収率が期待できる<br>・世帯として充分検討ができる | ・回収の手間がかかる                                              |
| 後日郵送回収    | ・世帯として充分検討ができる                 | ・回収率が低くなる<br>・手間、郵送費がかかる                                |

※追従バイアス：相手（調査員）に喜ばれるような回答をすること

## 第4章 CVMの解析方法

本章では、CVMの解析方法について解説する。なお、添付したCD-ROMに収録されているファイル「CVM解析.xls」は、本章の解析方法に対応している。

### 第1節 アンケート票の整理と集計

#### 第1項 アンケート票の整理

回収したアンケート票は、記入の有無などを確認し、1番から連番を記入する。集計、解析において異常値などが発見された場合、アンケート票を確認できるように整理、保管すること。

#### 第2項 回収状況の取りまとめ

表4-1に示した取りまとめ表に従い、アンケート票回収状況を取りまとめる。

表 4-1 アンケート票回収状況取りまとめ表

| 項目              | 名称・数など |   |     |
|-----------------|--------|---|-----|
| 都道府県名・市町村名      | 都道府県   |   | 市町村 |
| 地区名             | 地区     |   |     |
| 集落名             | 集落     |   |     |
| 対象工種・施設名        |        |   |     |
| 受益世帯数           | 戸      |   |     |
| 配布日             | 年      | 月 | 日   |
| 回収日             | 年      | 月 | 日   |
| 配布数 ①           | 票      |   |     |
| 回収数 ②           | 票      |   |     |
| うち白紙回答 ③        | 票      |   |     |
| うち有効回答 ②－③      | %      |   |     |
| 回収率 ②÷①         | %      |   |     |
| 有効回答率 (②－③) ÷ ① | %      |   |     |

### 第3項 単純集計

各パターンの回収数、各質問の回答数、回答率を集計し、表 4－2 に示すような集計表に取りまとめる。表計算ソフト、データベースソフト、統計解析ソフトなどを利用すると容易に集計ができる。

表 4－2 アンケート単純集計表（例）

#### パターン別回収数

| 項目         |   | パターン1 | パターン2 | パターン3 | パターン4 | パターン5 | 合計 |
|------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 回収全体       | 票 | 票     | 票     | 票     | 票     | 票     | 票  |
|            | % | %     | %     | %     | %     | %     | %  |
| うち有効<br>回答 | 票 | 票     | 票     | 票     | 票     | 票     | 票  |
|            | % | %     | %     | %     | %     | %     | %  |

#### 問1 道路への満足度（有効回答）

| 項目  | 1.かなり<br>満足 | 2.やや満<br>足 | 3.どちら<br>でもない | 4.やや不<br>満 | 5.かなり<br>不満 | 6.利用せ<br>ず | 合計   |
|-----|-------------|------------|---------------|------------|-------------|------------|------|
| 回答数 | 票           | 票          | 票             | 票          | 票           | 票          | 票    |
| %   | %           | %          | %             | %          | %           | %          | 100% |

## 第2節 世帯当たり支払意志額の推定（二段階二肢選択方式アンケート）

### 第1項 二段階二肢選択方式アンケートにおける支払意志額の推定方法

二段階二項選択方式アンケートにおける支払意志額の推定方法には、パラメトリックモデルとノンパラメトリックモデルを利用した方法などがある。ここでは、ノンパラメトリックモデルを利用した推定方法を解説するが、パラメトリックモデルとノンパラメトリックモデルとの間には理論的な優劣はなく、パラメトリックモデルの利用を妨げるものではない。

#### <ノンパラメトリックモデルとパラメトリックモデル>

##### ○ノンパラメトリックモデル

確率変数の密度関数または確率関数の型を、いくつかの制約条件を付ける以外は何も特定化しない確率化モデル。

ノンパラメトリックモデルを用いる場合、統計パッケージ等のソフトウェアを必要とせず、手計算でも支払意志額を推定できるという利点がある。

##### ○パラメトリックモデル

確率変数の密度関数または確率関数が有限個のパラメーターのみで記述できる場合、確率変数のモデルはパラメトリックモデルと呼ばれる。この場合は尤度関数とその確率変数の実現値と有限個のパラメーターだけで表現でき最尤法推定ができる。

パラメトリックモデルを用いる場合では、統計的推計や検定を行うとき、母集団の分布型が正規分布等の確率分布を取ることを前提として実施することとなり、推定の精度や検定力は分布型に依存する。

### 第2項 無回答、不正回答、抵抗回答などの排除

表 4-3 の条件に合致する無回答、不正回答、辞書的回答、抵抗回答が含まれるアンケート票は、ノンパラメトリックモデルによる解析から除く。無回答、不正回答、辞書的回答、抵抗回答それぞれ回答数を表 4-4 の様式に取りまとめること。

ただし、同一のアンケート票で複数の効果について質問するときは、各効果ごと独立して無回答、不正回答、辞書的回答、抵抗回答を排除すること。例えば、農業集落道の「安全性向上効果」について除外した回答であっても、「快適性向上効果」の回答に問題がなければ、他の効果の解析には含めること。

表 4－3 除外すべき回答の条件

| 回答の種類 | 除外すべき回答の条件                                                                                                                                                                 |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 無回答   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一段階目の設問（問１）が無回答のもの</li> <li>・一段階目の設問（問１）を「はい」と回答し、二段階目の設問（問２）が無回答のもの</li> <li>・一段階目の設問（問１）を「いいえ」と回答し、二段階目の設問（問３）が無回答のもの</li> </ul> |
| 不正回答  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・二肢選択の設問（問１～問３）のいずれかで、「はい」「いいえ」の両方の回答があるもの</li> <li>・二段階目の設問の両方（問２，問３）に回答したもの</li> </ul>                                            |
| 辞書的回答 | ・二段階目の設問（問２）が「はい」かつ辞書的回答の設問（問４）の回答が「はい」のもの                                                                                                                                 |
| 抵抗回答  | ・二段階目の設問（問３）の回答が「いいえ」で、抵抗回答に関する設問（問５）の回答が「３」「４」のもの                                                                                                                         |

不正回答：回答の間に矛盾があるもの

辞書的回答：提示金額に関係なく「はい」と答える回答

抵抗回答：支払方法（負担金）に対する反対など、提示金額と関係のない理由で「いいえ」と答える回答

設問の番号は、図3-1～図3-3の設問例に従っているため、実際のアンケート票と異なる。なお、具体的なアンケート票のCVMに関する質問、辞書的回答に関する質問、抵抗回答に関する質問は、「参考3 標準的なアンケート票」に示した標準的なアンケート票を参照すること。

表 4－4 無回答、不正回答、辞書的回答、抵抗回答集計表例

| 効果項目      | 回答種類  | パターン1 | パターン2 | パターン3 | パターン4 | パターン5 | 合計 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 〇〇工種 〇〇効果 | 無回答   | 票     | 票     | 票     | 票     | 票     | 票  |
|           | 不正回答  | 票     | 票     | 票     | 票     | 票     | 票  |
|           | 辞書的回答 | 票     | 票     | 票     | 票     | 票     | 票  |
|           | 抵抗回答  | 票     | 票     | 票     | 票     | 票     | 票  |

### 第3項 支払意志額に関する質問の集計

除外すべき回答があったアンケート票を除き、表 4－5 の集計表に、支払意志額に関する質問を効果ごとに集計する。

**表 4－5 支払意志額に関する質問の集計表**

| パターン | 提示金額（円） |      |      | 問□（票） |      | 問△（票） |      | 合計<br>（票） |
|------|---------|------|------|-------|------|-------|------|-----------|
|      | 問○      | 問□   | 問△   | はい    | いいえ  | はい    | いいえ  |           |
| 1    | y2 円    | y3 円 | y1 円 | a1 票  | b1 票 | c1 票  | d1 票 | e1 票      |
| 2    | y3 円    | y4 円 | y2 円 | a2 票  | b2 票 | c2 票  | d2 票 | e2 票      |
| 3    | y4 円    | y5 円 | y3 円 | a3 票  | b3 票 | c3 票  | d3 票 | e3 票      |
| 4    | y5 円    | y6 円 | y4 円 | a4 票  | b4 票 | c4 票  | d4 票 | e4 票      |
| 5    | y6 円    | y7 円 | y5 円 | a5 票  | b5 票 | c5 票  | d5 票 | e5 票      |

提示金額：CVMに関する各質問の提示金額を表3-3に従ってy1～y7に記入する

集計結果：CVMに関する二段階目の設問の回答数とその合計をa1～e5に記入する。

**支払意志額に関する質問の集計表（記入例）**

| パターン | 提示金額（円） |     |      | 問6（票） |     | 問7（票） |      | 合計<br>（票） |
|------|---------|-----|------|-------|-----|-------|------|-----------|
|      | 問5      | 問6  | 問7   | はい    | いいえ | はい    | いいえ  |           |
| 1    | 500円    | 1千円 | 200円 | 9 票   | 7 票 | 7 票   | 1 票  | 24 票      |
| 2    | 1千円     | 2千円 | 500円 | 8 票   | 8 票 | 6 票   | 3 票  | 25 票      |
| 3    | 2千円     | 4千円 | 1千円  | 4 票   | 5 票 | 7 票   | 5 票  | 21 票      |
| 4    | 4千円     | 6千円 | 2千円  | 2 票   | 4 票 | 7 票   | 9 票  | 22 票      |
| 5    | 6千円     | 8千円 | 4千円  | 0 票   | 4 票 | 6 票   | 12 票 | 22 票      |

#### 第4項 提示金額別受諾確率の算定方法

表 4－5 の数値を、表 4－6 に示した算定式に当てはめ、各提示金額別に受諾確率（「はい」と答える確率）を算定する。

ただし、データがなく受諾確率が計算できない部分は空欄にする。

**表 4－6 提示金額別受諾確率**

| 提示金額 | 受諾確率 | 算定式                                              |
|------|------|--------------------------------------------------|
| 0 円  | 1.0  |                                                  |
| y1 円 | r1   | $(a1 + b1 + c1) / e1$                            |
| y2 円 | r2   | $(a1 + b1 + a2 + b2 + c2) / (e1 + e2)$           |
| y3 円 | r3   | $(a1 + a2 + b2 + a3 + b3 + c3) / (e1 + e2 + e3)$ |
| y4 円 | r4   | $(a2 + a3 + b3 + a4 + b4 + c4) / (e2 + e3 + e4)$ |
| y5 円 | r5   | $(a3 + a4 + b4 + a5 + b5 + c5) / (e3 + e4 + e5)$ |
| y6 円 | r6   | $(a4 + a5 + b5) / (e4 + e5)$                     |
| y7 円 | r7   | $a5 / e5$                                        |

提示金額：表 4－5 のy1～y7の金額を記入する

受諾確率：算定式の結果をr1～r7に記入する。

算定式：表 4－5 のa1～e5を算定式に代入する。

#### 提示金額別受諾確率（記入例）

| 提示金額    | 受諾確率 | 算定式                                        |
|---------|------|--------------------------------------------|
| 0 円     | 1.00 |                                            |
| 200 円   | 0.96 | $(9 + 7 + 7) / 24$                         |
| 500 円   | 0.78 | $(9 + 7 + 8 + 8 + 6) / (24 + 25)$          |
| 1,000 円 | 0.59 | $(9 + 8 + 8 + 4 + 5 + 7) / (24 + 25 + 21)$ |
| 2,000 円 | 0.44 | $(8 + 4 + 5 + 2 + 4 + 7) / (25 + 21 + 22)$ |
| 4,000 円 | 0.31 | $(4 + 2 + 4 + 0 + 4 + 6) / (21 + 22 + 22)$ |
| 6,000 円 | 0.14 | $(2 + 0 + 4) / (22 + 22)$                  |
| 8,000 円 | 0.00 | $0 / 22$                                   |

## 第5項 提示金額別受諾確率のグラフ作成

表 4－6 の数値に基づき、提示金額と受諾確率のグラフを作成する。図 4－1 に提示金額別受諾確率グラフのイメージを示した。

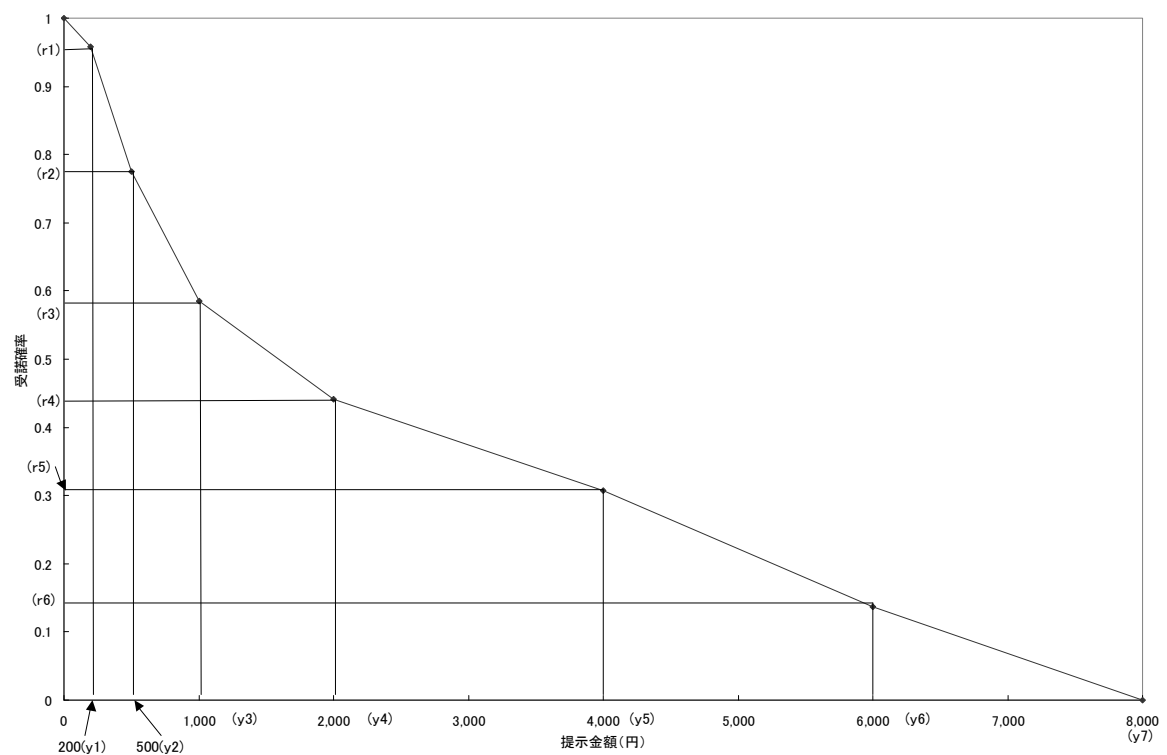


図 4－1 提示金額別受諾確率グラフ（イメージ）

## 第6項 世帯当たり支払意志額の算定

図 4-1 に示したグラフの下側の面積が世帯当たり支払意志額となる。具体的には、提示金額ごとの台形の面積を、表 4-6 の集計表の数値を表 4-9 に示した算定式に当てはめ算定し、その合計を求める。

ただし、表 4-6 においてデータがなく受諾確率が計算できなかった提示金額は、表 4-7 から除く。例えば、y2 円に対応する受諾確率が計算できなかった場合には、y1～y3 を一つの区間として扱って支払意志額を算定する。

表 4-7 世帯当たり支払意志額の算定

| 区間        | 区間幅       | 台形の面積                              |
|-----------|-----------|------------------------------------|
| 0 円～ y1円  | y1 - 0 円  | $(y1 - 0) \times (1.0 + r1) / 2$ 円 |
| y1 円～ y2円 | y2 - y1 円 | $(y2 - y1) \times (r1 + r2) / 2$ 円 |
| y2 円～ y3円 | y3 - y2 円 | $(y3 - y2) \times (r2 + r3) / 2$ 円 |
| y3 円～ y4円 | y4 - y3 円 | $(y4 - y3) \times (r3 + r4) / 2$ 円 |
| y4 円～ y5円 | y5 - y4 円 | $(y5 - y4) \times (r4 + r5) / 2$ 円 |
| y5 円～ y6円 | y6 - y5 円 | $(y6 - y5) \times (r5 + r6) / 2$ 円 |
| y6 円～ y7円 | y7 - y6 円 | $(y7 - y6) \times (r6 + r7) / 2$ 円 |
| 合計        |           | 世帯当たり支払意志額                         |

### 世帯当たり支払意志額の算定（算定例）

| 区間               | 区間幅     | 台形の面積                                      |
|------------------|---------|--------------------------------------------|
| 0 円～ 200 円       | 200 円   | $200 \times (1.00 + 0.96) / 2 = 195.8$ 円   |
| 200 円～ 500 円     | 300 円   | $300 \times (0.96 + 0.78) / 2 = 260.1$ 円   |
| 500 円～ 1,000 円   | 500 円   | $500 \times (0.78 + 0.59) / 2 = 340.3$ 円   |
| 1,000 円～ 2,000 円 | 1,000 円 | $1,000 \times (0.59 + 0.44) / 2 = 513.4$ 円 |
| 2,000 円～ 4,000 円 | 2,000 円 | $2,000 \times (0.44 + 0.31) / 2 = 748.9$ 円 |
| 4,000 円～ 6,000 円 | 2,000 円 | $2,000 \times (0.31 + 0.14) / 2 = 444.1$ 円 |
| 6,000 円～ 8,000 円 | 2,000 円 | $2,000 \times (0.14 + 0.00) / 2 = 136.1$ 円 |
| 合計               |         | 2,638.9円                                   |

世帯当たり支払意志額：2,638.9円／月・世帯×12月＝31,666.8円／年・世帯

### 第3節 世帯当たり支払意志額の推定（支払カード方式アンケート）

#### 第1項 支払カード方式アンケートにおける支払意志額の推定方法

無回答、不回答、抵抗回答などを排除し、選択金額の加重平均を算定する。

#### 第2項 無回答、不正回答、抵抗回答などの排除

それぞれの効果ごとに、表 4－8 の条件に合致する無回答、不正回答、辞書的回答、抵抗回答が含まれるアンケート票は、ノンパラメトリックモデルによる解析から除く。  
無回答、不正回答、辞書的回答、抵抗回答それぞれ回答数を  
表 4－9 の様式に取りまとめること。

表 4－8 除外すべき回答の条件

| 回答の種類 | 除外すべき回答の条件                                                   |
|-------|--------------------------------------------------------------|
| 無回答   | ・支払金額の設問（問1）が無回答のもの                                          |
| 不正回答  | ・支払金額の設問（問1）に複数回答があるもの                                       |
| 辞書的回答 | ・支払金額の設問（問1）が「8. ○○円以上」かつ辞書的回答の設問（問2）の回答が「はい」のもの             |
| 抵抗回答  | ・支払金額の設問（問1）の回答が「9. 金額にかかわらず反対」で、抵抗回答に関する設問（問3）の回答が「3」「4」のもの |

不正回答：回答の間に矛盾があるもの

辞書的回答：価値を適切に判断せず金額にかかわらず支払うとする回答

抵抗回答：調査への抵抗感があるため金額の支払いを拒絶している回答

設問の番号は、図3-4～図3-6の設問例に従っているため、実際のアンケート票と異なる。なお、具体的なアンケート票のCVMに関する質問、辞書的回答に関する質問、抵抗回答に関する質問は、「参考3 標準的なアンケート票」に示した標準的なアンケート票を参照すること。

表 4－9 無回答、不正回答、辞書的回答、抵抗回答集計表例

| 効果項目      | 回答種類  | パターン1 | パターン2 | パターン3 | パターン4 | パターン5 | 合計 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| ○○工種 ○○効果 | 無回答   | 票     | 票     | 票     | 票     | 票     | 票  |
|           | 不正回答  | 票     | 票     | 票     | 票     | 票     | 票  |
|           | 辞書的回答 | 票     | 票     | 票     | 票     | 票     | 票  |
|           | 抵抗回答  | 票     | 票     | 票     | 票     | 票     | 票  |

### 第3項 支払意志額に関する質問の集計

無回答、不回答、抵抗回答などを排除し、選択金額の加重平均を算定する。

ただし、「8. ○○円（月額）より高い」と回答した場合は「7. ○○円（月額）」と同じ金額と、「9. 金額にかかわらず反対」は0円として扱う。

表 4－10 世帯当たり支払意志額の算定

| 選択肢         | 回答数            | 加重値                       |
|-------------|----------------|---------------------------|
| 1. y1 円     | a1 票           | $y1 \times a1$ 円          |
| 2. y2 円     | a2 票           | $y2 \times a2$ 円          |
| 3. y3 円     | a3 票           | $y3 \times a3$ 円          |
| 4. y4 円     | a4 票           | $y4 \times a4$ 円          |
| 5. y5 円     | a5 票           | $y5 \times a5$ 円          |
| 6. y6 円     | a6 票           | $y6 \times a6$ 円          |
| 7. y7 円     | a7 票           | $y7 \times a7$ 円          |
| 8. y7 円より高い | a8 票           | $y7 \times a8$ 円          |
| 9. 反対(0円)   | a9 票           | 0 円                       |
| 合計          | $\Sigma a_i$ 票 | $\Sigma y_i \times a_i$ 円 |

支払意志額：  $\Sigma y_i \times a_i / \Sigma a_i$  円／年・世帯

算定例

| 選択肢            | 回答数  | 加重値                        |
|----------------|------|----------------------------|
| 1. 200 円       | 0 票  | $200 \times 0 = 0$ 円       |
| 2. 500 円       | 2 票  | $500 \times 2 = 1,000$ 円   |
| 3. 1,000 円     | 5 票  | $1,000 \times 5 = 5,000$ 円 |
| 4. 2,000 円     | 3 票  | $2,000 \times 3 = 6,000$ 円 |
| 5. 4,000 円     | 2 票  | $4,000 \times 2 = 8,000$ 円 |
| 6. 6,000 円     | 1 票  | $6,000 \times 1 = 6,000$ 円 |
| 7. 8,000 円     | 1 票  | $8,000 \times 1 = 8,000$ 円 |
| 8. 8,000 円より高い | 1 票  | $8,000 \times 1 = 8,000$ 円 |
| 9. 反対(0円)      | 3 票  | 0 円                        |
| 合計             | 18 票 | 42,000 円                   |

支払意志額： 42,000 円／18 票  $\times$  12月 = 28,000 円／年・世帯

#### 第4節 年効果額の算定

推定された世帯当たり支払意志額に受益戸数を乗じて年効果額を算定する。

$$\text{年効果額（円／年）} = \text{受益戸数（戸）} \times \text{世帯当たり支払意志額（円／戸・年）}$$

## 参考 1 プレ調査手法

### 第 1 項 一般的なプレ調査

#### ① プレ調査とは

プレ調査は、CVMの本調査を実施するにあたって、実施するアンケート票の内容が妥当かどうかを確認し、調査結果の信頼性を向上させるために行うものである。

プレ調査の必要性については、CVMの信頼性の基準を示すNOAAガイドラインでも、一般項目において「質問項目の事前テスト」として、「事前に小規模なアンケートを行って、質問項目を事前にチェックすることが必要」と記述されている。

プレ調査については、肥田野(2000)<sup>\*1</sup>によれば、「プレテスト」と「パイロットサーベイ」の二つに分類している。「プレテスト」とは、アンケート票の作成段階で少人数を対象としたテストで、単にアンケート票に回答する方法だけでなく、フォーカスグループによる自由討論形式の議論による方法などもこれに含まれる。一方で、「パイロットサーベイ」とは、できあがったアンケート票を本調査と近い規模で行うテストである。しかし、実際にはこれら二つのテストに厳密な区分はなく、一般にはこれらを総称して「プレ調査（プレテスト）」と呼んでいる。

#### ② プレ調査の目的と内容

プレ調査の目的は、以下の項目について確認し、その結果をアンケート票に反映させて改善することで調査の信頼性を向上させることである。プレ調査で確認する項目は主として以下の三点である。

- ・アンケート票の設問および説明資料（写真や図表等も含む）の妥当性
- ・アンケート票の設問および説明資料の記述の分かりやすさ
- ・アンケート票の提示額設定の妥当性

プレ調査の実施規模は、10～20程度から本調査並みのサンプル数まで様々な規模で実施される。また、回答者となる対象についても調査関係者の知人といった身近な人から、学生や住民まで様々である。実施回数についても、一回だけのものから数回行うものもある。

実施形態については、調査費用も安く、ディスカッションの実施も念頭に置けるインタビュー形式が最も想定される。

---

\*1 肥田野(2000)『環境と行政の経済評価』勁草書房、第6章

## 第2項 総合整備事業におけるプレ調査

### ① 総合整備におけるプレ調査の特徴

総合整備事業におけるCVMの特徴として、「受益対象が小規模であるケースが想定されること」が挙げられる。そのため、プレ調査を実施する場合の問題点として、集落規模が小さく受益者が少ない地区で受益者を対象者としたプレ調査を実施すると、プレ調査と本調査の二回に回答する回答者が生じることが挙げられる。

よって、本マニュアルでは、集落規模が小さい地区におけるCVMの実施という点に留意し、以下、適切なプレ調査の手順・方法を提示する。

### ② 総合整備事業におけるプレ調査の実施方法

以下、プレ調査の実施方法のフローを示す。

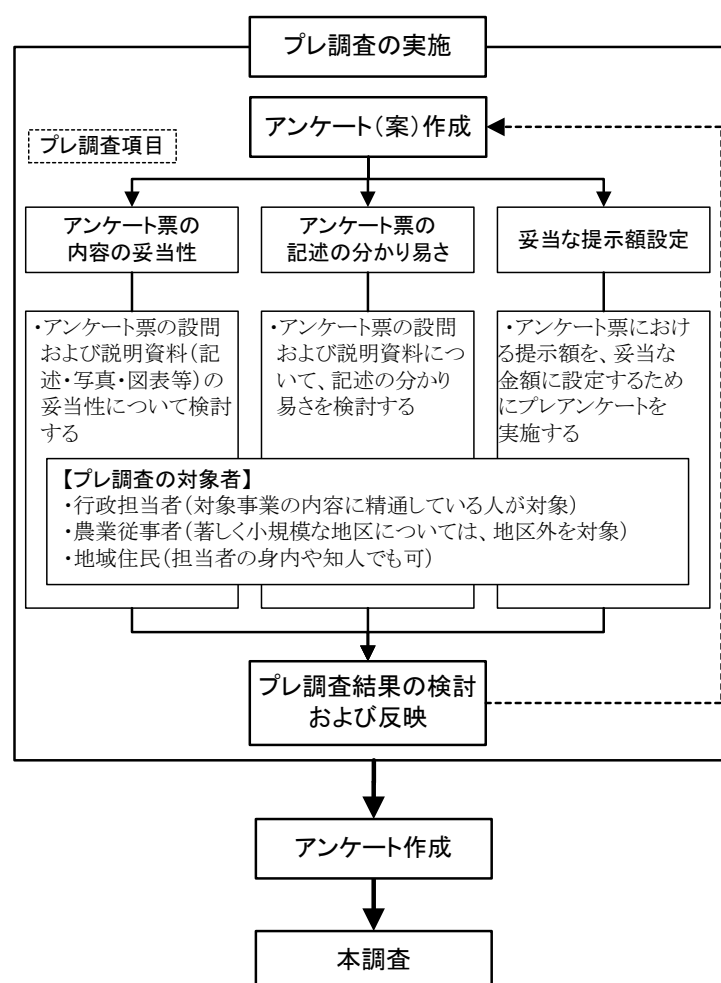


図 1 総合整備事業におけるプレ調査のフロー

## 1) プレ調査の対象

プレ調査は、第1節第2項でも説明したとおり、10～20人程度を対象としたものから、本調査に近い規模で実施するものまで様々である。しかし、総合整備事業におけるCVMの場合、受益者が小規模な集落を対象としている場合が多い。また、調査費用の観点からは、大規模なプレ調査を実施することは現実的ではない。

そこで、総合整備事業におけるCVMでは、10～20人程度を対象とした小規模なプレ調査を実施する。具体的な対象としては、対象事業の内容を十分理解している「行政担当者」のほか、回答者の立場となる「農業従事者」や「地域住民」が挙げられる。なお、「農業従事者」については、受益対象が著しく小さく、回答者が本調査と重複することが想定される場合には、対象地区外の「農業従事者」を対象とする。また、「地域住民」については、担当者の身内や知人などでも問題は無い。

## 2) プレ調査の項目

プレ調査の項目は図2-1にあるとおり、大きく挙げて三項目である。なお、これらは、同時並行して調査を実施することができる。

### a. アンケート票の妥当性の検討

アンケート票の設問および説明資料の内容が妥当であるかについて検討を行う。なお、説明資料については本文だけでなく、写真や図表なども含まれる。

検討方法は、少人数を対象としたグループ（フォーカスグループと呼ばれる）インタビューならびにディスカッションを実施する。具体的には、アンケート票の対象となる事業内容についてよく理解している人などを中心に10人程度を集め、アンケート票および資料の説明を実施後、内容について自由に議論を行い、その結果をアンケート票および説明資料の改善に反映させる。

### b. アンケート票の記述の検討

アンケート票の設問および説明資料の記述が分かり易いかどうかについて検討を行う。検討方法については、アンケート票の妥当性の検討と同様に、フォーカスグループによるディスカッションを実施する。

アンケート票の妥当性の検討と異なる点は、こちらは実際に回答する側の立場となって検討を行うことが重要であり、「記述が分かりにくい」部分や「回答しづらい」部分などを明らかにし、その結果をアンケート票および説明資料の改善に反映させることが目的である。したがって、事業内容を十分理解している人だけでなく、回答者の立場となりえる農業従事者や一般住民も対象としたプレ調査を実施する。

c. 妥当な提示額の設定

プレ調査を実施する目的の一つに、妥当な提示額の設定を行うことが挙げられる。この項目については、③で詳細に説明する。

③ 妥当な提示額の設定方法

プレ調査を実施する重要な目的の一つとして、「妥当な提示額を設定する」ことが挙げられる。ここでは以下、その方法について提示する。

妥当な提示額の設定方法の概要は、まず、支払カード方式によるプレアンケートを作成して実施する。次にその結果から最高額の提示額を設定するとともに、さらにこれをもとに他の提示額を決定するという順序となる。

以下、妥当な提示額の設定方法のフローを示す。

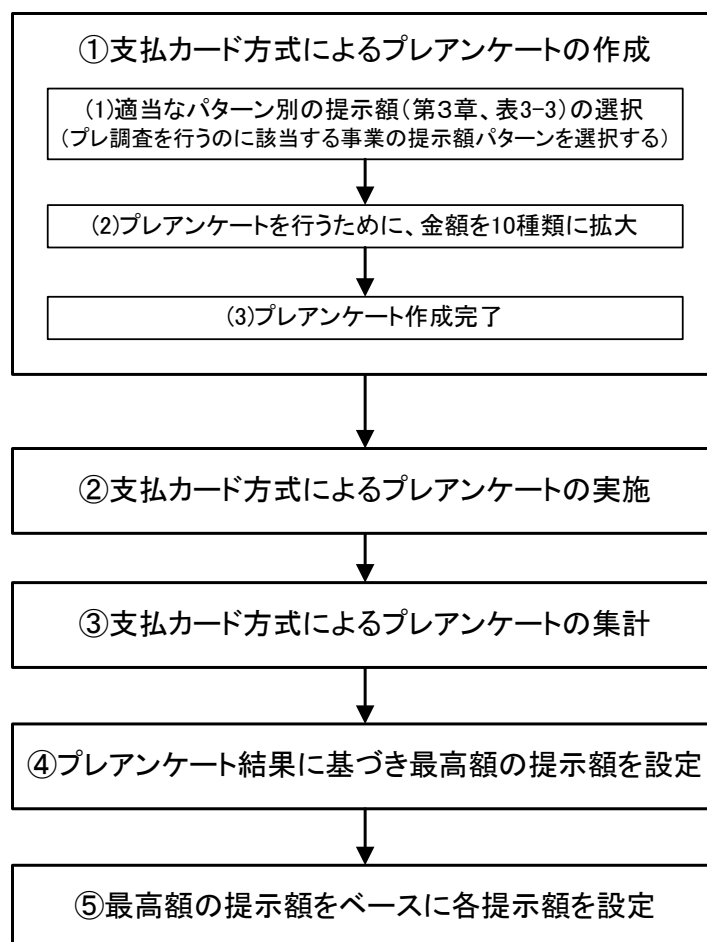


図 2 妥当な提示額設定の方法のフロー

## 1) 支払カード方式によるプレアンケートの作成

対象事業のアンケートのうち、支払意志額に関する設問部分を支払カード方式<sup>\*2</sup>で作成する。支払カード方式は、付け値ゲーム方式で見られる初期点バイアスが存在しないこと、自由回答方式で見られる回答率の低下が生じないことのほか、サンプルが少なくてもWTPの中央値の推計が比較的容易に行えるなどの利点がある<sup>\*3</sup>ことから、今回のようなプレアンケートを実施するにおいては最適な方法であるといえる。なお、具体的な作成方法は、二つの段階に分けられる。

まず、提示額のもとを、第3章で提示したパターン別提示金額（表3-3）を参考にして設定する。このパターン別提示金額は、二段階二肢選択方式用のものであるため、提示金額は5パターンとなっている。なお、設定にあたっては、プレ調査を行うのに該当する事業のものを選択する。

次に、支払カード方式によるプレアンケートを行うために、提示金額のパターン数を5パターンから10パターンに拡大する。具体的な方法は、図2-3に示したようにパターン別提示金額で提示されている5つの提示額（y）をベースに、パターン1より低い金額（l）とパターン5よりも高い金額（h）をそれぞれ適当に2つずつ設定するとともに0円を設定し、合わせて10程度の提示額を設定する。

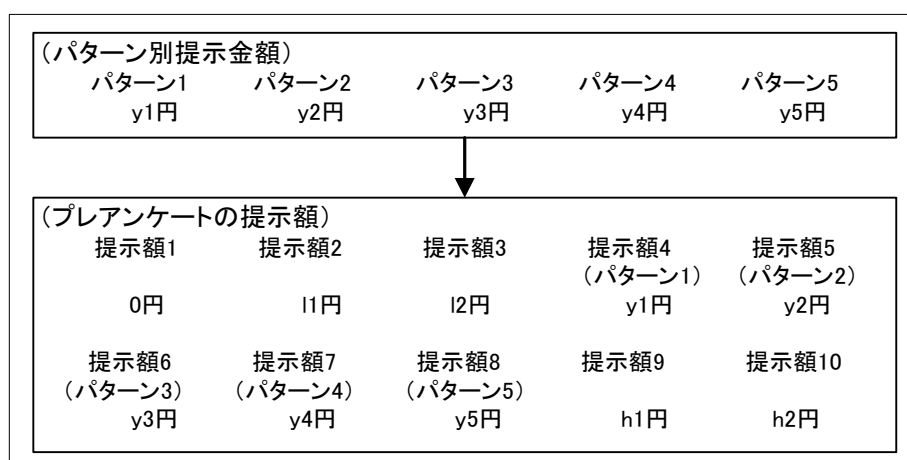


図 3 支払カードによるプレアンケートの提示額設定

\*2 支払カード方式は、付け値ゲーム方式の初期点バイアス（始めに提示した金額が、結果として得られるWTPに影響を及ぼすこと）、自由回答方式の回答率低下の問題を解消することを目的として開発された手法である。質問形式はアンケート調査の場合、提示額の集合の中から支払ってよいと考える最大のものに丸をつけさせる形式である。（寺脇（2001）『農業の環境評価分析』勁草書房、P34）

\*3 一方で、提示した金額の範囲がWTPに影響を及ぼすという範囲バイアスの存在が欠点として指摘されている。

図 3について、例えば、農業集落排水路の生活環境改善効果（問 1 1）について、プレアンケートの提示額設定を行うと、図 4に示したような設定となる。

| (パターン別提示金額) |        |        |        |        |
|-------------|--------|--------|--------|--------|
| パターン1       | パターン2  | パターン3  | パターン4  | パターン5  |
| 1,000円      | 2,000円 | 4,000円 | 6,000円 | 8,000円 |

↓

| (プレアンケートの提示額)   |                 |                 |                 |                 |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 提示額1            | 提示額2            | 提示額3            | 提示額4<br>(パターン1) | 提示額5<br>(パターン2) |
| 0円              | 200円            | 500円            | 1,000円          | 2,000円          |
| 提示額6<br>(パターン3) | 提示額7<br>(パターン4) | 提示額8<br>(パターン5) | 提示額9            | 提示額10           |
| 4,000円          | 6,000円          | 8,000円          | 10,000円         | 15,000円         |

図 4 支払カード方式によるプレアンケートの提示額設定例

なお、設問および説明部分については、第3章第5節「アンケート票の作成（支払カード方式）」やアンケートサンプルなどを参考にしつつ、作成する。

## 2) 支払カードによるプレアンケートの実施

1)で作成したプレアンケートを実施する。実施対象者としては、第2節第2項①で挙げた「行政担当者」、「農業従事者」を中心に実施する。なお、サンプル数については、最低でも20～30程度あれば十分である。

## 3) 支払カードによるプレアンケートの集計

2)で実施したプレアンケート（の支払意志額に関する設問についてのみ）を集計する。集計にあたっては、提示額ごとの受諾確率を導出する。

導出方法については、表 1のとおりであり、提示額ごとに選択者の累計を算出し、全サンプル数で除すことで、受諾確率が導出される。

この導出方法に基づいて、図 4で提示した金額例について受諾確率を算出すると、例えば表 2のように求めることができる。

表 1 提示額の受諾確率の導出

| 提示額 |     | 選択者数  | 選択者数の累計                             | 受諾確率         |
|-----|-----|-------|-------------------------------------|--------------|
| 10  | h2円 | a10 人 | S10 人=a10                           | $P10=S10/S1$ |
| 9   | h1円 | a9 人  | S9 人=a10+a9                         | $P9=S9/S1$   |
| 8   | y5円 | a8 人  | S8 人=a10+a9+a8                      | $P8=S8/S1$   |
| 7   | y4円 | a7 人  | S7 人=a10+a9+a8+a7                   | $P7=S7/S1$   |
| 6   | y3円 | a6 人  | S6 人=a10+a9+a8+a7+a6                | $P6=S6/S1$   |
| 5   | y2円 | a5 人  | S5 人=a10+a9+a8+a7+a6+a5             | $P5=S5/S1$   |
| 4   | y1円 | a4 人  | S4 人=a10+a9+a8+a7+a6+a5+a4          | $P4=S4/S1$   |
| 3   | l1円 | a3 人  | S3 人=a10+a9+a8+a7+a6+a5+a4+a3       | $P3=S3/S1$   |
| 2   | l2円 | a2 人  | S2 人=a10+a9+a8+a7+a6+a5+a4+a3+a2    | $P2=S2/S1$   |
| 1   | 0円  | a1 人  | S1 人=a10+a9+a8+a7+a6+a5+a4+a3+a2+a1 | $P1=S1/S1$   |

表 2 提示額の受諾確率の導出の例

| 提示額 |         | 選択者数 | 選択者数の累計                 | 受諾確率         |
|-----|---------|------|-------------------------|--------------|
| 10  | 15,000円 | 0人   | 0人=0                    | $0=0/25$     |
| 9   | 10,000円 | 1人   | 1人=0+1                  | $0.04=1/25$  |
| 8   | 8,000円  | 3人   | 4人=0+1+3                | $0.16=4/25$  |
| 7   | 6,000円  | 1人   | 5人=0+1+3+1              | $0.20=5/25$  |
| 6   | 4,000円  | 7人   | 12人=0+1+3+1+7           | $0.48=12/25$ |
| 5   | 2,000円  | 3人   | 15人=0+1+3+1+7+3         | $0.60=15/25$ |
| 4   | 1,000円  | 5人   | 20人=0+1+3+1+7+3+5       | $0.80=20/25$ |
| 3   | 500円    | 3人   | 23人=0+1+3+1+7+3+5+3     | $0.92=23/25$ |
| 2   | 200円    | 1人   | 24人=0+1+3+1+7+3+5+3+1   | $0.96=24/25$ |
| 1   | 0円      | 1人   | 25人=0+1+3+1+7+3+5+3+1+1 | $1.00=25/25$ |

#### 4) プレアンケート結果から最高額の提示額を設定

3)で集計した結果をもとに、受諾確率関数がほぼ0%となる提示額を、本調査における最高額の提示額(パターン5の初期提示額に対するYesの回答者に対して提示する二段階目の提示額)として設定する。

なお、この提示額の設定にあたっては、厳密に0%の金額を設定すると一円単位まで設定することになるので、実際には0%の金額は目安として、千円単位もしくは万円単位で四捨五入した金額を設定する。例えば、図 5のイメージとなる。

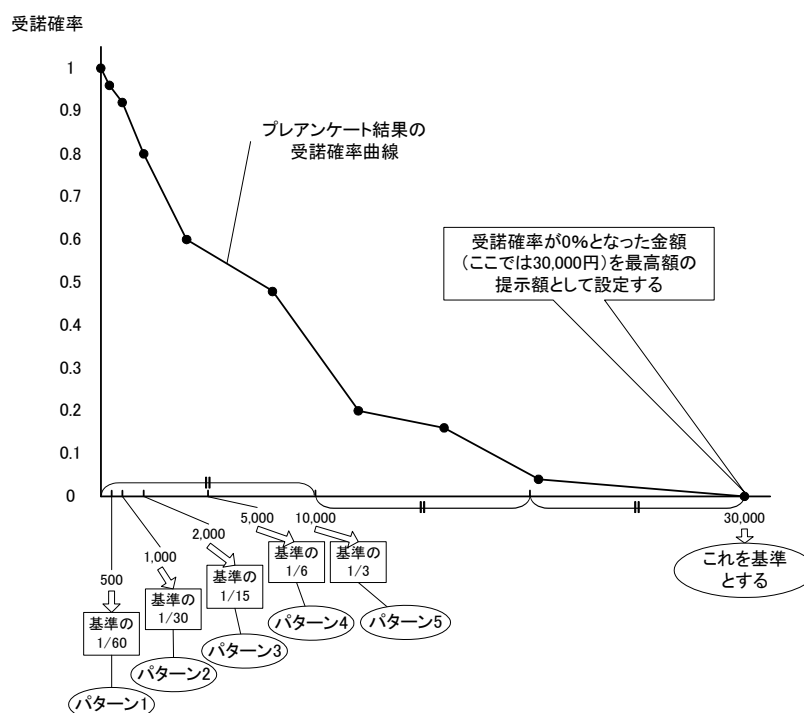


図 5 提示額設定のイメージ (プレ調査で受諾確率が0%となった場合)

なお、プレ調査で提示した提示額の中で受諾確率が0%とならなかった場合は、最高額と2番目の最高額を結んだ直線の延長線上で0%となる金額を置く。例えば、図 6のようなイメージとなる。

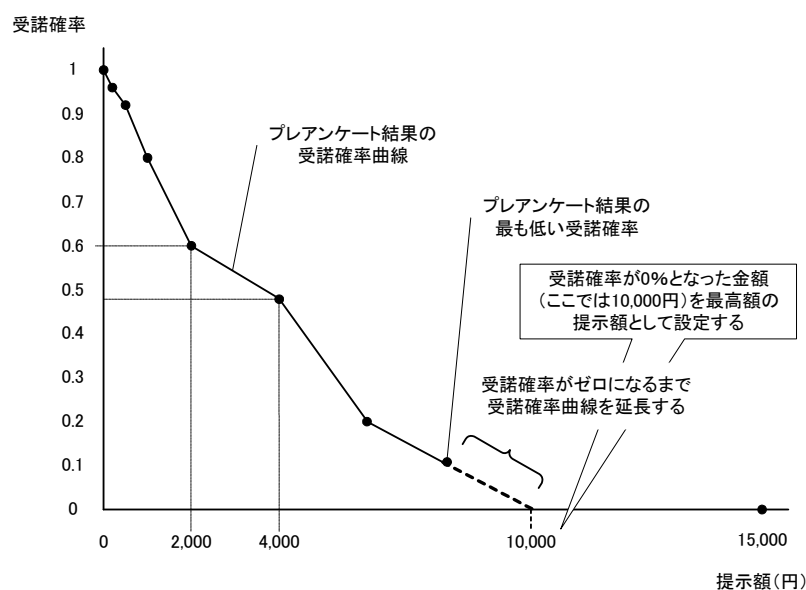


図 6 プレ調査で受諾確率が0%とならなかった場合の最高額の提示額設定のイメージ

#### 5) 各パターンの提示額の設定方法

4)で設定した最高額の提示額に基づき、例えば表 3に基づいて設定を行う。なお、金額設定に当たっては千円単位で四捨五入した金額とする。（ただし、千円未満は50円単位とする（50円未満は切り捨て）。）

表 4は、最高の提示額が30,000円のケースについて、設定した例である。

表 3 プレ調査に基づく提示額の設定方法

|          | パターン1    | パターン2   | パターン3   | パターン4   | パターン5  |
|----------|----------|---------|---------|---------|--------|
| 初期提示額    | 基準の1/60  | 基準の1/30 | 基準の1/15 | 基準の1/6  | 基準の1/3 |
| 二段階目（高額） | 基準の1/30  | 基準の1/15 | 基準の1/6  | 基準の1/3  | 基準     |
| 二段階目（低額） | 基準の1/120 | 基準の1/60 | 基準の1/30 | 基準の1/15 | 基準の1/6 |

表 4 最高の提示額が30,000円のケース（例）

|          | パターン1  | パターン2  | パターン3  | パターン4   | パターン5   |
|----------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 初期提示額    | 500円   | 1,000円 | 2,000円 | 5,000円  | 10,000円 |
| 二段階目（高額） | 1,000円 | 2,000円 | 5,000円 | 10,000円 | 30,000円 |
| 二段階目（低額） | 250円   | 500円   | 1,000円 | 2,000円  | 5,000円  |

#### ④ 提示額の設定と調査結果との関係について

##### 1) 提示額の設定が調査結果に及ぼす影響

CVM調査では、提示額の設定は調査結果に大きく影響を及ぼすのではないかとという疑問を持たれることがある。そのために、現場担当者としては、厳密な提示額の設定が必要なのではないかと考えがちである。

実際に、提示額の設定が調査結果（調査によって算出したWTP）に大きく影響を及ぼすのは、「支払カード方式」である。支払カード方式では、例えばアンケート調査の場合、回答者は、提示額の全てが選択肢として並べられ、その中から任意の一つを選択する。つまり、回答者にしてみれば、選択肢の全てを目にすることで、提示額の集合を一つの「範囲」として認識することになり、その範囲を評価対象（事業実施による効果や事業実施に必要な費用）の目安とする可能性がある。いわば、評価対象について、何らかの相場を与えられることになるのである。これを「範囲バイアス」と呼んでいる。

##### 2) 二段階二肢選択方式における影響

二段階二肢選択方式場合は、提示額の設定が調査結果に対して大きな影響を及ぼしにくいと言われている。二段階二肢選択方式では、回答者に対して一種類もしくは二種類の提示額が単独で示されるため、回答者は提示された金額に対してのみそれを受け入れるか否かを回答すればよい。そのため、範囲バイアスと呼ばれるバイアスは生じない。

また、二段階二肢選択方式のパラメトリック法では、受諾確率を推定するにあたって関数型をあらかじめ仮定して推定する。その場合、どのような関数型であっても、WTPが低くなれば低くなるほど受諾確率が100%に限りなく近づき、WTPが高くなれば高くなるほど受諾確率が0%に限りなく近づくことを想定している。そのため、実際には中央値の周辺（図 7の斜線部分）の関数型を推定することで、十分な結果を求めることができる。

言い換えれば、きわめて低い提示額に対する受諾確率が著しく低かったり、きわめて高い提示額に対する受諾確率が著しく高かったりすると、仮定している関数型との誤差が大きくなり、調査結果に影響を及ぼす。このようなことから、調査結果に大きな影響を及ぼす提示額の範囲は、主として図 7の矢印の範囲に相当する。

提示額の設定との関係については、設定した提示額の真ん中と推定結果の中央値に大きな乖離がある場合、仮定した関数型との誤差が大きくなり、調査結果の信頼性が低下する。言い換えれば、調査結果の信頼性を確保するためには、提示額のうち真ん中として設定される提示額の金額を妥当なものとする必要がある。

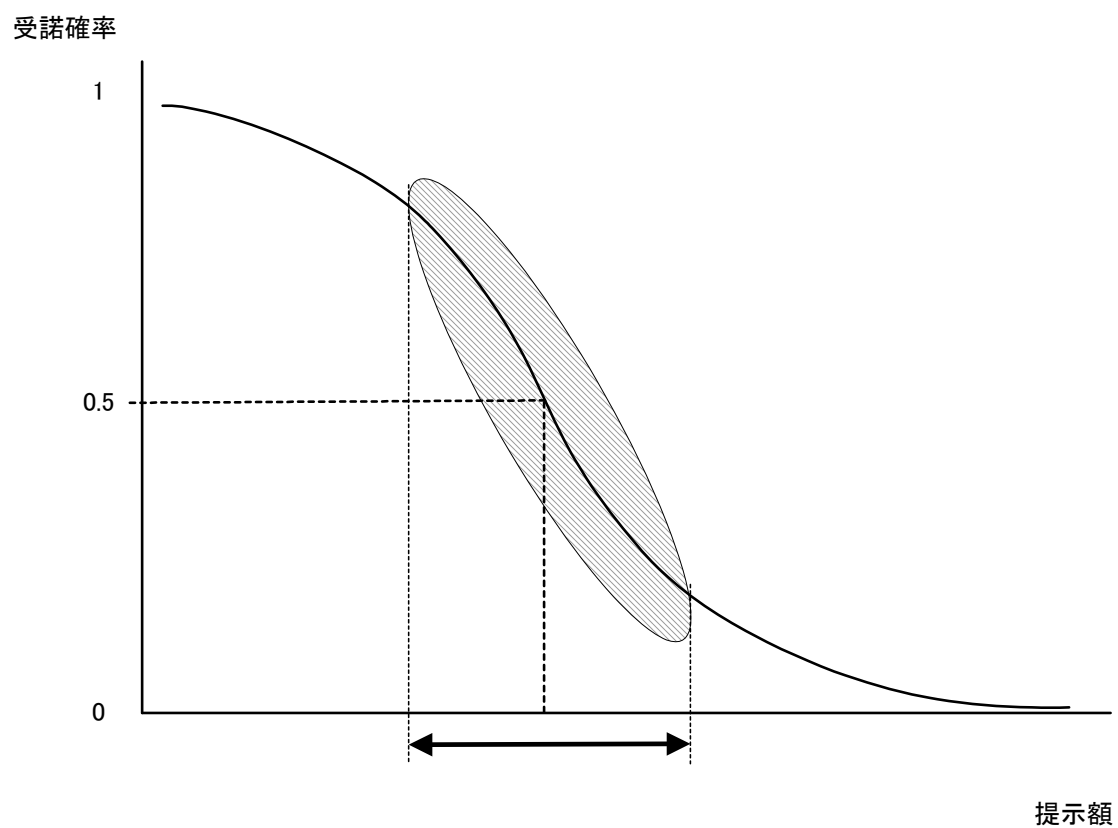


図 7 受諾確率の関数型に特に影響を及ぼす範囲のイメージ

## 参考２ 標準的なアンケート票

アンケート票の作成方法は、「第３章 アンケート票作成と配布・回収」を参考とすること。

こちらに掲載した二段階二肢選択方式のアンケート票は、「パターン１」のものであり、各設問の金額設定をそれぞれのパターンごとに修正して全５パターンのアンケート票を作成する。また、それぞれのアンケート票がどのパターンかわかるように、アンケート票の右肩にパターンを示す番号を記入しておくが良い。

各地区の状況、整備の内容によって発生する効果は異なるため、アンケート票の効果の説明は、それぞれの地区の状況などに対応し適切な内容に修正すること。

なお、アンケート票中に「別紙」と記載があるものは、整備の対象としている施設について、回答者が想定できるようにするための添付資料である。これは、整備後のイメージ図や参考となる写真、整備実施箇所の地図、整備内容の資料等を用意し、アンケート実施の際にアンケート票と併せて配布すること。

### ◆ＣＶＭアンケート票の雛形の内容

#### <二段階二肢選択方式 新規整備用>

農業集落道、農業集落排水路、集落防災安全施設、活性化施設（地域農業活動拠点施設）、自然環境・生態系保全施設、集落農園、情報基盤施設

#### <二段階二肢選択方式 更新整備用>

農業集落道、農業集落排水路、集落防災安全施設、活性化施設（地域農業活動拠点施設）、自然環境・生態系保全施設、集落農園、情報基盤施設

#### <支払カード方式>

農業集落道（更新整備）

※支払カード方式については、農業集落道の更新整備で一例を示している。他工種の調査票を作成する場合は、このアンケート票のほか、その工種の二段階二肢選択方式のアンケート票を参考に作成されたい。

## 農業集落道の整備に関するアンケート

### ★このアンケートの目的

農林水産省及び〇〇県・〇〇市（**事業主体を記載**）は、それぞれの農村で自然や社会の特色をふまえた生活環境整備事業を進め、個性豊かで活力ある村づくりを目指しています。

このアンケートは、生活環境整備事業のなかで特に地区内の道路整備にどの程度の効果があるのか調べることを目的にしています。事業実施を決める判断材料の一つとなる重要な調査です。

### ★アンケートの回答方法

- ①アンケートの調査票をよくお読み頂き、ご回答ください。
- ②日常生活でなじみのない質問もあるかと思いますが、「だいたい、この程度」という判断でご回答ください。

郵送し、各家庭で回答いただく場合には、世帯としての支払意志を尋ねるものなので、「ご家族で相談の上、ご回答ください」とするのが望ましい。

### ★アンケート結果の取り扱い

- ①アンケートは無記名で行い、回答者全体を集計して利用します。
- ②このアンケートは、事業の賛否を問うものではありません。
- ③アンケートの結果は、整備負担金や施設の利用料の設定などに利用することはありません。

平成 年 月

調査実施担当：

問い合わせ先：電話

担当：

あなたがお住まいの地域で、農村の生活環境整備事業によって、別紙のような道路を整備することが検討されています。

まず、別紙をお読みいただいてから、以下の質問にお答えください。

**問 1** 別紙の道路の整備が予定されている場所と、あなたのお住まいとの距離についておたずねします。あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. 住居に直接面している
2. 直接面してはいないが、歩いて5分以内にある。
3. 歩いて10分以内にある。
4. それ以上離れた場所にある。

**問 2** 別紙の道路整備が予定されている周辺の、現在の道路状況には満足されていますか。あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. かなり満足している
2. やや満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. かなり不満である
6. この周辺の道路を利用しないのでわからない

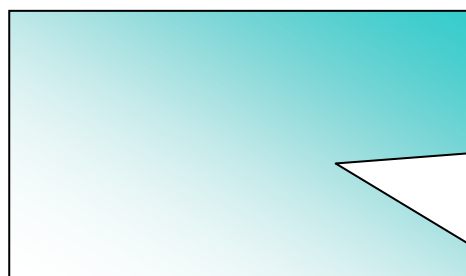
◎ さて、次の質問から道路の整備について、いくつかの状況を想定して質問いたします（想定された状況ですが、「もしも本当にそうになったら」と想像し、お答え下さい）。

◎ これからの質問は、道路の整備に対する負担金についてたずねるものです。おたずねする負担金の額は調査票によって異なるため、隣の家族とは違う金額が示されています。よその家族の方とは相談せず、あなた又はあなたの世帯としての支払の意志をご回答ください。

問3 別紙に詳細を示すように、道路の工事を行うこととします。

【現状】

- ・〇〇方面から△△方面に向かうには、遠回りをしなければならない状況です。
- (実際の現状に即して記述すること)



【現状】、【整備した場合】の説明に添える写真や図は、郵送し、各家庭で回答いただく場合には、必ずいれた方がよいが、説明会等の会場で回答いただく場合には、別紙で示してもよい。



【整備した場合】

- ・道路の幅が広がり、安全に通行できます。  
(従来の迂回路より広い場合)
- ・住民の避難路として利用されます。
- ・火事の時、被害が広がりにくくなります。



(整備により発現される効果のみ記述すること)

その他の例→

- ・救急車・消防車などが、お宅の前まですぐ来られるようになります。
- ・住民交流の場が増え、レクリエーションが多くなる等の効果が期待できます。
- ・ほどよい曲線や幅員・舗装の工夫など地域特性に応じた整備により、集落の温かみや歴史・文化的空間を保持することができます。

<これからが、想定の話です>

ところが、〇〇市(町村)は財政状況が厳しいため、このままでは別紙の道路工事はできないとします。そこで、生活環境の改善や景観・環境を保全する道路工事を実現するために、1世帯1年あたり1万2千円(月額でおよそ1,000円)の負担金を徴収する計画が立てられた場合、あなたの世帯は、この計画に賛成しますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとし、あなたの世帯の負担総額は48万円となります。

1. はい → 問4にお進み下さい

2. いいえ → 問5にお進み下さい

問3で、はいと答えた方におたずねします。

問4 では、先ほどより高い年2万5千円（月約 1,200 円）でも、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

問4-2 あなたは、この計画は非常に重要なので『負担額がいくら高くても、「はい」と答えるべき』だと思えますか。

1. はい

2. いいえ

終了です

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で、いいえと答えた方におたずねします。

問5 では、先ほどより安い年5千円（月約 400 円）では、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

終了です

問5-2 「いいえ」と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、負担額が高すぎる
2. 現状では特に道路の拡幅や舗装の必要がない
3. 道路の拡幅や舗装は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 農業集落排水路に関するアンケート

### ★このアンケートの目的

農林水産省及び〇〇県・〇〇市（事業主体を記載）は、それぞれの農村で自然や社会の特色をふまえた生活環境整備事業を進め、個性豊かで活力ある村づくりを目指しています。

このアンケートは、生活環境整備事業のなかで特に地区内の農業集落排水路にどの程度の効果があるのか調べることを目的にしています。事業実施を決める判断材料の一つとなる重要な調査です。

### ★アンケートの回答方法

- ①アンケートの調査票をよくお読み頂き、ご回答ください。
- ②日常生活でなじみのない質問もあるかと思いますが、「だいたい、この程度」という判断でご回答ください。

郵送し、各家庭で回答いただく場合には、世帯としての支払意志を尋ねるものなので、「ご家族で相談の上、ご回答ください」とするのが望ましい。

### ★アンケート結果の取り扱い

- ①アンケートは無記名で行い、回答者全体を集計して利用します。
- ②このアンケートは、事業の賛否を問うものではありません。
- ③アンケートの結果は、整備負担金や施設の利用料の設定などに利用することはありません。

平成 年 月

調査実施担当：

問い合わせ先：電話

担当：

あなたが住まいの地域で、農村の生活環境整備事業によって、別紙のような排水路を整備することが検討されています。

まず、別紙をお読みいただいてから、以下の質問にお答えください。

**問 1** 別紙の排水路の整備が予定されている場所と、あなたのお住まいとの距離についておたずねします。あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. 住居に直接面している
2. 直接面してはいないが、歩いて5分以内にある。
3. 歩いて10分以内にある。
4. それ以上離れた場所にある。

**問 2** 別紙の排水路整備が予定されている場所の、現在の排水状況には満足されていますか。あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. かなり満足している
2. やや満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. かなり不満である
6. このあたりは、日常生活に関わりがない

◎ さて、次の質問から排水路の整備について、いくつかの状況を想定して質問いたします（想定された状況ですが、「もしも本当にそうになったら」と想像し、お答え下さい）。

◎ これからの質問は、排水路の整備に対する負担金についてたずねるものです。おたずねする負担金の額は調査票によって異なるため、隣の家族とは違う金額が示されています。よその家族の方とは相談せず、あなた又はあなたの世帯としての支払の意志をご回答ください。

問3 別紙に詳細を示すように、排水路の工事を行うこととします。

【現状】

- ・周辺に水溜まりがあり、家庭雑排水等の汚水が流れにくく、不快になることがあります。

(実際の現状に即して記述すること)

その他の例→

- ・公共施設や家屋の冠水・湛水被害の危険性があります。等



【整備した場合】

- ・水溜りが減り歩きやすくなる他、悪臭や害虫が発生しにくくなります。
- ・ふたをかけることで、水路への転落や交通事故の危険性が少なくなります。

【現状】、【整備した場合】の説明に添える写真や図は、郵送し、各家庭で回答いただく場合には、必ず入れた方がよいが、説明会等の会場で回答いただく場合には、別紙で示してもよい。

(整備により発現される効果のみ記述すること)

その他の例→

- ・公共施設や家屋の冠水・湛水被害が少なくなります。
- ・連積石等の整備で、景観が良くなります。

<これからが、想定の話です>

ところが、〇〇市(町村)は財政状況が厳しいため、このままでは別紙の排水路工事はできないとします。そこで、生活環境の改善や景観・環境を保全する排水路工事を実現するために、1世帯1年あたり1万8千円(月額でおよそ1,500円)の負担金を徴収する計画が立てられた場合、あなたの世帯は、この計画に賛成しますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとし、あなたの世帯の負担総額は72万円となります。

1. はい → 問4にお進み下さい

2. いいえ → 問5にお進み下さい

問3で、はいと答えた方におたずねします。

問4 では、先ほどより高い年3万5千円（月約 3,000 円）でも、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

問4-2 あなたは、この計画は非常に重要なので『負担額がいくら高くても、「はい」と答えるべき』だと思えますか。

1. はい

2. いいえ

終了です

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で、いいえと答えた方におたずねします。

問5 では、先ほどより安い年8千円（月約 650 円）では、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

終了です

問5-2 「いいえ」と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、負担額が高すぎる
2. 現状では特に排水路の整備の必要がない
3. 排水路の整備は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 集落防災安全施設に関するアンケート

### ★このアンケートの目的

農林水産省及び〇〇県・〇〇市（事業主体を記載）は、それぞれの農村で自然や社会の特色をふまえた生活環境整備事業を進め、個性豊かで活力ある村づくりを目指しています。

このアンケートは、生活環境整備事業のなかで特に地区内の集落防災安全施設にどの程度の効果があるのか調べることを目的にしています。事業実施を決める判断材料の一つとなる重要な調査です。

### ★アンケートの回答方法

- ①アンケートの調査票をよくお読み頂き、ご回答ください。
- ②日常生活でなじみのない質問もあるかと思いますが、「だいたい、この程度」という判断でご回答ください。

郵送し、各家庭で回答いただく場合には、世帯としての支払意志を尋ねるものなので、「ご家族で相談の上、ご回答ください」とするのが望ましい。

### ★アンケート結果の取り扱い

- ①アンケートは無記名で行い、回答者全体を集計して利用します。
- ②このアンケートは、事業の賛否を問うものではありません。
- ③アンケートの結果は、整備負担金や施設の利用料の設定などに利用することはありません。

平成 年 月

調査実施担当：

問い合わせ先：電話

担当：

あなたがお住まいの地域で、農村の生活環境整備事業によって、別紙のような集落防災安全施設を整備することが検討されています。

まず、別紙をお読みいただいてから、以下の質問にお答えください。

**問 1** 別紙の集落防災安全施設の整備が予定されている場所と、あなたのお住まいとの距離についておたずねします。あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. 住居に直接面している
2. 直接面してはいないが、歩いて5分以内にある。
3. 歩いて10分以内にある。
4. それ以上離れた場所にある。

**問 2** 別紙の集落防災安全施設の整備が予定されている場所の、現在の防災設備の状況には満足されていますか。あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. かなり満足している
2. やや満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. かなり不満である
6. このあたりは、日常生活に関わりがない

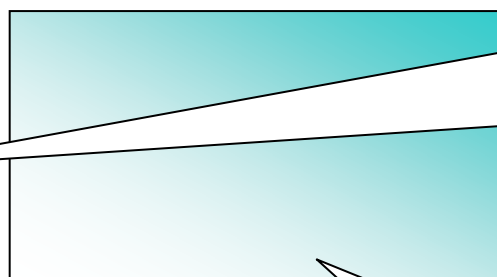
◎ さて、次の質問から集落防災安全施設の整備について、いくつかの状況を想定して質問いたします（想定された状況ですが、「もしも本当にそうになったら」と想像し、お答え下さい）。

◎ これからの質問は、集落防災安全施設の整備に対する負担金についてたずねるものです。おたずねする負担金の額は調査票によって異なるため、隣の家族とは違う金額が示されています。よその家族の方とは相談せず、あなた又はあなたの世帯としての支払の意志をご回答ください。

問3 別紙に詳細を示すように、集落防災安全施設を整備する工事を行うこととします。

【現状】

- ・ 火事の際は、隣の集落の防火水槽の水を使っているため、消火活動に時間がかかります。（防火水槽の例）



（実際の現状に即して記述すること）

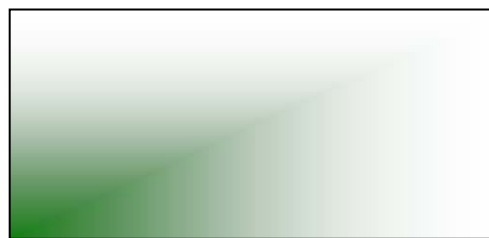
その他の例→

- ・ 防護柵が無い場合、事故の危険性があります。（防護柵の例）等



【整備した場合】

- ・ 風雪害・火災・事故などの被害を回避し、住民の治療費や復旧のための労働の発生を回避又は減らすことができます。
- ・ 農地・道路・一般家屋などへの被害を回避できる可能性が高まります。



【現状】、【整備した場合】の説明に添える写真や図は、郵送し、各家庭で回答いただく場合には、必ず入れた方がよいが、説明会等の会場で回答いただく場合には、別紙で示してもよい。

（整備により発現される効果のみ記述すること）

その他の例→

- ・ 災害による道路の通行止めや、それに伴う経費の発生を回避又は減らします。
- ・ 景観が良くなります。

＜これからが、想定の話です＞

ところが、〇〇市（町村）は財政状況が厳しいため、このままでは別紙の集落防災安全施設の工事はできないとします。そこで、生活環境の改善や景観・環境を保全する集落防災安全施設の工事を実現するために、1世帯1年あたり1万2千円（月額でおよそ1,000円）の負担金を徴収する計画が立てられた場合、あなたの世帯は、この計画に賛成しますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとし、あなたの世帯の負担総額は48万円となります。

1. はい → 問4にお進み下さい

2. いいえ → 問5にお進み下さい

問3で、はいと答えた方におたずねします。

問4 では、先ほどより高い年2万5千円（月約2,000円）でも、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

問4-2 あなたは、この計画は非常に重要なので『負担額がいくら高くても、「はい」と答えるべき』だとお考えですか。

1. はい

2. いいえ

終了です

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で、いいえと答えた方におたずねします。

問5 では、先ほどより安い年6千円（月500円）では、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

終了です

問5-2 「いいえ」と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、負担額が高すぎる
2. 現状では特に集落防災安全施設の整備の必要がない
3. 集落防災安全施設の整備は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 活性化施設（地域農業活動拠点施設）に関するアンケート

### ★このアンケートの目的

農林水産省及び〇〇県・〇〇市（事業主体を記載）は、それぞれの農村で自然や社会の特色をふまえた生活環境整備事業を進め、個性豊かで活力ある村づくりを目指しています。

このアンケートは、生活環境整備事業のなかで特に地区内の活性化施設にどの程度の効果があるのか調べることを目的にしています。事業実施を決める判断材料の一つとなる重要な調査です。

### ★アンケートの回答方法

- ①アンケートの調査票をよくお読み頂き、ご回答ください。
- ②日常生活でなじみのない質問もあるかと思いますが、「だいたい、この程度」という判断でご回答ください。

郵送し、各家庭で回答いただく場合には、世帯としての支払意志を尋ねるものなので、「ご家族で相談の上、ご回答ください」とするのが望ましい。

### ★アンケート結果の取り扱い

- ①アンケートは無記名で行い、回答者全体を集計して利用します。
- ②このアンケートは、事業の賛否を問うものではありません。
- ③アンケートの結果は、整備負担金や施設の利用料の設定などに利用することはありません。

平成 年 月

調査実施担当：

問い合わせ先：電話

担当：

あなたがお住まいの地域で、農村の生活環境整備事業によって、別紙のような活性化施設を整備することが検討されています。

まず、別紙をお読みいただいてから、以下の質問にお答えください。

問１．あなたのお宅から、この整備が予定されている活性化施設までの距離はおよそどれくらいですか（道路に沿った距離でお答えください）。

- 1.500m未満      2.500m～1km      3.1km～1.5km      4.1.5km～2km  
5.2km～2.5km      6.2.5km～3km      7.3km～4km      8.4km以上( )km

問２．あなたのお宅では、どのくらいの割合でこの活性化施設を利用する予定ですか。該当する番号に○をつけて（ ）内に回数を記入して下さい。

1. 週に（ ）回ぐらい利用する
2. 月に（ ）回ぐらい利用する
3. 年に（ ）回ぐらい利用する
4. 利用しない

◎ さて、次の質問から活性化施設の整備について、いくつかの状況を想定して質問いたします（想定された状況ですが、「もしも本当にそうなったら」と想像し、お答え下さい）。

◎ これからの質問は、活性化施設の整備に対する負担金についてたずねるものです。おたずねする負担金の額は調査票によって異なるため、隣の家族とは違う金額が示されています。よその家族の方とは相談せず、あなた又はあなたの世帯としての支払の意志をご回答ください。

問3 別紙に詳細を示すように、活性化施設を整備する工事を行うこととします

【現状】

- ・サークル活動や、伝統芸能・地域文化保全、地域の展示・催し等については、〇〇集落の施設を活用しています。

(実際の現状に即して記述すること)

行われていない例→  
・サークル活動や、伝統芸能・地域文化保全、地域の展示・催し等については、行われていません。等



【整備した場合】

- ・サークル活動等の利用がしやすくなります。
- ・住民間の交流も増えることが期待されます。
- ・伝統芸能・文化の保存や学習が容易になります。

【現状】、【整備した場合】の説明に添える写真や図は、郵送し、各家庭で回答いただく場合には、必ずいれた方がよいが、説明会等の会場で回答いただく場合には、別紙で示してもよい。

(整備により発現される効果のみ記述すること)

その他の例→

- ・地域外住民を招く場として、地域間の交流を促進します。
- ・地域住民に対して、健康でゆとりのある生活空間を提供します。
- ・施設の整備により、景観が良くなります。

<これからが、想定の話です>

ところが、〇〇市(町村)は財政状況が厳しいため、このままでは別紙の活性化施設の工事はできないとします。そこで、生活環境の改善や景観・環境を保全する活性化施設の工事を実現するために、1世帯1年あたり3千円(月額で250円)の負担金を徴収する計画が立てられた場合、あなたの世帯は、この計画に賛成しますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとし、あなたの世帯の負担総額は12万円となります。

1. はい → 問4にお進み下さい

2. いいえ → 問5にお進み下さい

問3で、はいと答えた方におたずねします。

問4 では、先ほどより高い年7千円（月約600円）でも、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

問4-2 あなたは、この計画は非常に重要なので『負担額がいくら高くても、「はい」と答えるべき』だとお考えですか。

1. はい

2. いいえ

終了です

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で、いいえと答えた方におたずねします。

問5 では、先ほどより安い年1千5百円（月約120円）では、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

終了です

問5-2 「いいえ」と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、負担額が高すぎる
2. 現状では特に活性化施設の整備の必要がない
3. 活性化施設の整備は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 自然環境・生態系保全施設に関するアンケート

### ★このアンケートの目的

農林水産省及び〇〇県・〇〇市（事業主体を記載）は、それぞれの農村で自然や社会の特色をふまえた生活環境整備事業を進め、個性豊かで活力ある村づくりを目指しています。

このアンケートは、生活環境整備事業のなかで特に地区内の自然環境・生態系保全施設にどの程度の効果があるのか調べることを目的にしています。事業実施を決める判断材料の一つとなる重要な調査です。

### ★アンケートの回答方法

- ①アンケートの調査票をよくお読み頂き、ご回答ください。
- ②日常生活でなじみのない質問もあるかと思いますが、「だいたい、この程度」という判断でご回答ください。

郵送し、各家庭で回答いただく場合には、世帯としての支払意志を尋ねるものなので、「ご家族で相談の上、ご回答ください」とするのが望ましい。

### ★アンケート結果の取り扱い

- ①アンケートは無記名で行い、回答者全体を集計して利用します。
- ②このアンケートは、事業の賛否を問うものではありません。
- ③アンケートの結果は、整備負担金や施設の利用料の設定などに利用することはありません。

平成 年 月

調査実施担当：

問い合わせ先：電話

担当：

あなたがお住まいの地域で、農村の生活環境整備事業によって、別紙のような自然環境・生態系保全施設を整備することが検討されています。

まず、別紙をお読みいただいてから、以下の質問にお答えください。

問1. あなたのお宅から、この整備が予定されている自然環境・生態系保全施設までの距離はおおよそどれくらいですか（道路に沿った距離でお答えください）。

1. 500m未満    2. 500m～1 km    3. 1 km～1.5km    4. 1.5km～2 km  
5. 2 km～2.5km    6. 2.5km～3 km    7. 3 km～4 km    8. 4 km以上( )km

問2. あなたのお宅では、どのくらいの割合でこの自然環境・生態系保全施設を利用する予定ですか。該当する番号に○をつけて( )内に回数を記入して下さい。

1. 週に( )回ぐらい利用する
2. 月に( )回ぐらい利用する
3. 年に( )回ぐらい利用する
4. 利用しない

◎ さて、次の質問から自然環境・生態系保全施設の整備について、いくつかの状況を想定して質問いたします（想定された状況ですが、「もしも本当にそうなったら」と想像し、お答え下さい）。

◎ これからの質問は、自然環境・生態系保全施設の整備に対する負担金についてたずねるものです。おたずねする負担金の額は調査票によって異なるため、隣の家族とは違う金額が示されています。よその家族の方とは相談せず、あなた又はあなたの世帯としての支払の意志をご回答ください。

**問3** 別紙に詳細を示すように、自然環境・生態系保全施設を整備する工事を行うこととします。

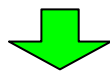
**【現状】**

- ・整備対象施設（排水路など）は、コンクリート三面張りとなっています。

（実際の現状に即して記述すること）



【現状】、【整備した場合】の説明に添える写真や図は、郵送し、各家庭で回答いただく場合には、必ずいれた方がよいが、説明会等の会場で回答いただく場合には、別紙で示してもよい。



**【整備した場合】**

- ・景観が維持、形成され、憩いの場、やすらぎの場として利用できます。
- ・生物の多様性、生態系が保全、復元され、自然と親しむレクリエーション機会が提供されます。



（整備により発現される効果のみ記述すること）

その他の例→

- ・従来の水路が改修され、転落の危険性が無くなります。

＜これからが、想定の話です＞

ところが、〇〇市（町村）は財政状況が厳しいため、このままでは別紙の自然環境・生態系保全施設の工事はできないとします。そこで、生活環境の改善や景観・環境を保全する自然環境・生態系保全施設の工事を実現するために、1世帯1年あたり3千円（月額で250円）の負担金を徴収する計画が立てられた場合、あなたの世帯は、この計画に賛成しますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとし、あなたの世帯の負担総額は12万円となります。

1. はい → 問4にお進み下さい

2. いいえ → 問5にお進み下さい

問3で、はいと答えた方におたずねします。

問4 では、先ほどより高い年7千円（月約 600 円）でも、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

問4-2 あなたは、この計画は非常に重要なので『負担額がいくら高くても、「はい」と答えるべき』だとお考えですか。

1. はい

2. いいえ

終了です

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で、いいえと答えた方におたずねします。

問5 では、先ほどより安い年1千5百円（月約 120 円）では、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

終了です

問5-2 「いいえ」と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、負担額が高すぎる
2. 現状では特に自然環境・生態系保全施設の整備の必要がない
3. 自然環境・生態系保全施設の整備は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 集落農園に関するアンケート

### ★このアンケートの目的

農林水産省及び〇〇県・〇〇市（事業主体を記載）は、それぞれの農村で自然や社会の特色をふまえた生活環境整備事業を進め、個性豊かで活力ある村づくりを目指しています。

このアンケートは、生活環境整備事業のなかで特に地区内の集落農園の整備にどの程度の効果があるのか調べることを目的にしています。事業実施を決める判断材料の一つとなる重要な調査です。

### ★アンケートの回答方法

- ①アンケートの調査票をよくお読み頂き、ご回答ください。
- ②日常生活でなじみのない質問もあるかと思いますが、「だいたい、この程度」という判断でご回答ください。

郵送し、各家庭で回答いただく場合には、世帯としての支払意志を尋ねるものなので、「ご家族で相談の上、ご回答ください」とするのが望ましい。

### ★アンケート結果の取り扱い

- ①アンケートは無記名で行い、回答者全体を集計して利用します。
- ②このアンケートは、事業の賛否を問うものではありません。
- ③アンケートの結果は、整備負担金や施設の利用料の設定などに利用することはありません。

平成 年 月

調査実施担当：

問い合わせ先：電話

担当：

あなたがお住まいの地域で、農村の生活環境整備事業によって、別紙のような集落農園を整備することが検討されています。

まず、別紙をお読みいただいてから、以下の質問にお答えください。

問１．あなたのお宅から、この整備が予定されている集落農園までの距離はおよそどれくらいですか（道路に沿った距離でお答えください）。

1.500m未満    2.500m～1 km    3.1 km～1.5km    4.1.5km～2 km  
5.2 km～2.5km    6.2.5km～3 km    7.3 km～4 km    8.4 km以上( )km

問２．あなたのお宅では、この集落農園が整備された場合、どのくらいの頻度で利用すると思われますか。該当する番号に○をつけて( )内に回数を記入して下さい。

1. 週に( )回ぐらい利用する
2. 月に( )回ぐらい利用する
3. 年に( )回ぐらい利用する
4. 利用しない

◎ さて、次の質問から集落農園の整備について、いくつかの状況を想定して質問いたします（想定された状況ですが、「もしも本当にそうなったら」と想像し、お答え下さい）。

◎ これからの質問は、集落農園の整備に対する負担金についてたずねるものです。おたずねする負担金の額は調査票によって異なるため、隣の家族とは違う金額が示されています。よその家族の方とは相談せず、あなた又はあなたの世帯としての支払の意志をご回答ください。

問3 別紙に詳細を示すように、集落農園を整備する工事を行うこととします。

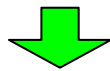
【現状】

- ・〇〇（たとえば、「耕作放棄地」）となっています。

（実際の現状に即して記述すること）



【現状】、【整備した場合】の説明に添える写真や図は、郵送し、各家庭で回答いただく場合には、必ずいれた方がよいが、説明会等の会場で回答いただく場合には、別紙で示してもよい。



【整備した場合】

- ・オーナー同士の交流やイベントなどを通じて、地域住民の語り合いの場となることにより、地域社会の活性化が期待できます。
- ・農作業を通じ、地域住民の健康に役立ちます。



（整備により発現される効果のみ記述すること）

その他の例→

- ・農作業を通じて、食や農業に関する子供たちの教育に役立ちます。
- ・耕作放棄地が市民農園に変わることで、景観が良くなります。

<これからが、想定の話です>

ところが、〇〇市（町村）は財政状況が厳しいため、このままでは別紙の集落農園の工事はできないとします。そこで、地域の活性化や景観・環境を保全する集落農園の工事を実現するために、1世帯1年あたり1千円（月額で80円）の負担金を徴収する計画が立てられた場合、あなたの世帯は、この計画に賛成しますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとし、あなたの世帯の負担総額は4万円となります。

1. はい → 問4にお進み下さい

2. いいえ → 問5にお進み下さい

問3で、**はい**と答えた方におたずねします。

問4 では、先ほどより高い年2千円（月約160円）でも、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

問4-2 あなたは、この計画は非常に重要なので『負担額がいくら高くても、「はい」と答えるべき』だとお考えですか。

1. はい

2. いいえ

終了です

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で、**いいえ**と答えた方におたずねします。

問5 では、先ほどより安い年5百円（月約40円）では、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

終了です

問5-2 「いいえ」と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、負担額が高すぎる
2. 現状では特に集落農園の整備の必要がない
3. 集落農園の整備は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 情報基盤施設整備（同報無線整備）に関するアンケート

### ★このアンケートの目的

農林水産省及び〇〇県・〇〇市（事業主体を記載）は、それぞれの農村で自然や社会の特色をふまえた生活環境整備事業を進め、個性豊かで活力ある村づくりを目指しています。

このアンケートは、生活環境整備事業のなかで特に地区内の同報無線の整備にどの程度の効果があるのか調べることを目的にしています。事業実施を決める判断材料の一つとなる重要な調査です。

### ★アンケートの回答方法

- ①アンケートの調査票をよくお読み頂き、ご回答ください。
- ②日常生活でなじみのない質問もあるかと思いますが、「だいたい、この程度」という判断でご回答ください。

郵送し、各家庭で回答いただく場合には、世帯としての支払意志を尋ねるもので、「ご家族で相談の上、ご回答ください」とするのが望ましい。

### ★アンケート結果の取り扱い

- ①アンケートは無記名で行い、回答者全体を集計して利用します。
- ②このアンケートは、事業の賛否を問うものではありません。
- ③アンケートの結果は、整備負担金や施設の利用料の設定などに利用することはありません。

平成 年 月

調査実施担当：

問い合わせ先：電話

担当：

あなたがお住まいの地域で、農村の生活環境整備事業によって、別紙のような同報無線を整備することが検討されています。

まず、別紙をお読みいただいてから、以下の質問にお答えください。

問１．現在の防災情報は、どのように入手されてますか。あてはまるものすべての番号に○をつけてください。

- １.ラジオ、テレビ
- ２.電話、ファックス
- ３.市町村の広報車
- ４.その他

問２．現在の防災情報の伝達方法についておたずねします。あてはまるものを１つ選び番号に○をつけてください。

- １．かなり満足している
- ２．やや満足している
- ３．どちらともいえない
- ４．やや不満である
- ５．かなり不満である

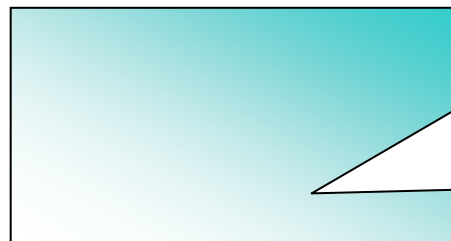
- ◎ さて、次の質問から同報無線の整備について、いくつかの状況を想定して質問いたします（想定された状況ですが、「もしも本当にそうなったら」と想像し、お答え下さい）。

◎ これからの質問は、同報無線の整備に対する負担金についてたずねるものです。おたずねする負担金の額は調査票によって異なるため、隣の家族とは違う金額が示されています。よその家族の方とは相談せず、あなた又はあなたの世帯としての支払の意志をご回答ください。

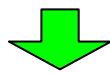
問3 別紙に詳細を示すように、同報無線を整備する工事を行うこととします。

【現状】

- ・災害に関する情報は、市町村の広報車が巡回してお知らせしている状況です。  
(実際の現状に即して記述すること)



【現状】、【整備した場合】の説明に添える写真や図は、郵送し、各家庭で回答いただく場合には、必ず入れた方がよいが、説明会等の会場で回答いただく場合には、別紙で示してもよい。



【整備した場合】

- ・台風、地震、土砂崩れなどの災害に関する情報が適切に提供されることで、適切に避難ができるようになります。



(整備により発現される効果のみ記述すること)

(整備により発現される効果のみ記述すること)

その他の例→

- ・また、避難することで災害の被害が減り、被災時にかかる費用(けがの治療費や家財等の損失、修繕費など)も減ります。

<これからが、想定の話です>

ところが、〇〇市(町村)は財政状況が厳しいため、このままでは別紙の同報無線の整備はできないとします。そこで、地域住民の安全性を確保する同報無線の整備を実現するために、1世帯1年あたり5千円(月額で約400円)の負担金を徴収する計画が立てられた場合、あなたの世帯は、この計画に賛成しますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとし、あなたの世帯の負担総額は20万円となります。

1. はい → 問4にお進み下さい

2. いいえ → 問5にお進み下さい

問3で、はいと答えた方におたずねします。

問4 では、先ほどより高い年1万円（月約800円）でも、整備費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

問4-2 あなたは、この計画は非常に重要なので『負担額がいくら高くても、「はい」と答えるべき』だとお考えですか。

1. はい

2. いいえ

終了です

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で、いいえと答えた方におたずねします。

問5 では、先ほどより安い年2千円（月約160円）では、整備費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

終了です

問5-2 「いいえ」と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、負担額が高すぎる
2. 現状では特に同報無線の整備の必要がない
3. 同報無線の整備は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 農業集落道の整備に関するアンケート

### ★このアンケートの目的

農林水産省及び〇〇県・〇〇市（事業主体を記載）は、それぞれの農村で自然や社会の特色をふまえた生活環境整備事業を進め、個性豊かで活力ある村づくりを目指しています。

このアンケートは、生活環境整備事業のなかで特に地区内の道路整備にどの程度の効果があるのか調べることを目的にしています。事業実施を決める判断材料の一つとなる重要な調査です。

### ★アンケートの回答方法

- ①アンケートの調査票をよくお読み頂き、ご回答ください。
- ②日常生活でなじみのない質問もあるかと思いますが、「だいたい、この程度」という判断でご回答ください。

郵送し、各家庭で回答いただく場合には、世帯としての支払意志を尋ねるものなので、「ご家族で相談の上、ご回答ください」とするのが望ましい。

### ★アンケート結果の取り扱い

- ①アンケートは無記名で行い、回答者全体を集計して利用します。
- ②このアンケートは、事業の賛否を問うものではありません。
- ③アンケートの結果は、整備負担金や施設の利用料の設定などに利用することはありません。

平成 年 月

調査実施担当：

問い合わせ先：電話

担当：

あなたがお住まいの地域で、農村の生活環境整備事業によって、別紙のような道路を整備することが検討されています。

まず、別紙をお読みいただいてから、以下の質問にお答えください。

**問 1** 別紙の道路の整備が予定されている場所と、あなたのお住まいとの距離についておたずねします。あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. 住居に直接面している
2. 直接面してはいないが、歩いて5分以内にある。
3. 歩いて10分以内にある。
4. それ以上離れた場所にある。

**問 2** 別紙の道路整備が予定されている場所の、現在の道路状況には満足されていますか。あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. かなり満足している
2. やや満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. かなり不満である
6. この道路を利用しないのでわからない

◎ さて、次の質問から道路の整備について、いくつかの状況を想定して質問いたします（想定された状況ですが、「もしも本当にそうになったら」と想像し、お答え下さい）。

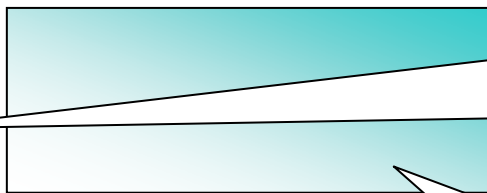
◎ これからの質問は、道路の整備に対する負担金についてたずねるものです。おたずねする負担金の額は調査票によって異なるため、隣の家族とは違う金額が示されています。よその家族の方とは相談せず、あなた又はあなたの世帯としての支払の意志をご回答ください。

**問3** 別紙に詳細を示すように、道路の幅を広げ、舗装する工事を行うこととします。

まず、対象となる道路の現状と、もしもその道路を整備しなかった場合と、計画どおり整備をした場合、それぞれ次のような違いがあります。

**【現状】**

- ・路面に凹凸があり、大雨のときにはぬかるみができます。



(実際の現状に即して記述すること)

その他の例→

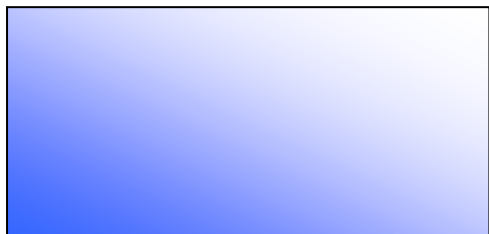
- ・道路幅が狭く、脱輪等の事故の危険があります。等



**【整備しなかった場合】**

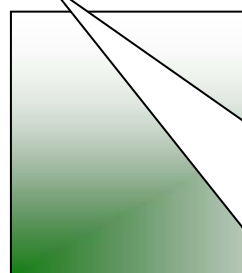
以下のような場合が考えられます。

- ・舗装がはがれ、路面の凹凸がひどくなるほか、法面の崩れにより通れる幅が狭くなり、脱輪等の危険性も増え、非常に通りにくくなることが考えられます。



**【整備した場合】**

- ・路面の凸凹が無くなり、砂ぼこりやぬかるみが減ります。
- ・道路の幅が広がり、安全に通行できます。
- ・住民の避難路として利用されます。



(更新により発現される効果のみ記述すること) その他の例→

- ・火事の時、被害が広がりにくくなります。
- ・救急車・消防車などが、お宅の前まですぐ来られるようになります。
- ・住民交流の場が増え、レクリエーションが多くなる等の効果が期待できます。
- ・ほどよい曲線や幅員・舗装の工夫など地域特性に応じた整備により、集落の温かみや歴史・文化的空間を保持することができます。

【現状】、【整備しなかった場合】、【整備した場合】の説明に添える写真や図は、郵送し、各家庭で回答いただく場合には、必ずいれた方がよいが、説明会等の会場で回答いただく場合には、別紙で示してもよい。

<これからが、想定の話です>

ところが、〇〇市(町村)は財政状況が厳しいため、このままでは別紙の道路工事はできないとします。そこで、生活環境の改善や景観・環境を保全する道路工事を実現するために、1世帯1年あたり1万2千円(月額でおよそ1,000円)の負担金を徴収する計画が立てられた場合、あなたの世帯は、この計画に賛成しますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとし、あなたの世帯の負担総額は48万円となります。

1. はい



問4にお進み下さい

2. いいえ



問5にお進み下さい

問3で、はいと答えた方におたずねします。

問4 では、先ほどより高い年2万5千円（月約 2,000 円）でも、工事費用を負担してよいと思われませんか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

問4-2 あなたはこの計画は非常に重要なので、負担額が『いくら高くても、「はい」と答えるべき』とお考えですか。

1. はい

2. いいえ

終了です

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で、いいえと答えた方におたずねします。

問5 では、先ほどより安い年5千円（月約 400 円）では、工事費用を負担してよいと思われませんか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

終了です

問5-2 「いいえ」と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、負担額が高すぎる
2. 現状では特に道路の拡幅や舗装の必要がない
3. 道路の拡幅や舗装は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 農業集落排水路に関するアンケート

### ★このアンケートの目的

農林水産省及び〇〇県・〇〇市（**事業主体を記載**）は、それぞれの農村で自然や社会の特色をふまえた生活環境整備事業を進め、個性豊かで活力ある村づくりを目指しています。

このアンケートは、生活環境整備事業のなかで特に地区内の農業集落排水路にどの程度の効果があるのか調べることを目的にしています。事業実施を決める判断材料の一つとなる重要な調査です。

### ★アンケートの回答方法

- ①アンケートの調査票をよくお読み頂き、ご回答ください。
- ②日常生活でなじみのない質問もあるかと思いますが、「だいたい、この程度」という判断でご回答ください。

郵送し、各家庭で回答いただく場合には、世帯としての支払意志を尋ねるものなので、「ご家族で相談の上、ご回答ください」とするのが望ましい。

### ★アンケート結果の取り扱い

- ①アンケートは無記名で行い、回答者全体を集計して利用します。
- ②このアンケートは、事業の賛否を問うものではありません。
- ③アンケートの結果は、整備負担金や施設の利用料の設定などに利用することはありません。

平成 年 月

調査実施担当：

問い合わせ先：電話

担当：

あなたがお住まいの地域で、農村の生活環境整備事業によって、別紙のような排水路を整備することが検討されています。

まず、別紙をお読みいただいてから、以下の質問にお答えください。

**問 1** 別紙の排水路の整備が予定されている場所と、あなたのお住まいとの距離についておたずねします。あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. 住居に直接面している
2. 直接面してはいないが、歩いて5分以内にある。
3. 歩いて10分以内にある。
4. それ以上離れた場所にある。

**問 2** 別紙の排水路整備が予定されている場所の、現在の排水路状況には満足されていますか。あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. かなり満足している
2. やや満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. かなり不満である
6. この排水路を利用しないのでわからない

◎ さて、次の質問から排水路の整備について、いくつかの状況を想定して質問いたします（想定された状況ですが、「もしも本当にそうなったら」と想像し、お答え下さい）。

◎ これからの質問は、排水路の整備に対する負担金についてたずねるものです。おたずねする負担金の額は調査票によって異なるため、隣の家族とは違う金額が示されています。よその家族の方とは相談せず、あなた又はあなたの世帯としての支払の意志をご回答ください。

整備内容により、「ふたをする工事」など変えて下さい。

**問3** 別紙に詳細を示すように、排水路の幅を広げ、整備する工事を行うこととします。

まず、対象となる排水路の現状と、もしもその排水路を整備しなかった場合と、計画どおり整備をした場合、それぞれ次のような違いがあります。

【現状】

- ・周辺に水溜まりがあり、家庭雑排水等の汚水が流れにくく、不快になることがあります。

(実際の現状に即して記述すること)

その他の例→

- ・公共施設や家屋の冠水・湛水被害の危険性があります。等

【整備しなかった場合】

以下のような場合が考えられます。

- ・水溜りが増え、家庭雑排水等が流れにくく、不快感が増します。
- ・公共施設や家屋の冠水・湛水被害が増大します。

【整備した場合】

- ・水溜りが減り、歩きやすくなります。
- ・悪臭や害虫が発生しにくくなります。
- ・水路にふたをすることで、水路の隣の道路が広くなり、通行しやすくなるほか、水路への転落や交通事故の危険性が少なくなります。

【現状】、【整備しなかった場合】、【整備した場合】の説明に添える写真や図は、郵送し、各家庭で回答いただく場合には、必ず入れた方がよいが、説明会等の会場で回答いただく場合には、別紙で示してもよい。

(整備しなかった場合に、考えられる影響を記述すること) その他の例→

- ・水路の蓋の陥没などにより、水路への転落や交通事故の危険性が増大します。
- ・親水機能が低下するとともに、良い景観が損なわれます。

(更新により発現される効果のみ記述すること) その他の例→

- ・公共施設や家屋の冠水・湛水被害が少なくなります。
- ・連積石等の整備で、景観が良くなります。

＜これからが、想定の話です＞

ところが、〇〇市（町村）は財政状況が厳しいため、このままでは別紙の排水路工事はできないとします。そこで、生活環境の改善や景観・環境を保全する排水路工事を実現するために、1世帯1年あたり1万8千円（月額でおよそ1,500円）の負担金を徴収する計画が立てられた場合、あなたの世帯は、この計画に賛成しますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとし、あなたの世帯の負担総額は72万円となります。

- |        |   |           |
|--------|---|-----------|
| 1. はい  | ➡ | 問4にお進み下さい |
| 2. いいえ | ➡ | 問5にお進み下さい |

問3で、はいと答えた方におたずねします。

問4 では、先ほどより高い年3万5千円（月約 3,000 円）でも、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

問4-2 あなたは、この計画は非常に重要なので『負担額がいくら高くても、「はい」と答えるべき』だとお考えですか。

1. はい

2. いいえ

終了です

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で、いいえと答えた方におたずねします。

問5 では、先ほどより安い年8千円（月約 650 円）では、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

終了です

問5-2 「いいえ」と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、負担額が高すぎる
2. 現状では特に排水路の整備の必要がない
3. 排水路の整備は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 集落防災安全施設に関するアンケート

### ★このアンケートの目的

農林水産省及び〇〇県・〇〇市（**事業主体を記載**）は、それぞれの農村で自然や社会の特色をふまえた生活環境整備事業を進め、個性豊かで活力ある村づくりを目指しています。

このアンケートは、生活環境整備事業のなかで特に地区内の集落防災安全施設にどの程度の効果があるのか調べることを目的にしています。事業実施を決める判断材料の一つとなる重要な調査です。

### ★アンケートの回答方法

- ①アンケートの調査票をよくお読み頂き、ご回答ください。
- ②日常生活でなじみのない質問もあるかと思いますが、「だいたい、この程度」という判断でご回答ください。

郵送し、各家庭で回答いただく場合には、世帯としての支払意志を尋ねるものなので、**「ご家族で相談の上、ご回答ください」とするのが望ましい。**

### ★アンケート結果の取り扱い

- ①アンケートは無記名で行い、回答者全体を集計して利用します。
- ②このアンケートは、事業の賛否を問うものではありません。
- ③アンケートの結果は、整備負担金や施設の利用料の設定などに利用することはありません。

平成 年 月

調査実施担当：

問い合わせ先：電話

担当：

あなたがお住まいの地域で、農村の生活環境整備事業によって、別紙のような集落防災安全施設を整備することが検討されています。

まず、別紙をお読みいただいてから、以下の質問にお答えください。

**問 1** 別紙の集落防災安全施設の整備が予定されている場所と、あなたのお住まいとの距離についておたずねします。あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. 住居に直接面している
2. 直接面してはいないが、歩いて5分以内にある。
3. 歩いて10分以内にある。
4. それ以上離れた場所にある。

**問 2** 別紙の集落防災安全施設の整備が予定されている場所の、現在の集落防災安全施設の状況には満足されていますか。あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. かなり満足している
2. やや満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. かなり不満である
6. この集落防災安全施設を利用しないのでわからない

◎ さて、次の質問から集落防災安全施設の整備について、いくつかの状況を想定して質問いたします（想定された状況ですが、「もしも本当にそうになったら」と想像し、お答え下さい）。

◎ これからの質問は、集落防災安全施設の整備に対する負担金についてたずねるものです。おたずねする負担金の額は調査票によって異なるため、隣の家族とは違う金額が示されています。よその家族の方とは相談せず、あなた又はあなたの世帯としての支払の意志をご回答ください。

**問3** 別紙に詳細を示すように、集落防災安全施設を整備する工事を行うこととします。

まず、対象となる集落防災安全施設の現状と、もしもその集落防災安全施設を整備しなかった場合と、計画どおり整備をした場合、それぞれ次のような違いがあります。

**【現状】**

- ・風雪害・火災・事故などによる被害や、農地・道路・一般家屋などへの被害を回避・抑制しています。

(実際の現状に即して記述すること)

その他の例→

- ・災害による道路の通行止めを回避・抑制しています。等

**【整備しなかった場合】**

以下のような場合が考えられます。

- ・風雪害・火災・事故などによる被害が増え、それに伴う住民の治療費や復旧のための労働も増えます。
- ・農地・道路・一般家屋などへの被害から復旧する経費が増えます。

**【整備した場合】**

- ・風雪害・火災・事故などの被害を回避し、住民の治療費や復旧のための労働の発生を回避又は減らすことができます。
- ・農地・道路・一般家屋などへの被害を回避できる可能性が高まります。

【現状】、【整備しなかった場合】、【整備した場合】の説明に添える写真や図は、郵送し、各家庭で回答いただく場合には、必ずいれた方がよいが、説明会等の会場で回答いただく場合には、別紙で示してもよい。

(整備しなかった場合に、考えられる影響を記述すること) その他の例→  
・災害による道路の通行止めが起りやすくなり、迂回することが増えます。  
・施設の老朽化により、良い景観が損なわれます。

(更新により発現される効果のみ記述すること) その他の例→  
・災害による道路の通行止めや、それに伴う経費の発生を回避又は減らします。  
・施設の整備により、景観が維持されます(良くなります)。

<これからが、想定の話です>

ところが、〇〇市(町村)は財政状況が厳しいため、このままでは別紙の集落防災安全施設の工事はできないとします。そこで、生活環境の改善や景観・環境を保全する集落防災安全施設の工事を実現するために、1世帯1年あたり1万2千円(月額で1,000円)の負担金を徴収する計画が立てられた場合、あなたの世帯は、この計画に賛成しますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとし、あなたの世帯の負担総額は48万円となります。

- |        |   |           |
|--------|---|-----------|
| 1. はい  | ➡ | 問4にお進み下さい |
| 2. いいえ | ➡ | 問5にお進み下さい |

問3で、はいと答えた方におたずねします。

問4 では、先ほどより高い年2万5千円（月約 2,000 円）でも、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

問4-2 あなたは、この計画は非常に重要なので『負担額がいくら高くても、「はい」と答えるべき』だと思えますか。

1. はい

2. いいえ

終了です

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で、いいえと答えた方におたずねします。

問5 では、先ほどより安い年6千円（月 500 円）では、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

終了です

問5-2 「いいえ」と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、負担額が高すぎる
2. 現状では特に集落防災安全施設の整備の必要がない
3. 集落防災安全施設の整備は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 活性化施設（地域農業活動拠点施設）に関するアンケート

### ★このアンケートの目的

農林水産省及び〇〇県・〇〇市（**事業主体を記載**）は、それぞれの農村で自然や社会の特色をふまえた生活環境整備事業を進め、個性豊かで活力ある村づくりを目指しています。

このアンケートは、生活環境整備事業のなかで特に地区内の活性化施設にどの程度の効果があるのか調べることを目的にしています。事業実施を決める判断材料の一つとなる重要な調査です。

### ★アンケートの回答方法

- ①アンケートの調査票をよくお読み頂き、ご回答ください。
- ②日常生活でなじみのない質問もあるかと思いますが、「だいたい、この程度」という判断でご回答ください。

郵送し、各家庭で回答いただく場合には、世帯としての支払意志を尋ねるものなので、「ご家族で相談の上、ご回答ください」とするのが望ましい。

### ★アンケート結果の取り扱い

- ①アンケートは無記名で行い、回答者全体を集計して利用します。
- ②このアンケートは、事業の賛否を問うものではありません。
- ③アンケートの結果は、整備負担金や施設の利用料の設定などに利用することはありません。

平成 年 月

調査実施担当：

問い合わせ先：電話

担当：

あなたがお住まいの地域で、農村の生活環境整備事業によって、別紙のような活性化施設を整備することが検討されています。

まず、別紙をお読みいただいてから、以下の質問にお答えください。

問 1. あなたのお宅から、この整備が予定されている活性化施設までの距離はおよそどれくらいですか（道路に沿った距離でお答えください）。

1. 500m未満    2. 500m～1 km    3. 1 km～1.5km    4. 1.5km～2 km  
5. 2 km～2.5km    6. 2.5km～3 km    7. 3 km～4 km    8. 4 km以上（ ）k  
m

問 2. あなたのお宅では、どのくらいの割合でこの活性化施設を利用していますか。該当する番号に○をつけて（ ）内に回数を記入して下さい。

1. 週に（ ）回ぐらい利用している  
2. 月に（ ）回ぐらい利用している  
3. 年に（ ）回ぐらい利用している  
4. 利用していない
- } ⇒問 2-1 へお進み下さい
- ⇒問 3 へお進み下さい

問 2-1. 問 2 で「1. ～3. 利用している」と答えた方にお聞きします。

(1) この活性化施設を利用する場合、どのような方法で行けますか。

1. 徒歩    2. 自転車    3. オートバイ    4. 自動車  
5. その他（ ）

(2) 1 回あたりの活性化施設で過ごす時間は何時間くらいですか。

1. 1 時間未満    2. 1～2 時間    3. 2～3 時間    4. 3～4 時間  
5. 4 時間以上（ ）時間

(3) この活性化施設に行くときは、ご家族のうち何人で行っていますか。平均的な場合でお答え下さい。

1. 1 人    2. 2 人    3. 3 人    4. 4 人  
5. 5 人以上（ ）人

◎ さて、次の質問から活性化施設の整備について、いくつかの状況を想定して質問いたします（想定された状況ですが、「もしも本当にそうになったら」と想像し、お答え下さい）。

◎ これからの質問は、活性化施設の整備に対する負担金についてたずねるものです。おたずねする負担金の額は調査票によって異なるため、隣の家族とは違う金額が示されています。よその家族の方とは相談せず、あなた又はあなたの世帯としての支払の意志をご回答ください。

**問3** 別紙に詳細を示すように、活性化施設を整備する工事を行うこととします。

まず、対象となる活性化施設の現状と、もしもその活性化施設を整備しなかった場合と、計画どおり整備をした場合の違いを確認してください。

**【現状】**

- ・サークル活動や、伝統芸能・地域文化保全、地域の展示・催し等の場や、地域外住民を招く場として利用されています。

(実際の現状に即して記述すること)

その他の例→  
・付帯する緑地は健康やゆとりを提供しています。等

**【整備しなかった場合】**

- 以下のような場合が考えられます。
- ・施設が利用できなくなり、住民の連帯意識や、伝統芸能・文化の保存、学習機会の維持が難しくなります。
  - ・地域外住民を招く場が失われ、地域間の交流が少なくなります。

**【整備した場合】**

- ・サークル活動等の利用がしやすくなります。
- ・住民間の交流が増えることが期待されます。
- ・伝統芸能・文化の保存や学習が容易になります。

【現状】、【整備しなかった場合】、【整備した場合】の説明に添える写真や図は、郵送し、各家庭で回答いただく場合には、必ずいれた方がよいが、説明会等の会場で回答いただく場合には、別紙で示してもよい。

(整備しなかった場合に、考えられる影響を記述すること) その他の例→

- ・緑地整備が不十分になり、健康やゆとりを提供されなくなります。
- ・施設の老朽化により、景観が損なわれます。

(更新により発現される効果のみ記述すること) その他の例→

- ・地域外住民を招く場として、地域間の交流を促進します。
- ・地域住民に対して、健康でゆとりのある生活空間を提供します。
- ・施設の整備により、景観が良くなります。

＜これからが、想定の話です＞

ところが、〇〇市（町村）は財政状況が厳しいため、このままでは別紙の活性化施設の工事はできないとします。そこで、生活環境の改善や景観・環境を保全する活性化施設の工事を実現するために、1世帯1年あたり3千円（月額で250円）の負担金を徴収する計画が立てられた場合、あなたの世帯は、この計画に賛成しますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとし、あなたの世帯の負担総額は12万円となります。

- |        |   |           |
|--------|---|-----------|
| 1. はい  | ➡ | 問4にお進み下さい |
| 2. いいえ | ➡ | 問5にお進み下さい |

問3で、はいと答えた方におたずねします。

問4 では、先ほどより高い年7千円（月約 600 円）でも、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

問4-2 あなたは、この計画は非常に重要なので『負担額がいくら高くても、「はい」と答えるべき』だとお考えですか。

1. はい

2. いいえ

終了です

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で、いいえと答えた方におたずねします。

問5 では、先ほどより安い年1千5百円（月約 120 円）では、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

終了です

問5-2 「いいえ」と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、負担額が高すぎる
2. 現状では特に活性化施設の整備の必要がない
3. 活性化施設の整備は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 自然環境・生態系保全施設に関するアンケート

### ★このアンケートの目的

農林水産省及び〇〇県・〇〇市（事業主体を記載）は、それぞれの農村で自然や社会の特色をふまえた生活環境整備事業を進め、個性豊かで活力ある村づくりを目指しています。

このアンケートは、生活環境整備事業のなかで特に地区内の自然環境・生態系保全施設にどの程度の効果があるのか調べることを目的にしています。事業実施を決める判断材料の一つとなる重要な調査です。

### ★アンケートの回答方法

- ①アンケートの調査票をよくお読み頂き、ご回答ください。
- ②日常生活でなじみのない質問もあるかと思いますが、「だいたい、この程度」という判断でご回答ください。

郵送し、各家庭で回答いただく場合には、世帯としての支払意志を尋ねるものなので、「ご家族で相談の上、ご回答ください」とするのが望ましい。

### ★アンケート結果の取り扱い

- ①アンケートは無記名で行い、回答者全体を集計して利用します。
- ②このアンケートは、事業の賛否を問うものではありません。
- ③アンケートの結果は、整備負担金や施設の利用料の設定などに利用することはありません。

平成 年 月

調査実施担当：

問い合わせ先：電話

担当：

あなたがお住まいの地域で、農村の生活環境整備事業によって、別紙のような自然環境・生態系保全施設を整備することが検討されています。  
まず、別紙をお読みいただいてから、以下の質問にお答えください。

問 1. あなたのお宅から、この整備が予定されている自然環境・生態系保全施設までの距離はおよそどれくらいですか（道路に沿った距離でお答えください）。

1. 500m未満    2. 500m～1 km    3. 1 km～1.5km    4. 1.5km～2 km  
5. 2 km～2.5km    6. 2.5km～3 km    7. 3 km～4 km    8. 4 km以上( )km

問 2. あなたのお宅では、どのくらいの割合でこの自然環境・生態系保全施設を利用していますか。該当する番号に○をつけて( )内に回数を記入して下さい。

1. 週に( )回ぐらい利用している  
2. 月に( )回ぐらい利用している  
3. 年に( )回ぐらい利用している  
4. 利用していない    ⇒問 3へお進み下さい
- ⇒問 2-1へお進み下さい

問 2-1. 問 2で「1. ～3. 利用している」と答えた方にお聞きします。

(1) この自然環境・生態系保全施設を利用する場合、どのような方法で行かれますか。

1. 徒歩    2. 自転車    3. オートバイ    4. 自動車  
5. その他( )

(2) 1回あたりの自然環境・生態系保全施設で過ごす時間は何時間くらいですか。

1. 1時間未満    2. 1～2時間    3. 2～3時間    4. 3～4時間  
5. 4時間以上( )時間

(3) この自然環境・生態系保全施設に行くときは、ご家族のうち何人で行っていますか。平均的な場合でお答え下さい。

1. 1人    2. 2人    3. 3人    4. 4人  
5. 5人以上( )人

◎ さて、次の質問から自然環境・生態系保全施設の整備について、いくつかの状況を想定して質問いたします（想定された状況ですが、「もしも本当にそうなったら」と想像し、お答え下さい）。

◎ これからの質問は、自然環境・生態系保全施設の整備に対する負担金についてたずねるものです。おたずねする負担金の額は調査票によって異なるため、隣の家族とは違う金額が示されています。よその家族の方とは相談せず、あなた又はあなたの世帯としての支払の意志をご回答ください。

**問3** 別紙に詳細を示すように、自然環境・生態系保全施設を整備する工事を行うこととします。

まず、対象となる自然環境・生態系保全施設の現状と、もしもその自然環境・生態系保全施設を整備しなかった場合と、計画どおり整備をした場合、それぞれ次のような違いがあります。

**【現状】**

- ・憩いの場、やすらぎの場として利用されています。
- ・生物の多様性、農村の生態系が保全されています。

(実際の現状に即して記述すること)



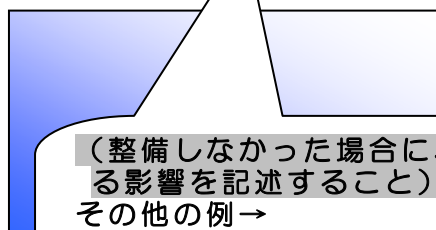
【現状】、【整備しなかった場合】、【整備した場合】の説明に添える写真や図は、郵送し、各家庭で回答いただく場合には、必ずいれた方がよいが、説明会等の会場で回答いただく場合には、別紙で示してもよい。



**【整備しなかった場合】**

以下のような場合が考えられます。

- ・施設の老朽化により、景観が損なわれます。
- ・生物の多様性、農村の生態系が失われていきます。



(整備しなかった場合に、考えられる影響を記述すること)

その他の例→

- ・水路の蓋の陥没などにより、水路への転落や交通事故の危険性が増大します。

**【整備した場合】**

- ・景観が維持、形成され、憩いの場、やすらぎの場として利用できます。
- ・生物の多様性、生態系が保全、復元され、自然と親しむレクリエーション機会が提供されます。



(更新により発現される効果のみ記述すること) その他の例→

- ・水路の隣の道路幅が広くなり、通行にゆとりが持てます。

＜これからが、想定の話です＞

ところが、〇〇市（町村）は財政状況が厳しいため、このままでは別紙の自然環境・生態系保全施設の工事はできないとします。そこで、生活環境の改善や景観・環境を保全する自然環境・生態系保全施設の工事を実現するために、1世帯1年あたり3千円（月額で250円）の負担金を徴収する計画が立てられた場合、あなたの世帯は、この計画に賛成しますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとし、あなたの世帯の負担総額は12万円となります。

1. はい



問4にお進み下さい

2. いいえ



問5にお進み下さい

問3で、はいと答えた方におたずねします。

問4 では、先ほどより高い年7千円（月約 600 円）でも、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

問4-2 あなたは、この計画は非常に重要なので『負担額がいくら高くても、「はい」と答えるべき』だとお考えですか。

1. はい

2. いいえ

終了です

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で、いいえと答えた方におたずねします。

問5 では、先ほどより安い年1千5百円（月約 120 円）では、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

終了です

問5-2 「いいえ」と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、負担額が高すぎる
2. 現状では特に自然環境・生態系保全施設の整備の必要がない
3. 自然環境・生態系保全施設の整備は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 集落農園に関するアンケート

### ★このアンケートの目的

農林水産省及び〇〇県・〇〇市（**事業主体を記載**）は、それぞれの農村で自然や社会の特色をふまえた生活環境整備事業を進め、個性豊かで活力ある村づくりを目指しています。

このアンケートは、生活環境整備事業のなかで特に地区内の集落農園の整備にどの程度の効果があるのか調べることを目的にしています。事業実施を決める判断材料の一つとなる重要な調査です。

### ★アンケートの回答方法

- ①アンケートの調査票をよくお読み頂き、ご回答ください。
- ②日常生活でなじみのない質問もあるかと思いますが、「だいたい、この程度」という判断でご回答ください。

郵送し、各家庭で回答いただく場合には、世帯としての支払意志を尋ねるものなので、「ご家族で相談の上、ご回答ください」とするのが望ましい。

### ★アンケート結果の取り扱い

- ①アンケートは無記名で行い、回答者全体を集計して利用します。
- ②このアンケートは、事業の賛否を問うものではありません。
- ③アンケートの結果は、整備負担金や施設の利用料の設定などに利用することはありません。

平成 年 月

調査実施担当：

問い合わせ先：電話

担当：

あなたがお住まいの地域で、農村の生活環境整備事業によって、別紙のような集落農園を整備することが検討されています。

まず、別紙をお読みいただいてから、以下の質問にお答えください。

問1. あなたのお宅から、この整備が予定されている集落農園までの距離はおよそどれくらいですか（道路に沿った距離でお答えください）。

1. 500m未満    2. 500m～1 km    3. 1 km～1.5km    4. 1.5km～2 km  
5. 2 km～2.5km    6. 2.5km～3 km    7. 3 km～4 km    8. 4 km以上( ) km

問2. あなたのお宅では、どのくらいの割合でこの集落農園を利用していますか。該当する番号に○をつけて( )内に回数を記入して下さい。

1. 週に( )回ぐらい利用している  
2. 月に( )回ぐらい利用している  
3. 年に( )回ぐらい利用している  
4. 利用していない
- ⇒問2-1へお進み下さい  
⇒問3へお進み下さい

問2-1. 問2で「1. ～3. 利用している」と答えた方にお聞きします。

(1) この自然環境・生態系保全施設を利用する場合、どのような方法で行かれますか。

1. 徒歩    2. 自転車    3. オートバイ    4. 自動車  
5. その他( )

(2) 1回あたりの自然環境・生態系保全施設で過ごす時間は何時間くらいですか。

1. 1時間未満    2. 1～2時間    3. 2～3時間    4. 3～4時間  
5. 4時間以上( )時間

(3) この自然環境・生態系保全施設に行くときは、ご家族のうち何人で行っていますか。平均的な場合でお答え下さい。

1. 1人    2. 2人    3. 3人    4. 4人  
5. 5人以上( )人

◎ さて、次の質問から集落農園の整備について、いくつかの状況を想定して質問いたします（想定された状況ですが、「もしも本当にそうになったら」と想像し、お答え下さい）。

◎ これからの質問は、集落農園の整備に対する負担金についてたずねるものです。おたずねする負担金の額は調査票によって異なるため、隣の家族とは違う金額が示されています。よその家族の方とは相談せず、あなた又はあなたの世帯としての支払の意志をご回答ください。

**問3** 別紙に詳細を示すように、集落農園を整備する工事を行うこととします。

まず、対象となる集落農園の現状と、もしもその集落農園を整備しなかった場合と、計画どおり整備をした場合、それぞれ次のような違いがあります。

**【現状】**

- ・オーナー同士の交流やイベントなどを通じて、地域の活性化に貢献しています。

(実際の現状に即して記述すること)

その他の例→

- ・農作業を通じて、健康増進や食や農業に関する子供たちの教育に役立っています。等

【現状】、【整備しなかった場合】、【整備した場合】の説明に添える写真や図は、郵送し、各家庭で回答いただく場合には、必ずいれた方がよいが、説明会等の会場で回答いただく場合には、別紙で示してもよい。

**【整備しなかった場合】**

以下のような場合が考えられます。

- ・集落農園内の施設の老朽化により、農園として続けられなくなるかもしれません。
- ・そうすると、オーナー同士の交流やイベント等が無くなるかもしれません。

**【整備した場合】**

- ・交流やイベント、農作業を通じた健康増進・教育を継続することができ
- ます。
- ・農園の区画が増えることにより、新たにオーナーが増えます。また、交流が広がります。

(更新により発現される効果のみ記述すること) その他の例→

- ・耕作放棄地となっている部分を新たに整備するため、景観が良くなります。

<これからが、想定の話です>

ところが、〇〇市(町村)は財政状況が厳しいため、このままでは別紙の集落農園の工事はできないとします。そこで、地域の活性化や景観・環境を保全する集落農園の工事を実現するために、1世帯1年あたり1千円(月額で80円)の負担金を徴収する計画が立てられた場合、あなたの世帯は、この計画に賛成しますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとし、あなたの世帯の負担総額は4万円となります。

- |        |   |           |
|--------|---|-----------|
| 1. はい  | ➡ | 問4にお進み下さい |
| 2. いいえ | ➡ | 問5にお進み下さい |

問3で、はいと答えた方におたずねします。

問4 では、先ほどより高い年2千円（月約 160 円）でも、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

問4-2 あなたは、この計画は非常に重要なので『負担額がいくら高くても、「はい」と答えるべき』だと思えますか。

1. はい

2. いいえ

終了です

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で、いいえと答えた方におたずねします。

問5 では、先ほどより安い年5百円（月約 40 円）では、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

終了です

問5-2 「いいえ」と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、負担額が高すぎる
2. 現状では特に集落農園の整備の必要がない
3. 集落農園の整備は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 情報基盤施設整備（同報無線整備）に関するアンケート

### ★このアンケートの目的

農林水産省及び〇〇県・〇〇市（**事業主体を記載**）は、それぞれの農村で自然や社会の特色をふまえた生活環境整備事業を進め、個性豊かで活力ある村づくりを目指しています。

このアンケートは、生活環境整備事業のなかで特に地区内の同報無線の整備にどの程度の効果があるのか調べることを目的にしています。事業実施を決める判断材料の一つとなる重要な調査です。

### ★アンケートの回答方法

- ①アンケートの調査票をよくお読み頂き、ご回答ください。
- ②日常生活でなじみのない質問もあるかと思いますが、「だいたい、この程度」という判断でご回答ください。

郵送し、各家庭で回答いただく場合には、世帯としての支払意志を尋ねるものなので、「ご家族で相談の上、ご回答ください」とするのが望ましい。

### ★アンケート結果の取り扱い

- ①アンケートは無記名で行い、回答者全体を集計して利用します。
- ②このアンケートは、事業の賛否を問うものではありません。
- ③アンケートの結果は、整備負担金や施設の利用料の設定などに利用することはありません。

平成 年 月

調査実施担当：

問い合わせ先：電話

担当：

あなたがお住まいの地域で、農村の生活環境整備事業によって、別紙のような同報無線を整備することが検討されています。

まず、別紙をお読みいただいてから、以下の質問にお答えください。

問 1. 現在の防災情報は、どのように入手されてますか。あてはまるものすべての番号に○をつけてください。

1. 同報無線
2. ラジオ、テレビ
3. 電話、ファックス
4. 市町村の広報車
5. その他

問 2. 現在の防災情報の伝達方法についておたずねします。あてはまるものを1つ選び番号に○をつけてください。

1. かなり満足している
2. やや満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. かなり不満である

◎ さて、次の質問から同報無線の整備について、いくつかの状況を想定して質問いたします（想定された状況ですが、「もしも本当にそうなったら」と想像し、お答え下さい）。

◎ これからの質問は、同報無線の整備に対する負担金についてたずねるものです。おたずねする負担金の額は調査票によって異なるため、隣の家族とは違う金額が示されています。よその家族の方とは相談せず、あなた又はあなたの世帯としての支払の意志をご回答ください。

**問3** 別紙に詳細を示すように、同報無線を整備する工事を行うこととします。

まず、対象となる同報無線の現状と、もしもその同報無線を整備しなかった場合と、計画どおり整備をした場合、それぞれ次のような違いがあります。

**【現状】**

- ・台風、地震、土砂崩れなどの災害に関する情報が適切に提供されることで、適切に避難ができます。

(実際の現状に即して記述すること)



【現状】、【整備しなかった場合】、【整備した場合】の説明に添える写真や図は、郵送し、各家庭で回答いただく場合には、必ずいれた方がよいが、説明会等の会場で回答いただく場合には、別紙で示してもよい。



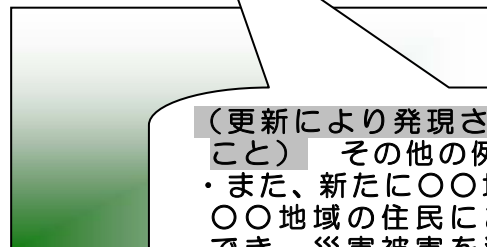
**【整備しなかった場合】**

- 以下のような場合が考えられます。
- ・現在の同報無線の施設が老朽化して使えなくなることが考えられます。
  - ・その場合、災害情報のお知らせは市町村の広報車などで行うため、情報の伝達が遅れ、災害による被害が大きくなるかもしれません。



**【整備した場合】**

- ・引き続き、災害の情報を速やかに提供できるので、適切に避難ができます。
- ・このことにより、災害の被害を少なく押さえることができます。



(更新により発現される効果のみ記述すること) その他の例→

- ・また、新たに〇〇地域にも導入するため、〇〇地域の住民においても適切な避難ができ、災害被害を減らせることができます。

＜これからが、想定の話です＞

ところが、〇〇市（町村）は財政状況が厳しいため、このままでは別紙の同報無線の整備はできないとします。そこで、地域住民の安全を確保する同報無線の整備を実現するために、1世帯1年あたり5千円（月額で400円）の負担金を徴収する計画が立てられた場合、あなたの世帯は、この計画に賛成しますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとし、あなたの世帯の負担総額は20万円となります。

- |        |                                                                                     |           |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 1. はい  |  | 問4にお進み下さい |
| 2. いいえ |  | 問5にお進み下さい |

問3で、はいと答えた方におたずねします。

問4 では、先ほどより高い年1万円（月約800円）でも、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

問4-2 あなたは、この計画は非常に重要なので『負担額がいくら高くても、「はい」と答えるべき』だとお考えですか。

1. はい

2. いいえ

終了です

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で、いいえと答えた方におたずねします。

問5 では、先ほどより安い年2千円（月約160円）では、工事費用を負担してよいと思われますか。「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。

1. はい

2. いいえ

終了です

問5-2 「いいえ」と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. この計画は良いと思うが、負担額が高すぎる
2. 現状では特に同報無線の整備の必要がない
3. 同報無線の整備は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 農業集落道の整備に関するアンケート

### ★このアンケートの目的

農林水産省及び〇〇県・〇〇市（事業主体を記載）は、それぞれの農村で自然や社会の特色をふまえた生活環境整備事業を進め、個性豊かで活力ある村づくりを目指しています。

このアンケートは、生活環境整備事業のなかで特に地区内の道路整備にどの程度の効果があるのか調べることを目的にしています。事業実施を決める判断材料の一つとなる重要な調査です。

### ★アンケートの回答方法

- ①アンケートの調査票をよくお読み頂き、ご回答ください。
- ②日常生活でなじみのない質問もあるかと思いますが、「だいたい、この程度」という判断でご回答ください。

郵送し、各家庭で回答いただく場合には、世帯としての支払意志を尋ねるものなので、「ご家族で相談の上、ご回答ください」とするのが望ましい。

### ★アンケート結果の取り扱い

- ①アンケートは無記名で行い、回答者全体を集計して利用します。
- ②このアンケートは、事業の賛否を問うものではありません。
- ③アンケートの結果は、整備負担金や施設の利用料の設定などに利用することはありません。

平成 年 月

調査実施担当：

問い合わせ先：電話

担当：

あなたが住まいの地域で、農村の生活環境整備事業によって、別紙のような道路を整備することが検討されています。

まず、別紙をお読みいただいてから、以下の質問にお答えください。

**問1** 別紙の道路の整備が予定されている場所と、あなたのお住まいとの距離についておたずねします。あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. 住居に直接面している
2. 直接面してはいないが、歩いて5分以内にある。
3. 歩いて10分以内にある。
4. それ以上離れた場所にある。

**問2** 別紙の道路整備が予定されている場所の、現在の道路状況には満足されていますか。あてはまるものを1つ選び番号に○をつけて下さい。

1. かなり満足している
2. やや満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. かなり不満である
6. この道路を利用しないのでわからない

◎ さて、次の質問から道路の整備について、いくつかの状況を想定して質問いたします(想定された状況ですが、「もしも本当にそうなったら」と想像し、お答え下さい)。

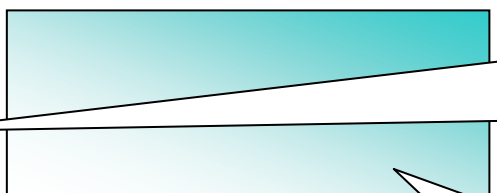
◎ これからの質問は、道路の整備に対する負担金についてたずねるものですが、実際に負担金を徴収するわけではありません。また、この質問は、よその家族の方とは相談せず、あなた又はあなたの世帯としての支払の意志をご回答ください。

**問3** 別紙に詳細を示すように、道路の幅を広げ、舗装する工事を行うこととします。

まず、対象となる道路の現状と、もしもその道路を整備しなかった場合と、計画どおり整備をした場合、それぞれ次のような違いがあります。

**【現状】**

- ・路面に凹凸があり、大雨のときにはぬかるみができます。



(実際の現状に即して記述すること)

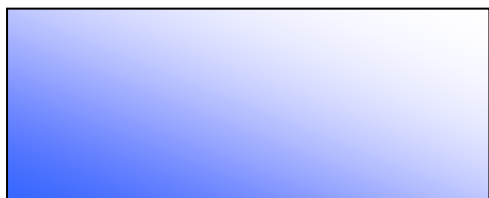
その他の例→

- ・道路幅が狭く、脱輪等の事故の危険があります。等

**【整備しなかった場合】**

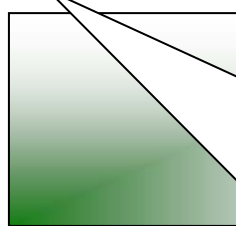
以下のような場合が考えられます。

- ・舗装がはがれ、路面の凹凸がひどくなるほか、法面の崩れにより通れる幅が狭くなり、脱輪等の危険性も増え、非常に通りにくくなることが考えられます。



**【整備した場合】**

- ・路面の凹凸が無くなり、砂ぼこりやぬかるみが減ります。
- ・道路の幅が広がり、安全に通行できます。
- ・住民の避難路として利用されます。



【現状】、【整備しなかった場合】、【整備した場合】の説明に添える写真や図は、郵送し、各家庭で回答いただく場合には、必ずいれた方がよいが、説明会等の会場で回答いただく場合には、別紙で示してもよい。

(更新により発現される効果のみ記述すること) その他の例→

- ・火事の時、被害が広がりにくくなります。
- ・救急車・消防車などが、お宅の前まですぐ来られるようになります。
- ・住民交流の場が増え、レクリエーションが多くなる等の効果が期待できます。
- ・ほどよい曲線や幅員・舗装の工夫など地域特性に応じた整備により、集落の温かみや歴史・文化的空間を保持することができます。

<これからが、想定の話です>

ところが、〇〇市（町村）は財政状況が厳しいため、このままでは別紙の道路工事はできないとします。そこで、生活環境の改善や景観・環境を保全する道路工事を実現するために、1世帯あたり毎年いくらかの金額を負担すれば、整備ができるようになりますとします。

あなたの世帯では、負担する金額が最大いくらまでだったら計画に賛成すると思われるか、あてはまるものを1つ選び番号に○をつけてください。なお、現在の住所にお住まいの間は40年間負担するものとします。

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 5千円（月額約400円）     | 6. 10万円（月額約8,000円）  |
| 2. 1万2千円（月額1,000円）  | 7. 15万円（月額約12,000円） |
| 3. 2万5千円（月額約2,000円） | 8. 15万円より高い →問4へ    |
| 4. 5万円（月額約4,000円）   | 9. 金額に関わりなく反対 →問5へ  |
| 5. 7万5千円（月額約6,000円） |                     |

問3で、「8. 15万円より高い」と答えた方におたずねします。

**問4** あなたはこの計画は非常に重要なので、負担額が『いくら高くても、「はい」と答えるべき』とお考えですか。

1. はい      2. いいえ

問3で、「9. 金額に関わりなく反対」と答えた方におたずねします。

**問5** 反対と答えた理由について、あてはまるものを1つ選び○をつけてください。

1. この計画は良いと思うが、5千円（月額約400円）は高すぎる
2. 現状では特に道路の拡幅や舗装の必要がない
3. 道路の拡幅や舗装は各世帯の負担金ではなく、税金など他の方法で対応すべき
4. 設問の趣旨がよくわからない

問3の選択肢1  
を記載する。

**アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。**

雛形はすべて、景観・環境保全効果を含んだ表現にしています。ご注意ください。